

# 2026

## 26T学生用 修学案内

香川大学創造工学部

Faculty of Engineering and Design, Kagawa University



---

## はじめに

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

この修学案内は、皆さんが入学してから卒業するまでの、創造工学部における修学の基本的な事項を説明しています。

創造工学部のカリキュラム(教育課程)は、本文にうたわれている香川大学の教育目標に基づきながら、学部や学科として独自に設定した目標を具体化したものです。そして、皆さんが卒業するためには、このカリキュラムにしたがって学部及びコースで定めている卒業に必要な条件(卒業要件)を満たすように授業科目を履修し、その単位を修得しなければなりません。大学全体あるいは創造工学部からは、非常に多くの授業科目が提供されています。ですから、これらの中から、皆さんがどの授業科目をどのように履修すべきかを理解する際に、この修学案内を役立ててください。

このことに加えて、皆さんが、この修学案内に目を通すにあたり、特に理解しておいていただきたい以下のことについて説明します。

### ① 授業科目の区分

皆さんが受講する授業科目は、大学共通なものとして全学学生を対象に開設される「全学共通科目」と、学部固有なものとして創造工学部の学生を対象に開設される「学部開設科目」に区分されています。さらに、各区分の下には、それぞれの授業科目の内容に応じた区分があります。

「全学共通科目」は主に幸町キャンパスで開講され、皆さんには、この科目に関するほぼすべての卒業要件単位数を、第2年次第1学期までに修得することが望まれます。「学部開設科目」は、科目ごとに受講場所が異なるので注意してください。

### ② 資格等の取得

卒業要件を満たすために修得すべき授業科目及び修得すべき単位数とは別に、教育職員免許状等の取得については、それぞれが指定する授業科目と単位の修得等の所定の条件を満足することによって、取得することも可能です。

### ③ キャンパス・アドバイザー制度

各コースには、皆さんのより快適なキャンパス・ライフの手助けができるように、親身な相談相手としてキャンパス・アドバイザー(CA)の教員がおかれています。授業の履修方法、日常生活の悩み事、将来の進路などについて、遠慮なく連絡・相談して、指導や助言を受けてください。

以上のことを念頭において、皆さんには、授業科目の履修手続きまでに、この修学案内をよく読み十分に理解してください。また、この修学案内をいつでも参照できるように、卒業まで大切に保管してください。



## はじめに

## I. 教育課程

創造工学部の教育目標・ディプロマ・ポリシー(DP)・DPコード・カリキュラム・ポリシー(CP)

1.	学年暦	6
	(1) 学年	6
	(2) 学期	6
	(3) 休業日	6
2.	修業年限及び在学期間等	6
3.	授業科目の構成と卒業要件	7
	(1) 卒業要件単位数	7
	(2) 授業科目の種類	8
	(3) 単位とは	8
4.	全学共通科目について	9
	(1) 全学共通科目教育課程表	9
	(2) 全学共通科目の履修にあたっての注意	11
5.	学部開設科目について	12
	(1) 学部開設科目とは	12
	(2) 学部開設科目教育課程表	14
	a) 造形・メディアデザインコース	14
	b) 建築・都市環境コース	16
	c) 防災・危機管理コース	18
	d) 情報コース	20
	e) 人工知能・通信ネットワークコース	22
	f) 機械システムコース	24
	g) 材料物質科学コース	26
6.	創造工学部の英語教育について	28
7.	インターンシップについて	30
8.	他大学との単位互換制度について	31
	(1) 香川県内5大学及び放送大学間単位互換制度	31
	(2) 中国・四国国立大学工学系学部間単位互換制度	31
9.	資格について	32
	教育職員免許状の取得について	32
	一級建築士・二級建築士・木造建築士(受験資格)	32
	測量士・測量士補	32
	施工管理技士(受験に必要な実務経験年数の短縮)	32
	1級・2級舗装施工管理技術者(受験に必要な実務経験年数の短縮)	33
10.	コース確定配属について	34
11.	転学部・転コースについて	34
12.	早期卒業について	35
13.	本学大学院への飛び入学制度について	35

	ページ
II. 履修方法	
1. 時間割	37
2. 科目履修のルール	38
(1) 基本ルール	38
(2) 全学共通科目の履修上の注意点	39
(3) 学部開設科目履修上の注意点	40
(4) 他学部・他コースの授業科目を履修するときの注意点	40
3. 創造工学部各コースの概要と履修要領	41
造形・メディアデザインコース	41
建築・都市環境コース	51
防災・危機管理コース	61
情報コース	71
人工知能・通信ネットワークコース	83
機械システムコース	93
材料物質科学コース	103
4. 履修手続について	113
5. 履修制限について	113
(1) 履修制限とは	113
(2) 卒業研究・卒業制作着手の制限	114
6. 試験及び成績評価について	117
(1) 試験の種類	117
(2) 成績評価	118
(3) 受験心得	118
(4) GPAによる成績評価について	120
7. 授業について	121
(1) 休講・補講	121
(2) 授業の出席について	121
(3) 授業の欠席について	121
(4) 気象に関する警報の発令等における休講措置について	121
(5) 不正行為について	122
III. その他	
1. キャンパス・アドバイザー制度について	125
2. 学生表彰制度について	126
3. 授業科目名英訳	127

---

	ページ
IV. 諸規則	
1. 香川大学創造工学部規程	145
2. 香川大学転学部に関する取扱規則	153
3. 香川大学創造工学部転コースの取扱いに関する申合せ	154
4. 香川大学創造工学部履修科目登録の上限単位数に関する細則	156
5. 香川大学創造工学部早期卒業の認定基準に関する細則	157
6. 香川大学大学院学則第 20 条第8号に規定する入学資格による 出願の事前審査応募に関する認定審査基準	160
7. 香川大学大学院学則第 20 条第8号に規定する入学資格による 出願の事前審査応募を認められた者の 卒業研究・卒業制作の取扱いについて(申合せ)	163
8. 創造工学部開講科目の読み替え単位認定について(申合せ)	164
9. 香川大学創造工学部情報機器利用およびネットワーク利用上の注意	166
10. 香川大学授業の欠席の取扱いに関する要項	169
11. 香川大学創造工学部開設科目に係る欠席届取扱要項	175
V. 付録	
1. 建築士受験資格について	181



---

## I . 教育課程



香川大学の教育目標は、次のとおりである。

豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた課題探求能力を備え、国際的に活動できる人材を育成する。

- 豊かな人間性・倫理性を備えた人材育成
- 幅広い基礎力と高度な専門性を備えた人材育成
- 国際的に活動できる人材育成

創造工学部の教育理念は、次のとおりである。

教育理念	香川大学創造工学部は、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドを持ち、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成することを目指します。
------	---

創造工学部のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)は次のとおりである。

香川大学創造工学部では、その教育理念に基づき、工学の基礎と専門分野にかかわる幅広い知識を持ち、技術者相互および社会と適切なコミュニケーションを行うことができ、さまざまなリスクを考慮しつつ、高い倫理観を持って新たな価値を創造することができ、地域を愛し、世界に通用する技術者を育成します。

本学部を卒業し、本学が送り出す学士(工学)・21世紀型市民として身につけるべき能力・態度の到達基準は、次のとおりです。

a. 言語運用能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 論理的かつ客観的な文書を作成することができる。</li> <li>● 多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>● 工学的な課題について、基礎的な数理法則を用いて分析することができる。</li> <li>● 英語による情報収集能力、コミュニケーション能力を持っている。</li> <li>● 国際的視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる。</li> </ul>
b. 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然科学の基礎知識を持ち、その基本原理を理解している。</li> <li>● 工学的課題を解決するために必要な工学的基礎知識を修得している。</li> <li>● 人間、社会、環境、美などの多角的な視点を備えている。</li> </ul>
c. 問題解決・課題探求能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自主的、継続的に学習し、新たな課題を探求することができる。</li> <li>● 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講じ、想定外の事態にも対応することができる。</li> <li>● 専門分野において課題を認識し、多様な制約の下で、専門知識、技術を用いてチームとして問題を検討し、製品と利用者・社会との相互作用的な関わり及びリスク対応を含めた総合的な価値の創造につながる設計(デザイン)を企画、立案し、それを試作評価することができる。</li> </ul>

d. 倫理観・社会的責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民としての社会的責任を自覚して行動することができる。</li> <li>● 高い倫理観を持ち、技術者としての社会的役割を担うことができる。</li> </ul>
e. 地域理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探求することができる。</li> </ul>

シラバスに記載されているDPコードについて

DPコードは、ディプロマ・ポリシーと各科目との関連付けを表すもので、ディプロマ・ポリシーを示すアルファベット3つと部局コードから構成されている。詳細は以下のとおり。

ディプロマ・ポリシーにおける「a. 言語運用能力」、「b. 知識・理解」、「c. 問題解決・課題探求能力」、「d. 倫理観・社会的責任」、「e. 地域理解」の5項目のうち、重要項目順に1～3項目で構成される。※該当するものが2つ以下の場合、残った部分はxとする。

創造工学部の部局コードは「T」である。

具体例： デザイン概論 「cabT」、線形代数「bcxT」

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)

香川大学創造工学部は、卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を育成するために、全学共通科目(32単位以上)と学部開設科目(96単位以上、内訳は、共通科目(19単位以上:その内、倫理1単位、コミュニケーション能力3単位以上、デザイン思考能力4単位以上、リスクマネジメント能力3単位以上、数理的基礎能力・多角的思考能力8単位以上)、専門科目(コース専門科目60単位以上)、卒業研究又は卒業制作(8単位)、及び自由科目(9単位以上)から構成される教育課程を編成・実施します。3年次後期より研究室に配属されるためには、3年次前期までに所定の科目を84単位以上修得していることが必要です。卒業要件単位数は128単位以上とします。

本学部の教育体制の主な特徴は、1)特に5つの素養(数理的基礎力、倫理観・コミュニケーション力、地域理解、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力)を重要と位置づけ、全学共通科目及び学部共通科目によって教育すること、2)1学科 7コース制を採用し入学時にはコースに仮配属とし、1年間の学習の後に志望分野の変わった学生に対しては、コースの変更を可能とすること、3)3年次後期からの研究室配属後は、指導教員により卒業研究・卒業制作について徹底して指導することにあります。

創造工学部では、香川大学の教育目標に沿った4年間一貫教育を行っています。1年次は仮配属されたコースに所属し全学共通科目と学部開設科目の共通科目を中心に学びます。2年次には確定配属されたコースに所属し、より専門的な授業科目を履修していきます。3年次後期からは卒業研究又は卒業制作に取り組みます。卒業研究・卒業制作は特定の教員の指導の下で実施され、専門知識、技術を用いて、必要に応じ他者と協力して問題を解決する能力、あるいは制作する能力、そして自主的・継続的に学習し新たな課題を探索する能力を身につけます。なお、カリキュラム・ポリシーに関係する教育課程については、カリキュラムマップに詳細に示しています。

以上の学修成果の評価は、基本的に講義科目では修得した知識の理解度で、実験・実習科目では知識を応用できる能力と専門的技術・技能の習熟度で、卒業研究・卒業制作では課題の

---

設定、分析、解決の実践的能力の総合評価で実施し、厳格な成績評価(5段階評価、GPA の活用)で行います。シラバスに記載している方法によって、各授業科目の到達目標の達成度で評価します。

## 1. 学年暦

### (1) 学 年

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### (2) 学 期

学年は、次の2学期に分ける。

第 1 学 期 4月 1日 ~ 9月30日

第 2 学 期 10月 1日 ~ 翌年3月31日

(第1学期、第2学期は、それぞれ通称「前期」、「後期」と呼ばれる。)

各学期は、前半及び後半に分けることができる。

各学期を、前半及び後半に分けた学期を、それぞれ通称「第1クォーター(第1Q)」、「第2クォーター(第2Q)」、「第3クォーター(第3Q)」、「第4クォーター(第4Q)」と呼ぶ。(授業科目によっては、各クォーター(以下Qと記載)に開講される。)

### (3) 休 業 日

休業日は、次のとおりとする。

- ・日曜日及び土曜日
  - ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
  - ・大学記念日 10月 1日
  - ・夏季休業 8月 6日 ~ 9月30日
  - ・冬季休業 12月25日 ~ 1月 7日
  - ・春季休業 3月11日 ~ 3月31日
- その他、臨時休業日については、別途掲示等により周知する。

## 2. 修業年限及び在学期間等

### (1) 修業年限

創造工学部における修業年限は、4年である。

### (2) 在学期間及び休学

本学の在学期間は、修業年限の2倍を超えることができない。つまり、創造工学部の場合、8年を超えて在学することができない。

病気その他の理由により継続して2月以上修学できない者は、学長の許可を得て、休学することができる。休学は、1年を超えることができない。ただし、特別の理由がある場合は、学長の許可を得て、1年を限度として、引き続き休学することができる。休学期間は、通算して4年を超えることができない。休学期間は、これを在学期間に算入しない。ただし、復学により休学期間が2月に満たないときは、その期間は在学したものとみなす。

(香川大学学則第25条・26条・第61条 参照)

### 3. 授業科目の構成と卒業要件

#### (1) 卒業要件単位数

本学部を卒業し、学士(工学)の学位を得るためには、4年以上在学(休学期間は、在学期間に含まない。また、後述の「早期卒業」の場合を除く。)し、以下に掲げる単位数を修得しなければならない。

区 分			卒業要件単位数			
全学 共通 科目	学びと 生き方 科目	生き方 科目	ライフデザイン	1単位	26 単位以上	
			健康・スポーツ	(2単位)		
	学び 科目		大学入門ゼミ	2単位		
			情報リテラシー	2単位		
			学問への扉	(6単位)		
	主題科目			7単位以上		
	学問基礎科目(文系科目)			4単位以上		
	学問基礎科目(理系科目)			4単位以上		
	広範教養教育科目			(6単位)		
	高度教養教育科目					
	外国語 科目	初修外国語		(1種類)(4単位)		
既修外国語		6単位以上				
小 計			32 単位以上			
区 分			創造工学科			
学部 開設 科目	共通 科目	倫理		1単位	19 単位以上	
		コミュニケーション能力		3単位以上		
		デザイン思考能力		4単位以上		
		リスクマネジメント能力		3単位以上		
		数理的基礎能力		8単位以上		
		多角的思考能力				
	専門 科目	コース専門科目		60 単位以上		
		卒業研究・卒業制作		8単位		
	自由科目			9単位以上		
	小 計			96 単位以上		
合 計			128 単位以上			

●全学共通科目(「全学共通科目修学案内(教養教育)」を熟読すること。)

幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する(人間的教養の向上)ための授業科目である。

- ・主に、幸町キャンパスで開講される。
- ・創造工学部の学生は、第2年次第1学期までに、ほぼすべての卒業要件単位数を修得することが望ましい。

---

## ●学部開設科目

専門家(技術者・研究者)としての知識、技術を身につけるための授業科目である。

### (2)授業科目の種類

すべての授業科目は、「必修科目」、「選択科目」及び「自由科目」に分けられる。教育課程は、これらの科目を各年次に配当して編成される。

「必修科目」： 卒業要件として必ず履修してその単位を修得しなければならない授業科目

「選択科目」： 所定の授業科目の中から選択して履修し、所定の単位数を修得しなければならない授業科目

「自由科目」： 一定の範囲の授業科目を自由に選択して修得することができる授業科目

- 学部開設科目の場合： 創造工学部の学部開設科目、他学部の学部開設科目及び単位互換協定を締結している他大学の授業科目がこれに当たる。自コースの教育課程表に無い授業科目は、1年次の間は履修できないので注意すること。創造工学部の学部開設科目については、卒業要件単位数を超えて修得した単位数を自由科目の単位数として算入することができる。また、他学部の学部開設科目のうち、教育職員免許状取得のための授業科目については、卒業要件単位としての自由科目として取扱わないので、注意すること。

「配当年次」とは： すべての授業科目は、履修すべき年次が定められている。これを、授業科目の「配当年次」と呼ぶ。配当年次に示された年次、若しくはその年次より高い年次で履修すること(配当年次に示された年次より低い年次での履修は認めない)。

### (3)単位とは

大学における単位制は、本来、学生の自学自習と授業科目の選択の自由を狙いとするものである。

すべての授業科目には、一定数の「単位」が定められている。授業を履修して、試験等に合格することにより、その授業科目に定められた単位を修得することができる。

#### (単位の計算方法)

各授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。45時間の学修には、大学での授業時間のほか、教室外で学生が自主的に行う自学自習(予習・復習等)時間も含まれている。

本学部では、以下の基準により単位を計算している。

授業時間割は、2時間(実時間90分)の「校時」を単位として編成している。

- ① 講義は、15時間の授業と教室外での30時間の学修をもって、1単位とする。
- ② 演習・実験及び実習は、30時間の授業と教室外での15時間の学修をもって、1単位とする。
- ③ 卒業研究・卒業制作については、学修の成果及びこれに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

# 4. 全学共通科目について

## (1) 全学共通科目教育課程表

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	登録上 限対象 外(注2)	単 位 数	配当年次(注1)												備考	卒業要件単位数	
			1年次			2年次			3年次			4年次					
			前	後		前	後		前	後		前	後				
			1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q			
学びと生き方科目																	
生き方科目																	
ライフデザイン		1		◎													1単位
健康・スポーツ	●	1		△													(2単位)
学び科目																	
大学入門ゼミ		2		◎													2単位
情報リテラシーA		1		◎													2単位
情報リテラシーB		1		◎													
学問への扉		1		△													(6単位)
主題科目		1又は2		○													7単位以上
学問基礎科目(注3) (文系科目・理系科目の別)																	
哲学	文系	2		○													(文系科目)4単位以上 (理系科目)4単位以上
論理学	文系	2		○													
倫理学	文系	2		○													
芸術	文系	2		○													
心理学	文系	2		○													
社会学	文系	2		○													
教育学	文系	2		○													
歴史学	文系	2		○													
文学	文系	2		○													
言語学	文系	2		○													
法学	文系	2		○													
政治学	文系	2		○													
経済学	文系	2		○													
経営学	文系	2		○													
数学	理系	2		☆													
地学	理系	※ 2		☆													
物理学	理系	※ 2		☆													
化学	理系	※ 2		☆													
生物学	理系	※ 2		☆													
地理学	文系又は理系の何れか一方のみ認定	2		○													
統計学	理系	2		○													
情報科学	理系	2		×													
医学	理系	2		○													
看護学	理系	2		○													
特別・複合領域	文系	2		○													
特別・複合領域	理系	2		○(注6)													
広範教養教育科目(注4)																	
広範教養主題科目		1又は2		△													(6単位)
高度教養教育科目(注4)																	
高度教養主題科目		1又は2		△													
上級英語(Study Abroad)		2		△													
西洋古典語		1		△													
初修外国語(外国語科目)																	
ドイツ語Ⅰ		2		△													(選択1種類) (4単位)
ドイツ語Ⅱ		2		△													
フランス語Ⅰ		2		△													
フランス語Ⅱ		2		△													
中国語Ⅰ		2		△													
中国語Ⅱ		2		△													
韓国語Ⅰ		2		△													
韓国語Ⅱ		2		△													
既修外国語(外国語科目)																	
Communicative English I		2		◎													6単位以上
Communicative English II		2		◎													
English Speaking & Writing I		1				◎											
English Speaking & Writing II		1						◎									
既修外国語(外国語科目)																	
Academic English I(注5)		1								△							
Academic English II(注5)		1									△						
合 計																	
																32単位以上	

- ・ライフデザインについて、1単位を超えて修得した単位は卒業要件単位とは認めない。
- ・大学入門ゼミ、情報リテラシーについて、2単位を超えて修得した単位は卒業要件単位とは認めない。
- ・防災・危機管理コースについては、主題科目の防災リテラシー養成講座(災害を知る)A・B、防災コンピテンシー養成講座(災害に備える)を必修科目としているので、第1年次に修得すること。
- ・学問基礎科目のうち、地理学は、文系科目又は理系科目の何れか一方の卒業要件として認定する。
- ・「学問への扉」、「健康・スポーツ」、「広範教養教育科目」、「高度教養教育科目」及び「初修外国語」については、( )内の単位数を上限として卒業要件単位数26単位内の単位として認定する。

※注意事項(1~6)は、次ページに記載

- 
- (注1) ◎:必修科目、☆:選択科目(創造工学部推奨)、○:選択科目、  
△:選択科目(卒業に必ずしも必要としない科目)、  
×:卒業に必要な単位として認めない科目
- ・配当年次に示された年次、若しくはその年次より高い年次で履修すること(配当年次に示された年次より低い年次での履修は認めない)。
  - ・必修科目は、配当年次に示された年次で履修(修得)することが望ましい。
  - ・授業科目によっては、開講時期(第1学期、第2学期、第1Q、第2Q、第3Q、第4Q)の変更もあり得るので、各学期の始めに公表される時間割表等に注意すること。
- (注2) ●及び※印は、履修科目の登録の上限(24単位)を超えて履修登録できる授業科目。ただし、※印のうち、履修科目の登録の上限(24単位)を超えて履修登録できる授業科目は、実験科目(地学P、物理学P、化学P、生物学P)に限る。通常の講義形式の授業科目(例:物理学Aなど)は、履修科目の登録の上限(24単位)を超えて履修登録できない。
- (注3) 学問基礎科目の数学、地学、物理学、化学、生物学は、推奨科目であり、創造工学部学生は、修得することが望ましい。
- (注4) 広範教養教育科目、高度教養教育科目の履修要領については、全学共通科目修学案内(教養教育)を参照すること。また、シラバスで「履修可能年次・履修上の注意等」を確認すること(科目によっては、1年次生から履修できない科目もある)。
- (注5) Academic English I/IIを履修できるのは、既修外国語の卒業要件単位を既に修得している学生、またはTOEIC670点、実用英検準1級以上等による単位認定でCommunicative English I/IIの単位を取得した学生に限られる(全学共通科目の修学案内およびシラバスを参照)。当該科目の標準履修年次は3年となっているが、TOEIC670点、実用英検準1級以上等による単位認定でCommunicative English I/IIの単位を取得した学生は、1年次生からの履修も可能である。Academic Englishを修得した場合は、English Speaking & Writing I/IIの代わりに卒業要件として認定する。ただし、Academic Englishの履修は2単位を上限とし、IまたはIIを2回重複して履修することはできない。
- (注6) 自然科学基礎実験については履修できない。

---

## (2) 全学共通科目の履修にあたっての注意

- 主題科目については、ライフデザインの1単位に加えて、主題科目から7単位以上を修得しなければならない。ただし、ライフデザインは1単位だけしか卒業要件単位として認定しない。  
防災・危機管理コースについては、主題科目の防災リテラシー養成講座(災害を知る)A・B、防災コンピテンシー養成講座(災害に備える)を必修科目としているので、第1年次に修得すること。
  - 主題科目及び学問基礎科目(文系科目)・(理系科目)でそれぞれの卒業要件単位数を超えて修得した単位は、卒業要件単位数26単位内の単位として認定する。
  - 大学入門ゼミ(必修)と情報リテラシーA・B(いずれも必修)は第1年次に修得すること。
  - 「学問への扉」、「健康・スポーツ」、「広範教養教育科目、高度教養教育科目」及び「初修外国語」については、( )内の単位数を上限として卒業要件単位数26単位内の単位として認定する。
  - 学問基礎科目については、推奨科目(数学・地学・物理学・化学・生物学)から4単位以上修得することが望ましい。ただし、同一授業科目の授業は2授業(4単位)までしか卒業要件に入れられないので注意すること。(「全学共通科目修学案内」の「学問基礎科目の履修方法」を参照すること)
- 学生は自己の責任において履修する科目を決定し、所定の期間内に登録の手続きをしなければならない。
- 「全学共通科目修学案内(教養教育)」を熟読すること。
- 「Ⅱ.履修方法」の「2.(2)全学共通科目の履修上の注意点」もよく読むこと。

## 5. 学部開設科目について

### (1) 学部開設科目とは

専門家(技術者・研究者)としての知識、技術を身につけるための授業科目である。

共通科目	倫理	技術者やデザイナーがものづくりにおいて配慮すべき事柄、利用者、同業者への責任等の社会的倫理感を育成する科目である。
	コミュニケーション能力	プロフェッショナル・コミュニケーション能力を育成する科目である。
	デザイン思考能力	審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイプング力などを統合したデザイン思考能力を育成する科目である。
	リスクマネジメント能力	様々なリスクを把握・抽出し、事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力を育成する科目である。
	数理的基礎能力	数理的基礎能力を育成する科目である。
	多角的思考能力	多角的視点から、工学環境の理解・思索・評価能力を育成する科目である。
専門科目	コース専門科目	各コースに応じた高度な専門能力を育成する科目である。
卒業研究・卒業制作		専門分野の能力・課題探求能力・デザイン思考能力・コミュニケーション能力を総合的に育成する科目である。卒業研究においては研究活動、卒業制作においては制作活動による実践によって育成を図る。3年次第2学期から指導教員を選択して(「研究室配属」という。)、卒業までの期間に実施する。ただし、卒業制作については造形・メディアデザインコースのみ選択可能である。
自由科目		学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を目的とする科目である。 創造工学部の学部開設科目、他学部の学部開設科目及び単位互換協定を締結している他大学等で開講される授業科目から、学生が自由に選択するものである。ただし、創造工学部の学部開設科目については、卒業要件単位数を超えて修得した単位数を自由科目の単位数として算入することができる。また、他学部の学部開設科目のうち、教育職員免許状取得のための授業科目については、卒業要件単位としての自由科目として取扱わないので、注意すること。なお、自コースの教育課程表に無い授業科目は、1年次の間は履修できない。

## (自由科目の算出方法)

○教務システムの成績上で「自由科目」として単位が計上されるのは、以下のとおりである。

- ・開講科目表で「自由科目」欄に記載されている科目
- ・自コースの教育課程表に無い授業科目（他学部・他コース履修、単位互換協定を締結している他大学等で開講される授業科目等）

○上記以外の自由科目については、各自で算出する必要がある。

学部開設科目のうち、共通科目、専門科目のそれぞれの項目の必要単位数を全て満たした上で、共通科目19単位、専門科目60単位からそれぞれ超過した単位を自由科目に算入することができる。

(注)各項目の必要単位数が満たせていても、必修科目が不足している場合は「必要単位数を全て満たしている」とは言えない。

①各項目の必要単位数を満たし、更に必修科目の単位まですべて修得しているかを確認する。

②共通科目 19 単位、専門科目 60 単位からそれぞれ超過した単位を自由科目に算入することができる。

学部 開設 科目	共通 科目	倫理	1 単位	19 単位以上
		コミュニケーション能力	3 単位以上	
		デザイン思考能力	4 単位以上	
		リスクマネジメント能力	3 単位以上	
		数理的基礎能力	8 単位以上	
		多角的思考能力		
	専門 科目	コース専門科目	60 単位以上	
		卒業研究・卒業制作	8 単位	
		自由科目	9 単位以上	
		小 計	96 単位以上	
	合 計	128 単位以上		

(2) 学部開設科目教育課程表

a) 造形・メディアデザインコース

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒業研究・卒業制作着手要件科目	単位数	配当年次																備考	卒業要件単位数	
			1年次				2年次				3年次				4年次						
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後							
共通科目																					
(倫理)																					
創造工学倫理		1																◎		1単位	
(コミュニケーション能力)																					
対人コミュニケーション		1						○												3単位以上	
国際コミュニケーションⅠ		1						◎													
国際コミュニケーションⅡ		1						◎													
技術英語		2						◎													
海外工学実務Ⅰ		4						◎										集中			
海外工学実務Ⅱ		2						◎										集中			
(デザイン思考能力)																					
デザイン概論	★	1		◎																4単位以上	
チームワーキング演習	★	1		◎																	
地域とアート	★	1		◎																	
革新デザイン史	★	1			◎																
デザイン思考演習	★	1			◎																
インタラクションデザイン	★	1			◎																
マルチメディアクリエイティブ入門	★	1			◎																
色彩学	★	1			◎																
人間工学基礎	★	1			◎																
感性工学	★	1			◎																
デザインの潮流	★	2			◎													◎			
(リスクマネジメント能力)																					
リスクマネジメント概論	★	1		◎																3単位以上	
リスクコミュニケーション入門	★	1		◎																	
ロジカル思考演習	★	1		◎																	
自然災害科学	★	1			◎																
レジリエンス科学	★	1			◎																
情報セキュリティ概論	★	1			◎																
(数理的基礎能力)																					
基礎数学演習	★	1		◎																8単位以上	
基礎物理学演習	★	1		◎																	
微分・積分	★	2		◎																	
線形代数	★	2		◎																	
プログラミング	★	2		◎																	
確率・統計	★	2		◎																	
ベクトル解析	★	2		◎																	
フーリエ解析基礎	★	1		◎																	
(多角的思考能力)																					
工学実務	★	2			◎														集中		
地域企業ニーズ概論	★	1			◎																
科学・技術史	★	1			◎																
文化と情報メディア	★	1			◎																
資源・エネルギー論	★	1			◎																
環境政策	★	1			◎																
専門科目																					
(コース専門科目)																					
造形基礎演習Ⅰ	★	2		◎																60単位以上	
造形基礎演習Ⅱ	★	2		◎																	
サービス・イノベーション創造演習	★	1		◎															前期集中		
計算機入門	★	2		◎																	
造形・メディアデザイン基礎演習	★	2		◎																	
デザイン手法論	★	2		◎																	
デジタルグラフィックス演習	★	2		◎																	
中級プログラミング(造形・メディアデザインコース)	★	2		◎																	
CADⅠ	★	1		◎																	
材料力学(造形・メディアデザインコース)	★	1		◎																	
映像・画像・音声処理技術概論	★	1		◎																	
構造力学	★	1		◎																	
線形計画法	★	1		◎																	
非線形計画法	★	1		◎																	
メディア文化論	★	1		◎																	
造形・メディアデザイン演習	★	2		◎																	
概念展開論	★	2		◎																	
概念展開論演習	★	1		◎																	
ヒューマンインタフェース	★	2		◎																	
データ・ビジュアライゼーション	★	2		◎																	
CADⅡ	★	1		◎																	
プロダクトデザイン演習Ⅰ	★	1		◎																	
サービスデザイン	★	2		◎																	
製品設計における最適化法	★	1		◎																	
数値解析(造形・メディアデザインコース)	★	1		◎																	
パターンマインニング	★	1		◎																	

前:第1学期、後:第2学期、1Q:第1クォーター、2Q:第2クォーター、3Q:第3クォーター、4Q:第4クォーター

授業科目	卒業研究・卒業制作着手要件科目	単位数	配当年次												備考	卒業要件単位数
			1年次			2年次			3年次			4年次				
			前	後	4Q	前	後	4Q	前	後	4Q	前	後	4Q		
<b>(コース専門科目)</b>																
Webシステム開発		1								○						
UX概論		2							○	○						
プランニングデザイン演習		2							○	○						
プロダクトデザイン演習Ⅱ		2							○	○						
造形・メディアデザイン論		1							◎	◎						
データ分析概論		1							○	○						
認知科学		1							○	○						
教育工学		1							○	○						
生活プロダクトデザイン論		1							○	○						
PBLⅠ		1							◎	◎						
シミュレーションデザイン		1							○	○						
ビジネスプラン基礎		1							○	○						
ビジネスクリエーション		1							○	○					集中	
プレゼンテーション論		1							○	○						
PBLⅡ		2							◎	◎						
UXデザイン演習		2							○	○						
人工知能		2							○	○						
プロダクトデザイン演習Ⅲ		1							○	○						
LeanStartup概論		1							○	○						
サービス工学		1							○	○						
教育メディア		1							○	○						
ビジネスプロダクトデザイン論		1							○	○						
近似論		1							○	○						
力学・振動学基礎		1							○	○						
製品材料学		1							○	○						
企画・プロデュース論		1							○	○						
社会・観光情報デザイン		1							○	○						
ビジネスプラン演習		1							○	○						
PBLⅢ		2							◎	◎						
地域社会とコンテンツ		1							○	○						
物理学		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
化学		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
地学		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
物理学実験		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
化学実験		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学実験		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
地学実験		1							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
工業概論		2							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論Ⅰ		2							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論Ⅱ		2							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報と職業		2							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法Ⅰ		2							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法Ⅱ		2							○	○					隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
卒業研究・卒業制作																
卒業研究		8								●	●	●			(注4) 8単位	
卒業制作		8								●	●	●			(注4) 8単位	
自由科目																
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 ー素材・技術・歴史ー		2								○					9単位以上	

- (注1) ◎:必修科目、●:選択必修科目、○:選択科目  
(注2) ★印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究・卒業制作着手を認めない。  
ただし、学部開設科目の共通科目のうち1科目(編入生の場合は2科目)及び専門科目のうち1科目の未修得を認める。  
Ⅱ.履修方法「5.履修制限」について (2)卒業研究着手の制限を参照  
(注3) 造形・メディアデザインコースにおいては、学部開設科目の共通科目のうち、デザイン思考能力の卒業要件単位数を超えて修得した単位数をコース専門科目の単位数として算入することができる。  
(注4) 卒業研究、卒業制作のいずれかを修得しなければならない。

(2) 学部開設科目教育課程表

b) 建築・都市環境コース

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒業研究 着手要件 科目	単 位 数	配当年次																備考	卒業要件単位数	
			1年次				2年次				3年次				4年次						
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後							
共通科目																					
(倫理)																					
創造工学倫理		1																	◎		1単位
(コミュニケーション能力)																					
対人コミュニケーション		1																	○		3単位以上
国際コミュニケーションⅠ		1																◎			
国際コミュニケーションⅡ		1																◎			
技術英語		2																○			
海外工学実務Ⅰ		4																○			
海外工学実務Ⅱ		2																○			
(デザイン思考能力)																					
デザイン概論	★	1			◎																4単位以上
チームワーキング演習	★	1			◎																
地域とアート		1				○															
革新デザイン実		1				○															
インタラクションデザイン		1					○														
Web入門		1						○													
デザイン思考演習	★	1						◎													
色彩学		1							○												
マルチメディアクリエイティブ入門		1								○											
人間工学基礎		1									○										
感性工学		1										○									
デザインの潮流		2																○			
(リスクマネジメント能力)																					
リスクマネジメント概論	★	1			◎															3単位以上	
リスクコミュニケーション入門	★	1			◎																
ロジカル思考演習	★	1			◎																
自然災害科学		1					○														
レジリエンス科学		1						○													
情報セキュリティ概論		1							○												
(数理的基礎能力)																					
微分・積分	★	2					◎													8単位以上	
線形代数	★	2					◎														
プログラミング	★	2					◎														
確率・統計		2							○												
ベクトル解析		2								○											
(多角的思考能力)																					
地域企業ニーズ概論		1									○									集中	
工学実務		2									○										
科学・技術史		1										○									
文化と情報メディア		1											○								
資源・エネルギー論		1												○							
環境政策		1													○						
専門科目																					
(コース専門科目)																					
都市環境デザイン概論	★	1			◎															60単位以上	
環境と都市のリスク	★	1			◎																
防災危機管理概論		1			○																
災害史		1			○																
建築設計基礎	★	2					◎														
住環境学	★	2					◎														
気象災害科学		2						○													
リスクマネジメント		2						○													
土質力学Ⅰ	★	2						◎													
景観デザイン論		2							●										※1		
構造力学Ⅰ	★	2						◎													
建設材料学	★	2						◎													
測量学	★	2						◎													
測量実習	★	2						◎													
くらしと建設の技術史		2							●										※1		
建築計画学		2							●										※1		
建築設計Ⅰ		3							○												
構造・土質力学演習Ⅰ		2							●										※2		
環境工学		2								●									※1		
物理探査学		2								○											
防災情報科学		2								○											

前:第1学期、後:第2学期、1Q:第1クォーター、2Q:第2クォーター、3Q:第3クォーター、4Q:第4クォーター

授業科目	卒業研究 着手要件 科目	単 位 数	配当年次																備考	卒業要件単位数
			1年次				2年次				3年次				4年次					
			前		後		前		後		前		後		前		後			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
(コース専門科目)																				
レジリエンスデザイン		2																		
水資源と水循環の科学		2																		
水理学Ⅰ		2																		
土質力学Ⅱ		2																	※1	
環境生態学		2																	※1	
構造力学Ⅱ		2																	※1	
河川環境マネジメント		2																		
建築設計Ⅱ		2																		
水環境マネジメント演習		2																	※2	
構造・土質力学演習Ⅱ		2																	※2	
建築構法		2																	※1	
空間情報解析学		2																		
水理学Ⅱ		2																	※1	
振動学		2																		
都市・地域計画学		2																	※1	
海域環境マネジメント		2																		
鉄筋コンクリート構造		2																		
水環境マネジメント実験		2																		
地盤工学実験		2																		
建築設備		2																		
建設リスクマネジメント		2																		
地震工学		2																		
緑化の理論と技術		1																		
建築設計Ⅲ		2																		
構造設計学		2																		
都市システム再生工学		2																		
コンクリート実験		2																		
住環境デザイン演習		2																	※2	
建築法規		1																		
物理学		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
化学		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
地学		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
物理学実験		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
化学実験		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学実験		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
地学実験		1																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
工業概論		2																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論Ⅰ		2																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論Ⅱ		2																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報と職業		2																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法Ⅰ		2																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法Ⅱ		2																	隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
卒業研究・卒業制作																				
卒業研究		8																	◎ ◎ ◎	8単位
自由科目																				
(SUS株式会社客附講義)アルミ系-素材・技術・歴史-		2																	○	9単位以上

(注1) ◎:必修科目、●:選択必修科目、○:選択科目

(注2) 「卒業研究着手要件科目」欄における★印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究の着手を認めない。  
ただし、学部開設科目の共通科目のうち2科目(編入生の場合は3科目)の未修得(数理的基礎能力は1科目まで)及び専門科目のうち1科目の未修得を認める。  
(Ⅱ.履修方法「5.履修制限について」(2)卒業研究着手の制限)を参照

(注3) 卒業のためには、備考に※1を記載している10科目のうち、5科目(10単位)以上を修得しなければならない。

(注4) 卒業のためには、備考に※2を記載している4科目のうち、3科目(6単位)以上を修得しなければならない。

(2) 学部開設科目教育課程表

c) 防災・危機管理コース

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒業研究 着手要件 科目	単 位 数	配当年次																備考	卒業要件単位数	
			1年次			2年次			3年次			4年次									
			前	後		前	後		前	後		前	後								
共通科目																					
(倫理)																					
創造工学倫理		1																		1単位	
(コミュニケーション能力)																					
対人コミュニケーション		1																	集中	3単位以上	
国際コミュニケーションⅠ		1																			
国際コミュニケーションⅡ		1																			
技術英語		2																			
海外工学実務Ⅰ		4																集中			
海外工学実務Ⅱ		2																集中			
(デザイン思考能力)																					
デザイン概論	★	1	◎																	4単位以上	
チームワーキング演習	★	1	◎																		
地域とアート		1		○																	
革新デザイン史		1		○																	
インタラクションデザイン		1			○																
Web入門		1			○																
デザイン思考演習	★	1			◎																
色彩学		1			○																
マルチメディアクリエイティブ入門		1			○																
人間工学基礎		1			○																
感性工学		1				○															
デザインの潮流		2								○											
(リスクマネジメント能力)																					
リスクマネジメント概論	★	1	◎																		3単位以上
リスクコミュニケーション入門	★	1	◎																		
ロジカル思考演習	★	1	◎																		
自然災害科学		1		◎																	
レジリエンス科学		1		◎																	
情報セキュリティ概論		1			◎																
(数理的基礎能力)																					
微分・積分		2			○															8単位以上	
線形代数		2			○																
プログラミング	★	2			◎																
確率・統計		2				○															
ベクトル解析		2				○															
(多角的思考能力)																					
地域企業ニーズ概論		1					○													集中	
工学実務		2					○														
科学・技術史		1								○											
文化と情報メディア		1								○											
資源・エネルギー論		1												○							
環境政策		1												○							
専門科目																					
(コース専門科目)																					
防災危機管理概論	★	1	◎																	60単位以上	
都市環境デザイン概論		1	○																		
災害史	★	1	◎																		
防災基礎数理		2			○																
計算機入門		2			○																
WEBデザイン		1				○															
線形計画法		1				○															
空間情報解析学	★	2				◎															
空間情報解析演習	★	1				◎															
地震工学	★	2				◎															
気象災害科学	★	2				◎															
防災ボランティア講座	★	2				◎													集中		
中級プログラミング		2				◎															
情報数学		2				◎															
インターネット		2				◎															
オペレーティング・システム		2				◎															
土質力学Ⅰ		2				◎															
構造力学Ⅰ		2				◎															
測量学		2				◎															
測量実習		2				◎															
構造・土質力学演習Ⅰ		2				◎															
非線形計画法		1				○															

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒業研究 着手要件 科目	単 位 数	配当年次												備考	卒業要件単位数		
			1年次			2年次			3年次			4年次						
			前	後		前	後		前	後		前	後					
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
(コース専門科目)																		
ビッグデータ解析		2						○										
物理探査学		2						○										
防災情報科学		2						○										
レジリエンスデザイン		2						○										
防災ボランティア実習		2						○										
被害想定と防災計画		2						○										
データ構造とアルゴリズム		2						○										
アルゴリズム演習		1						○										
ヒューマンインタフェース I		2						○										
データベース		2						○										
ソフトウェア工学		2						○										
情報理論		2						○										
水理学 I		2						○										
土質力学 II		2						○										
構造力学 II		2						○										
河川環境マネジメント		2						○										
水環境マネジメント演習		2						○										
構造・土質力学演習 II		2						○										
経営危機管理マネジメント		1						○										
リスクマネジメント		2						○										
リスクマネジメント演習 (防災・危機管理コース)		1						○										
災害行動と被災者支援		2						○										
信頼性工学		2						○										
信頼性工学演習		1						○										
情報セキュリティ I		2						○										
Webシステム開発		1						○										
水理学 II		2						○										
地質工学		2						○										
振動学		2						○										
海城環境マネジメント		2						○										
建設リスクマネジメント		2						○										
災害・危機管理と法		1						○										
サーズ工学		1						○										
地域・国際活動論		2						○										
復旧・復興デザイン		2						○										
災害調査法		2						○										
危機管理実習		2						○										
モデリングとシミュレーション		2						○										
事業継続マネジメント		2						○										
事業継続マネジメント		2						○										
防災危機管理セミナー		2						○										
人工知能		2						○										
物理学		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
化学		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
地学		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
物理学実験		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
化学実験		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学実験		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
地学実験		1						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
工業概論		2						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論 I		2						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論 II		2						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
情報と職業		2						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法 I		2						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法 II		2						○									隔年: 集中 卒業要件単位に含めない。	
卒業研究・卒業制作			8							◎			◎		◎			8単位
自由科目																		
(SUS株式会社春附講義) アルミ学 - 素材・技術・歴史 -		2								○								9単位以上

- (注1) ◎: 必修科目、○: 選択科目  
(注2) \*印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究着手を認めない。  
ただし、学部開設科目の共通科目のうち3科目(編入生の場合は4科目)及び専門科目のうち1科目の未修得を認める。  
(Ⅱ) 履修方法「5. 履修制限について (2) 卒業研究着手の制限」を参照  
(注3) 防災・危機管理コースにおいては、学部開設科目の共通科目のうち、リスクマネジメント能力の卒業要件単位数を超えて修得した単位数をコース専門科目の単位数として算入することができる。

(2)学部開設科目教育課程表

d) 情報コース

前:第1学期、後:第2学期、1Q:第1クォーター、2Q:第2クォーター、3Q:第3クォーター、4Q:第4クォーター

授業科目	卒業研究着手要件科目	単位数	配当年次																備考	卒業要件単位数	
			1年次				2年次				3年次				4年次						
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後							
共通科目																					
(倫理)																					
創造工学倫理		1																◎		1単位	
(コミュニケーション能力)																					
対人コミュニケーション		1					○													3単位以上	
国際コミュニケーションⅠ		1						◎													
国際コミュニケーションⅡ		1																			
技術英語		2																			
海外工学実務Ⅰ		4																			
海外工学実務Ⅱ		2																			
(デザイン思考能力)																					
デザイン概論	●	1	◎																	4単位以上	
チームワーク演習	●	1		◎																	
地域とアート		1			○																
革新デザイン史		1			○																
インタラクティブデザイン		1				◎															
デザイン思考演習	●	1				◎															
色彩学		1					○														
マルチメディアクリエイティブ入門		1				○															
人間工学基礎		1						○													
感性工学		1							○												
デザインの潮流		2															○				
(リスクマネジメント能力)																					
リスクマネジメント概論	●	1			◎															3単位以上	
リスクコミュニケーション入門	●	1			◎																
ロジカル思考演習	●	1			◎																
自然災害科学		1				○															
レジリエンス科学		1					○														
情報セキュリティ概論	●	1					◎														
(数理的基礎能力)																					
基礎数学演習		1		○																8単位以上	
微分・積分		2			○																
線形代数		2				○															
プログラミング	●	2				◎															
確率・統計	●	2					◎														
ベクトル解析		2						○													
(多角的思考能力)																					
地域企業ニーズ概論		1						○													
工学実務		2						○													
科学・技術史		1																			
文化と情報メディア		1																			
資源・エネルギー論		1																			
環境政策		1																			
専門科目																					
(コース専門科目)																					
情報工学概論	●	1	◎																	60単位以上	
情報システム工学	●	1		◎																	
数理演習		1		○																	
計算機入門	●	2			◎																
論理回路	●	2				◎															
WEBデザイン	●	1					◎														
線形計画法		1						○													
中級プログラミング	●	2						◎													
情報数学	●	2							◎												
インターネット	●	2								◎											
オペレーティング・システム	●	2									◎										
計算機アーキテクチャ	●	1										◎									
非線形計画法		1											○								
情報システム基礎構築		1												○							
情報とビジネス		1																			
ビッグデータ解析		2																			
レジリエンスデザイン		2																			
データ構造とアルゴリズム		2																			
アルゴリズム演習		1																			
ヒューマンインタフェースⅠ		2																			
データベース		2																			
ソフトウェア工学		2																			
ソフトウェア工学演習		1																			
情報理論		2																			
サービス指向開発		1																			

前:第1学期、後:第2学期、1Q:第1クォーター、2Q:第2クォーター、3Q:第3クォーター、4Q:第4クォーター

授業科目	卒業研究着手要件科目	単位数	配当年次												備考	卒業要件単位数				
			1年次				2年次				3年次						4年次			
			前	後	3Q	4Q	前	後	3Q	4Q	前	後	3Q	4Q			前	後	3Q	4Q
<b>(コア専門科目)</b>																				
グラフ理論		1																		
情報システム基礎応用設計		1																		
データマイニング		1																		
信頼性工学		2																		
信頼性工学演習		1																		
情報セキュリティI		2																		
Webシステム開発		1																		
オブジェクト指向言語		2																		
オブジェクト指向言語演習		1																		
ソフトウェアモデリング		2																		
ソフトウェアモデリング演習		1																		
ヒューマンインタフェースII		2																		
情報システム・セキュリティ実験I	★	2																		
情報社会実験I	◆	2																		
機械学習入門		2																		
オートマトン		1																		
データビジュアライゼーション		1																		
サービス工学		1																		
モデリングとシミュレーション		2																		
情報セキュリティII		2																		
情報セキュリティ演習		1																		
人工知能		2																		
コンプライア		2																		
ソフトウェアリスク管理		2																		
情報システムリスクマネジメント演習		1																		
情報システム・セキュリティ実験II		2																		
情報社会実験II		2																		
著作権		1																		
プロジェクトとリスク管理		1																		
情報ビジネスデザイン		1																		
情報関連法規		1																		
物理学		1																		
化学		1																		
生物学		1																		
地学		1																		
物理学実験		1																		
化学実験		1																		
生物学実験		1																		
地学実験		1																		
工業概論		2																		
職業指導概論I		2																		
職業指導概論II		2																		
情報と職業		2																		
情報科教育法I		2																		
情報科教育法II		2																		
卒業研究・卒業制作																				
卒業研究		8																		
自由科目																				
(SUS株式会社(附属)アルミ学 -素材・技術・歴史-		2																		

(注1) ◎:必修科目、⊙:情報システム・セキュリティプログラムの必修科目、⊙\*:情報社会プログラムの必修科目、○:選択科目、  
(注2) 情報システム・セキュリティプログラムにおいては●印と★印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究着手を認めない。  
情報社会プログラムにおいては●印と◆印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究着手を認めない。  
ただし、学部開設科目の共通科目のうち1科目(編入生の場合は2科目)及び専門科目のうち、情報工学概論と情報システム・セキュリティ実験I、情報社会実験Iを除く、1科目の未修得を認める。  
(Ⅱ.履修方法(5.履修制限)について (2)卒業研究着手の制限)を参照

(2) 学部開設科目教育課程表

e) 人工知能・通信ネットワークコース

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒業研究若 手要件科目	単 位 数	配当年次												備考	卒業要件単位数	
			1年次			2年次			3年次			4年次					
			前	後	4Q	前	後	4Q	前	後	4Q	前	後	4Q			
共通科目																	
(倫理)																	
創造工学倫理		1															1単位
(コミュニケーション能力)																	
対人コミュニケーション		1															3単位以上
国際コミュニケーションⅠ		1															
国際コミュニケーションⅡ		1															
技術英語		2															
海外工学実務Ⅰ		4													集中		
海外工学実務Ⅱ		2													集中		
(デザイン思考能力)																	
デザイン概論	★	1	◎														4単位以上
チームワーキング演習	★	1	◎														
地域とアート		1		○													
革新デザイン史		1			○												
インタラクションデザイン		1				○											
Web入門		1					○										
デザイン思考演習	★	1					◎										
色彩学		1						○									
マルチメディアクリエイティブ入門		1							○								
人間工学基礎		1								○							
感性工学		1									○						
デザインの潮流		2										○					
(リスクマネジメント能力)																	
リスクマネジメント概論	★	1		◎													3単位以上
リスクコミュニケーション入門	★	1		◎													
ロジカル思考演習	★	1	◎														
自然災害科学		1			○												
レジリエンス科学		1				○											
情報セキュリティ概論		1					○										
(数理の基礎能力)																	
基礎数学演習		1		○													8単位以上
微分・積分	★	2				◎											
線形代数	★	2					◎										
プログラミング	★	2						◎									
確率・統計	★	2							◎								
ベクトル解析		2								○							
(多角的思考能力)																	
地域企業ニーズ概論		1								○							集中
工学実務		2															
科学・技術史		1									○						
文化と情報メディア		1										○					
資源・エネルギー論		1											○				
環境政策		1												○			
専門科目																	
(コース専門科目)																	
数理解演習		1		○													60単位以上
計算機入門		2				○											
論理回路	★	2					◎										
線形計画法		1						○									
グラフ理論		1							○								
中級プログラミング		2								○							
情報数学		2									○						
インターネット		2										○					
電気回路Ⅰ(人工知能・通信ネットワークコース)	★	2											◎				
電気回路演習Ⅰ	★	1												◎			
非線形計画法		1													○		
ビッグデータ解析		2													○		
レジリエンスデザイン		2													○		
ヒューマンインタフェースⅠ		2													○		
情報理論		2													○		
電磁気学Ⅰ(人工知能・通信ネットワークコース)		2													◎		
電磁気学演習Ⅰ		1													◎		
電子回路		2													◎		
信号解析		2													◎		

前:第1学期、後:第2学期、1Q:第1クォーター、2Q:第2クォーター、3Q:第3クォーター、4Q:第4クォーター

授業科目	卒業研究着手要件科目	単位数	配当年次												備考	卒業要件単位数				
			1年次				2年次				3年次						4年次			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後						
(コース専門科目)			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
センシングⅠ		1								○										
センシングⅡ		1								○										
信頼性工学		2								○										
信頼性工学演習		1								○										
情報セキュリティⅠ		2								○										
ヒューマンインタフェースⅡ		2								○										
機械学習入門		2								○										
電気回路Ⅱ		2								○										
電磁気学Ⅱ(人工知能・通信ネットワークコース)		2								○										
電気電子計測		2								○										
デジタル信号処理		2								○										
人工知能・通信ネットワーク実験Ⅰ	★	2								◎										
人工知能・通信デザイン演習		1								◎										
モデリングとシミュレーション		2								◎										
人工知能		2								◎										
数値最適化		2								◎										
電波・応用工学		2								◎										
光通信システム工学		2								◎										
通信工学		2								◎										
人工知能・通信ネットワーク実験Ⅱ		2								◎										
人工知能・通信リスクマネジメント演習		1								◎										
情報通信システム		2								◎										
固体物理学Ⅰ		2								○										
固体物理学Ⅱ		1								○										
エッジデバイス設計		1								○										
物理学		1								○										
化学		1								○										
生物学		1								○										
地学		1								○										
物理学実験		1								○										
化学実験		1								○										
生物学実験		1								○										
地学実験		1								○										
工業概論		2								○										
職業指導演習Ⅰ		2								○										
職業指導演習Ⅱ		2								○										
情報と職業		2								○										
情報科教育法Ⅰ		2								○										
情報科教育法Ⅱ		2								○										
卒業研究・卒業制作										○										
卒業研究		8								◎				◎				◎		8単位
自由科目										○										9単位以上
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-		2								○										

(注1) ◎:必修科目、○:選択科目

(注2) ★印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究着手を認めない。

ただし、学部開設科目の共通科目うち1科目(編入生の場合は2科目)及び専門科目のうち、人工知能・通信ネットワーク実験Ⅰを除く1科目(電気回路Ⅰと電気回路演習Ⅰはまとめて1科目とみなす)の未修得を認める。

(Ⅱ.履修方法「5.履修制限について (2)卒業研究着手の制限」を参照)

(2) 学部開設科目教育課程表

f) 機械システムコース

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒業研究 着手要件 科目	単 位 数	配当年次																備考	卒業要件単位数	
			1年次				2年次				3年次				4年次						
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後							
共通科目																					
(倫理)																					
創造工学倫理		1																	◎		1単位
(コミュニケーション能力)																					
対人コミュニケーション		1																	○		3単位以上
国際コミュニケーションⅠ		1																◎			
国際コミュニケーションⅡ		1																◎			
技術英語		2																○			
海外工学実務Ⅰ		4																○			
海外工学実務Ⅱ		2																○		集中 集中	
(デザイン思考能力)																					
デザイン概論	★	1	◎																		4単位以上
チームワーキング演習	★	1		◎																	
地域とアート		1			○																
革新デザイン史		1							○												
インタラクションデザイン		1							○												
Web入門		1							○												
デザイン思考演習	★	1							◎												
色彩学		1							○												
マルチメディアクリエイティブ入門		1							○												
人間工学基礎		1							○												
感性工学		1							○												
デザインの潮流		2																○			
(リスクマネジメント能力)																					
リスクマネジメント概論	★	1																◎		3単位以上	
リスクコミュニケーション入門	★	1																◎			
ロジカル思考演習	★	1																◎			
自然災害科学		1																○			
レジリエンス科学		1																○			
情報セキュリティ概論		1																○			
(数理的基礎能力)																					
微分・積分	★	2																◎		8単位以上	
線形代数	★	2																◎			
プログラミング	★	2																◎			
ベクトル解析		2																○			
確率・統計		2																○			
(多角的思考能力)																					
地域企業コース概論		1																		集中	
工学実務		2																			
科学・技術史		1																			
文化と情報メディア		1																			
資源・エネルギー論		1																			
環境政策		1																			
専門科目																					
(コース専門科目)																					
機械システム実験・実習Ⅰ	★	2																◎		60単位以上	
機械システム実験・実習Ⅱ	★	2																◎			
工業数学基礎	★	2																◎			
材料力学Ⅰ(機械システムコース)	★	2																◎			
機械製図	★	2																◎			
機械システム実験・実習Ⅲ	★	2																◎			
失敗学演習	★	1																◎			
工業数学	★	2																◎			
材料力学Ⅱ	★	2																◎			
工業力学	★	2																◎			
機械材料	★	2																◎			
基礎加工学	★	2																◎			
電気・電子回路Ⅰ	★	2																◎			
数値解析(機械システムコース)		1																○			
機械学習		1																○			
弾性力学		2																○			
熱力学(機械システムコース)		2																○			
メカニズム		2																◎			
機械要素		2																◎			
設計工学演習		2																○			

前:第1学期、後:第2学期、1Q:第1クォーター、2Q:第2クォーター、3Q:第3クォーター、4Q:第4クォーター

授業科目	卒業研究着手要件科目	単位数	配当年次												備考	卒業要件単位数				
			1年次				2年次				3年次						4年次			
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後						
(コース専門科目)			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
電気・電子回路Ⅱ		2							○											
制御工学		2							◎											
光学(機械システムコース)		2							○											
機械力学Ⅰ		2								◎										
流体力学Ⅰ		2								◎										
伝熱工学		2								◎										
機能設計工学		2								◎										
計測工学		2								◎										
電磁気学(機械システムコース)		2								◎										
ロボット工学		2								◎										
マイクロ・ナノ工学		2								◎										
機械力学Ⅱ		2									○									
流体力学Ⅱ		2									○									
機能美工学演習		1									◎									
現代制御		2									◎									
半導体工学		2									◎									
自動車工学		2									◎									
物理学		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
化学		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
地学		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
物理学実験		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
化学実験		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
生物学実験		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
地学実験		1								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
工業概論		2								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論Ⅰ		2								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
職業指導概論Ⅱ		2								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報と職業		2								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法Ⅰ		2								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
情報科教育法Ⅱ		2								○									隔年・集中 卒業要件単位に含めない。	
卒業研究・卒業制作																				
卒業研究		8									◎			◎			◎			8単位
自由科目																				
(SUS株式会社客附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-		2									○									9単位以上

(注1) ◎:必修科目、○:選択科目

(注2) ★印の授業科目を第3年次第1学期終了までに修得しなければ、卒業研究着手を認めない。

ただし、学部開設科目の共通科目のうち2科目及び専門科目のうち機械システム実験・実習Ⅰ～Ⅲを除く2科目の未修得を認める。

(Ⅱ.履修方法「5.履修制限について (2)卒業研究着手の制限」を参照)

(2) 学部開設科目教育課程表

e) 材料物質科学コース

前: 第1学期、後: 第2学期、1Q: 第1クォーター、2Q: 第2クォーター、3Q: 第3クォーター、4Q: 第4クォーター

授業科目	卒研着手 要件科目	単 位 数	配当年次																備考	卒業要件単位数	
			1年次				2年次				3年次				4年次						
			前	後	3Q	4Q	前	後	3Q	4Q	前	後	3Q	4Q	前	後	3Q	4Q			
共通科目																					
(倫理)																					
創造工学倫理		1																	◎		1単位
(コミュニケーション能力)																					
対人コミュニケーション		1																		○	集中
国際コミュニケーションⅠ		1							◎												
国際コミュニケーションⅡ		1																			
技術英語		2																			
海外工学実務Ⅰ		4																			集中
海外工学実務Ⅱ		2																			集中
(デザイン思考能力)																					
デザイン概論	★※1	1		◎																	
チームワーキング演習	★※1	1		◎																	
地域とアート		1			○																
革新デザイン史		1				○															
インタラクションデザイン		1																			
Web入門		1																			
デザイン思考演習	★※1	1							◎												
色彩学		1																			
マルチメディアクリエイティブ入門		1																			
人間工学基礎		1																			
感性工学		1																			
デザインの潮流		2																			
(リスクマネジメント能力)																					
リスクマネジメント概論	★※1	1		◎																	
リスクコミュニケーション入門	★※1	1		◎																	
ロジカル思考演習	★※1	1		◎																	
自然災害科学		1				○															
レジリエンス科学		1					○														
情報セキュリティ概論		1						○													
(数理的基礎能力)																					
微分・積分	★※1	2							◎												
線形代数	★※1	2																			
プログラミング	★※1	2								◎											
確率・統計		2																			
ベクトル解析	★※1	2																			
(多角的思考能力)																					
地域企業ニーズ概論		1																			
工学実務		2																			集中
科学・技術史		1																			
文化と情報メディア		1																			
資源・エネルギー論		1																			
環境政策		1																			
専門科目																					
(コース専門科目)																					
工業材料概論Ⅰ	★※2	2																			
計算機入門		2																			
工業材料概論Ⅱ	★※2	2																			
データ解析・数値計算演習	★※2	1																			
無機化学Ⅰ	★※2	2																			
有機化学Ⅰ	★※2	2																			
電磁気学Ⅰ(材料物質科学コース)	★※2	2																			
力学	★※2	2																			
材料力学(材料物質科学コース)	★※2	2																			
熱力学(材料物質科学コース)	★※2	2																			
材料物質科学実験Ⅰ	★※2	1																			
ビッグデータ解析		2																			
電子回路		2																			
無機化学Ⅱ		2																			
有機化学Ⅱ		2																			
材料組織学Ⅰ		2																			
量子力学Ⅰ		2																			
電磁気学Ⅱ(材料物質科学コース)		2																			
統計力学		2																			



## 6. 創造工学部の英語教育について

英語は世界標準語として位置付けられ、世界の各地域での英語教育が飛躍的に増強されている。このような流れの中で、英語教育は大学教育評価の主要な指標として取り入れられてきている。英語の素養のない学生は高等教育修了者として認められない状況となりつつあり、日本でも工学教育の国際カリキュラム化が議論されている。

本学部では、英語教育に関する系統的カリキュラムを編成している。本学部における英語教育の柱は、TOEIC TEST を中心とした教育及び工学専門教育に役立つ英語の教育である。

すなわち、次ページの表に示すように、

1. 一般的な英語構文の理解と語彙の増加を目指す科目  
全学共通科目「Communicative English I・II」「English Speaking & Writing I」  
「English Speaking & Writing II」
2. コミュニケーション能力を高める科目  
全学共通科目「Academic English I・II」  
創造工学部開設科目「国際コミュニケーション I・II」
3. 研究に必要な英語能力を高める科目  
創造工学部開設科目「技術英語」

から成っている。それぞれの授業目的は明確に示されているので、自覚的に取り組むことが重要である。

また、香川大学大学院創発科学研究科の大学院入試には大学在学中の TOEIC TEST のスコアシートが必要となる。授業によっては TOEIC TEST の成績によってクラス編成が決まるものもある。この他にも時間外の英語クラスなどが有志により運営されている。

さらに、英語以外の、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語(これらの4か国語は全学共通科目の初修外国語として開講されている)などを履修することは、それぞれの国の文化を理解する上で重要である。創造工学部は中国、台湾、タイ、韓国、ネパール、フランス、ドイツ、フィンランド、スウェーデン、アメリカ、オーストラリアの大学と学術研究交流協定を結んでいる。学生諸君をこれらの国の大学や企業に留学生やインターンシップ学生として派遣する制度も整備している。派遣されるときには現地の言葉を少しでも理解しておくことは有意義であり、受入大学等もそれを望んでいる。

## 創造工学部の外国語関連授業科目カリキュラム

授業科目		1年次				2年次				3年次				4年次					
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
<b>全学共通科目</b>																			
初修外国語 (ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語)		○(2)		○(2)															
英 語	Communicative English I	◎(2)																	
	Communicative English II			◎(2)															
	English Speaking & Writing I					◎(1)													
	English Speaking & Writing II							◎(1)											
	Academic English I ※1									○(1)									
	Academic English II ※1											○(1)							
<b>創造工学部開設科目</b>																			
コ ミュ ニ ケー ション 能 力	国際コミュニケーション I							◎(1)											
	国際コミュニケーション II									◎(1)									
	技術英語									○(2)		○(2) ※2							
多 角 的 思 考 能 力	海外工学実務 I									○(4)									
	海外工学実務 II									○(2)									
<b>その他</b>																			
専門英語とプレゼンテーション学習														●		●		●	

注：◎必修、○選択、( )内：単位数、●：卒業研究・卒業制作

※1: TOEIC670点、実用英検準1級以上等による単位認定で Communicative English I / II の単位を取得した学生は、1年次生からの履修も可能である。

※2: 機械システムコースのみ

## 7. インターンシップについて

学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験(いわゆる「インターンシップ」)を行うことにより、学習意欲の喚起、自立心・責任感や高い職業意識の育成を目的として実施する。

### (1) 授業科目の位置づけ

以下のように、正規の授業科目として単位認定を行う。

授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択
工学実務	2単位	2年次	選択
海外工学実務Ⅰ	4単位	3年次	選択
海外工学実務Ⅱ※	2単位	3年次	選択

※海外工学実務Ⅱは、派遣期間が8週間以上となる場合に海外工学実務Ⅰに加えて成績認定されるため、単独での履修はできないので注意すること。

### (2) 内容

国内外の企業及び公共機関等の実際の業務を体験し、工学の意味や役割を理解する。実習は、自らの専攻、将来のキャリアに関連した機関を選択し、主に夏季休業期間中に実施する。実習終了後は、レポートを提出する。効果的な実習になるよう事前指導を行うほか、実施報告会を開催し、事後指導を行う。

### (3) 実施計画

概要は、以下のとおりである。詳細については、別途掲示等により周知する。

#### ① 時期・期間

- ・ 第2年次の夏季休業期間(主に8～9月)  
※国外については、実習先の都合等により夏季休業期間以外の時期になることもある。
- ・ 実習期間は2週間(実働10日間)以上とする。  
※国外については、約3～4ヶ月

#### ② 実習先の決定

- ・ 国内については、毎年6～7月頃に実習企業等のリストを公表し、実習希望者の募集を行う。実習先は、7月頃に決定される。自らインターネット等で実習企業等を探しても良い。ただし、必ず結果を届けなければならない。
- ・ 国外については、実施前年度の12～1月頃に公募を行い、学業成績、英語等の国際コミュニケーション能力について審査し、派遣候補者が決定される。

## 8. 他大学との単位互換制度について

単位互換制度とは、単位互換協定校の授業科目を履修し、そこで修得した単位を、所属する大学の単位として認定しようとするものである。

本学部には、以下の単位互換制度がある。

### (1) 香川県内5大学及び放送大学間単位互換制度

香川県内5大学(香川大学、高松大学、四国学院大学、香川県立保健医療大学、徳島文理大学)及び放送大学との間で単位を互換する制度である。

募集予定時期:前期分(4月頃)、後期分(9月頃)

### (2) 中国・四国国立大学工学系学部間単位互換制度

鳥取大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学の各工学系学部及び本学部の間で単位を互換する制度である。

これらの制度は、大学間相互の交流と協力を促し、教育内容の充実を図ることを目的としている。参加大学の特色ある授業科目や本学に無いユニークな授業科目が提供されており、自分の関心や興味に応じて、受講することも可能である。

各大学から単位互換科目として提供される授業科目を履修し、修得した単位は、本学部の卒業要件単位(原則として「自由科目」)として認定される。受講者の募集や履修手続等の詳細については、事前に学務係へ問い合わせること。

## 9. 資格について

### 教育職員免許状の取得について

教育職員免許状の取得については、別途、詳しい資料等を4月上旬頃配布する。詳細については、学務係へ問い合わせること。

(教育職員免許状の概要)

- 大学(短期大学)及び高等専門学校を除くすべての国公私立学校の教育職員(常勤、非常勤を問わない。)となるためには、それぞれ相当の教育職員免許状を有しなければならない。
- 教育職員免許状を希望する者は、「教育職員免許法」、「教育職員免許法施行規則」等の定めるところにより、大学において所定の単位を修得しなければならない。
- 創造工学部で取得できる教育職員免許状の種類は、以下のとおりである。所属するコースによっては、修業年限での教育職員免許状取得が難しい教科がある。

教育職員免許状(教科の種類)
高等学校教諭一種免許状(理科)
高等学校教諭一種免許状(情報)
高等学校教諭一種免許状(工業)

### 一級建築士・二級建築士・木造建築士(受験資格)

建築・都市環境コースおよび防災・危機管理コースにおいては、一級建築士、二級建築士・木造建築士に応じた指定科目の所定の単位を修得することで、建築士資格試験の受験資格が卒業後すぐに与えられる。免許登録時に必要となる実務経験年数は、修得した指定科目の総単位数に応じて定められている。詳細については付録参照のこと。

### 測量士・測量士補

建築・都市環境コース、防災・危機管理コース※を卒業後、国土地理院に申請することにより、測量士補の資格が与えられる。また、同コースを卒業後1年間の実務経験を経れば、国土地理院に申請することにより、測量士の資格が与えられる。

※防災・危機管理コースは、所定の科目を履修し、所定の単位数を修得した場合

### 施工管理技士(受検に必要な実務経験年数の短縮)

建築・都市環境コースを卒業した者および防災・危機管理コースで所定の単位を修得し卒業した者は、施工管理技術検定(建設機械施工、土木施工管理、建築施工管理、電気工事施工管理、管工事施工管理、造園施工管理)の受検に必要な実務経験年数が短縮される。

2級の施工管理技術検定は卒業見込時に学科試験のみを受検することができる。

---

### 1級・2級舗装施工管理技術者(受験に必要な実務経験年数の短縮)

建築・都市環境コースを卒業した者および防災・危機管理コースで所定の単位を修得し卒業した者は、1級・2級舗装施工管理技術者試験の受験に必要な実務経験年数が短縮される。

## 10. コース確定配属について

### ○コース確定配属について

1年次に合格したコースは仮配属のコースであり、2年進級時に確定配属となる。

確定配属変更を希望する学生は、仮配属コースの責任者及びキャンパス・アドバイザーの助言及び許可を得て、入学年度の10月末日までに創造工学部学務係に確定配属変更願書を提出しなければならない。なお、1年次の時点で休学した学生は、仮配属されたコースで確定配属されるため、コースを変更したい場合は、下記の、転コース申請を行う。

入学時に仮配属されたコースから変更を希望しない学生については、特段の手続きを経ずに当該コースに確定配属される。

確定配属変更は、変更理由、入試成績、入学後の学習状況、面接等から総合的に審査のうえ決定される。なお、確定配属を希望するコースの教育に必要な施設設備の保有状況等により、変更が認められない場合がある。また、コース変更に伴い、変更先のコースによっては4年間で卒業できない場合が生じるため、確定配属を変更する際には、仮配属されたコースのキャンパス・アドバイザーや教務委員等とよく相談して決めること。

申請時期・方法等については、学務係に問い合わせること。

## 11. 転学部・転コースについて

### ○転学部について

他学部への転学部を希望する者は、毎年1月中旬頃に創造工学部学務係へ申し出るとともに、毎年1月31日までに希望する学部へ願出すること。希望先の学部で選考が行われ、合格すれば転学部が認められる。

ただし、願書を提出する前に、必ずキャンパス・アドバイザー（又は指導教員）に相談すること。

詳細は、IV. 諸規則「香川大学転学部に関する取扱規則」を参照のこと。

### ○転コースについて

他コースへの転コースを希望する者は、毎年11月下旬頃に創造工学部学務係へ申し出ること。希望先のコースで選考が行われ、書類審査、面接等により合格すれば、転コースが認められる。受付期間については、別途掲示等により周知する。

ただし、願書を提出する前に、必ず所属するコースの責任者及びキャンパス・アドバイザー（又は指導教員）に相談すること。

詳細は、IV. 諸規則「香川大学創造工学部転コースの取扱いに関する申し合わせ」を参照のこと。

---

## 12. 早期卒業について

卒業要件単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者は、本人の申請により、3年間の在学で卒業を許可する。

詳細は、IV. 諸規則「香川大学創造工学部早期卒業の認定基準に関する細則」を参照のこと。

申請時期・方法等については、別途掲示等により周知する。

## 13. 本学大学院への飛び入学制度について

詳細は、IV. 諸規則「香川大学大学院学則第 20 条第9号に規定する入学資格による出願の事前審査応募に関する認定審査基準」を参照のこと。

事前審査の申請時期・方法等については、学務係に問い合わせること。

---

## Ⅱ. 履修方法

## 1. 時間割

新年度のスタートは、時間割を作成することから始まる。

本学では、以下のような時間割に従って授業科目を配置する。学生は、その中から自分に必要な授業科目を選択し、自分だけの時間割を作成する。

校時	I 校時	II 校時	昼休み	III 校時	IV 校時	V 校時
曜日	8:50～ 10:20	10:30～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:30	14:40～ 16:10	16:20～ 17:50
月						
火						
水						
木						
金						

- 1つの授業科目は、1週間につき1回、1学期間で15回(週)行うことを基本とする。

授業科目によっては、前期及び後期をそれぞれ前半と後半に分けたクォーター制が導入され、その科目は1週間につき1回、各クォーターで8回(週)行う。

- 上記のほかに、主に夏季休業中に8回又は15回の授業をまとめて行う「集中講義」も行われる。

- 1校時を、通称「1コマ」と呼ぶ。1回の授業は1コマで行われるが、実験・実習・演習や初修外国語などは、その単位数によって1回の授業を1コマ、2コマ又は3コマで行う場合がある。

本学には、幸町キャンパス、林町キャンパス、三木町農学部キャンパス及び三木町医学部キャンパスの4つのキャンパスがある。全学共通科目は、主に幸町キャンパスで、創造工学部の学部開設科目は、主に林町キャンパスで開講されるが、造形・メディアデザインコースの科目及び一部の学部共通科目は幸町キャンパスで開講される。

以上のように両キャンパスで授業が行われるため、履修計画を立てる際には十分に注意すること。

履修科目の選択及び時間割の決定は、以下の資料を用いて、学生が自分自身で行う。

- ① 創造工学部修学案内(本冊子)(全学共通科目は、「全学共通科目修学案内(教養教育)」を参照)
- ② 創造工学部シラバス(全学共通科目は、「全学共通科目シラバス」を参照)
- ③ 創造工学部開講科目表・時間割(全学共通科目の時間割は、「全学共通科目開講科目表及び時間割」を参照)

(注意)

- ・ ①創造工学部修学案内(本冊子)は、入学時にしか配布されないため、卒業するまで大切に保管しておくこと。②は Web システムで確認すること。③は、毎年4月に学務係窓口にて配布。
- ・ 全学共通科目の「全学共通科目修学案内(教養教育)」及び「全学共通科目開講科目表及び時間割」は、1年生全員に配布する。2年生以上の希望者には「全学共通科目開講科目表及び時間割」を配布する。

## 2. 科目履修のルール 【重要！！】

授業科目を選択する際、必ず守らなければならないルールを、以下に示す。

これらのルールに反して授業科目を選択しても、卒業要件単位として認められないので、注意すること。

### (1) 基本ルール

- ① 自分の年次より高い年次に配当された授業科目を履修することはできない。
- ② 同一校時に複数の授業科目を履修することはできない。
- ③ 履修して単位を修得した授業科目は、再度履修することはできない。
- ④ 不合格となった授業科目は、改めて履修しなければ単位を修得することはできない。
- ⑤ 異なるキャンパスで開講される授業科目を連続した時間帯で履修することはできない。ただし、昼休みをはさむ場合は、この限りではない。
- ⑥ 1つの学期に履修登録できる単位数の上限は、当該学期の前半及び後半に開講するクォーター型科目(e-Learning 科目を含む)を含めて24単位とする。ただし、登録上限対象外の科目については、全学共通科目教育課程表及び創造工学部開講科目表・時間割を参照すること。

※1年以上在学し、かつ極めて成績優秀な学生については、本人の申出により、上記制限を超えて履修登録を行うことが認められる(詳細は、IV. 諸規則「香川大学創造工学部履修科目登録の上限単位数に関する細則」を参照のこと)。

### (注釈)

- ①について : 例えば、2年次に配当された授業科目を、1年次生は履修することはできない。2年次以上の学生は履修することができる。
- ③について : 例えば、ある授業科目で既に「可」の成績を修得している者が、さらに良い成績を修得するために、翌年度以降に再履修をしようとしても認められない。
- ⑤について : 休憩時間の間(10分間)に、異なるキャンパス間を移動することは不可能であるため。
- ⑥について : 過度に授業科目を履修することにより、レポート作成や宿題を行う時間、予習・復習時間が不足し、十分な学習量を確保することができなくなる。これを防ぐために、1つの学期に履修登録できる単位数を制限するものである。卒業間近になって慌てることのないよう、1年次のうちから計画的に履修し、修得すること。

## (2) 全学共通科目の履修上の注意点

全学共通科目の履修に当たっては、「全学共通科目修学案内(教養教育)」を熟読すること。

- ① **ライフデザインについて**  
1単位必修。  
ただし、ライフデザインは1単位だけしか卒業要件単位として認めない。
- ② **大学入門ゼミについて**  
2単位必修。  
ただし、2単位を超えて修得した単位は卒業要件単位とは認めない。
- ③ **情報リテラシーについて**  
2単位必修。  
ただし、2単位を超えて修得した単位は卒業要件単位とは認めない。
- ④ **主題科目について**  
7単位以上を修得しなければならない。
- ⑤ **学問基礎科目について**  
(ア) 文系科目から4単位以上、理系科目から4単位以上修得しなければならない。  
(イ) 卒業要件単位(8単位以上)のうち、創造工学部推奨選択科目(数学・地学・物理学・化学・生物学)の中から4単位以上を修得することが望ましい。  
(ウ) 特に、物理学 A、数学 C 及び数学 D の修得を強く推奨する。  
なお、物理学 B の修得を強く推奨するコースもある。  
(エ) 所属コースごとに、推奨する履修科目が異なる。「3. 創造工学部創造工学科各コースの概要と履修要領」を十分に確認したうえで、履修すること。  
(オ) 同一授業科目にある授業は、卒業要件単位としては2科目4単位の修得を上限とする。ただし、実験科目を修得した場合を除く。  
(カ) 同一内容の授業科目を再度履修しても、卒業要件単位として計算されない。
- ⑥ **その他**  
ライフデザイン、健康・スポーツ、大学入門ゼミ、情報リテラシー、学問への扉、主題科目、学問基礎科目、広範教養教育科目・高度教養教育科目、初修外国語は合わせて 26単位以上を修得しなければならない。  
主題科目で7単位及び学問基礎科目で8単位を超えて修得した単位は、この26単位以内の単位として認定される。  
健康・スポーツは2単位、学問への扉は6単位、広範教養教育科目・高度教養教育科目は6単位、初修外国語は4単位を超えて修得しても、この26単位以内の単位としては認定されない。

(注釈)⑤について : オ)の例

修得した同一授業名の科目	卒業要件として認められる単位数
(講義科目)数学 A、数学 C、数学 D	4
(講義科目)物理学 A、物理学 B、(実験科目)物理学P	6

---

### (3) 学部開設科目履修上の注意点

学部開設科目の履修に当たっては、「3. 創造工学部創造工学科各コースの概要と履修要領」を熟読すること。

実験や演習など科目によっては、学生教育研究災害障害保険(学研災)及び学研災付帯賠償責任保険(学研賠)の加入が履修の条件になっているので、必ず加入すること。

### (4) 他学部・他コースの授業科目を履修するときの注意点

- ① 1年次の間は、自分の所属するコースの教育課程表にない授業科目を履修することはできない。
- ② 実験、実習、演習形式の授業及び少人数を対象とした授業科目は、原則として履修することはできない。
- ③ 他学部・他コースで開講される授業科目を履修しようとする場合には、あらかじめ創造工学部学務係へ申し出ること。

■学生は自己の責任において履修する科目を決定し、所定の期間内に登録の手続きをしなければならない。

### 3. 創造工学部創造工学科各コースの概要と履修要領

#### 造形・メディアデザインコース

##### 1. 教育理念

本コースでは、デザイン分野と工学分野の融合を目指した教育を行い、従来の工学系教育が担う機能的価値の創造に加えて、人間中心のモノやコトをデザインできる能力を涵養し創造的で社会的意義のある意味的価値を生み出す次世代工学系人材を養成する。

##### 2. コースの説明

本コースでは、デザイン思考・リスクマネジメント・インフォマティクス(D R I)を基盤に、コース必修科目と「ソリューション系」科目を共通科目に設定し、「プロダクトデザイン系」、「メディアデザイン系」、「エンジニアリングデザイン系」の3系に関する科目でコースカリキュラムを構成している。

3年次からは、「ソリューション系」と上記3系について、各系の専門性を「造形・メディアデザイン論」で再確認し、「P B L I」で実際のフィールドを体験、「P B L II」で実践的に具体化することを学び、「P B L III」で地域・社会と連携した実践知の習得を必修とする。これらを踏まえて専門別の研究室に配属して卒業研究あるいは卒業制作に取り組む。

##### 3. 学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

造形・メディアデザインコースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学習到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	① 論理的かつ客観的な文章を作成することができる。 ② 多様な情報を適切に利用し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 ③ 国際的な視野を持ち、世界標準の科学技術に関する情報を収集できる。
知識・理解	④ 自然科学の基礎知識を持ち、その基本原理を理解している。 ⑤ 状況に応じて柔軟に理解、調査・分析、発想・創造ができる。 ⑥ 人間、社会、環境、美などの多角的な視点を備えている。
問題解決能力・課題解決能力	⑦ 自主的、継続的に学習し、新たな課題を探求することができる。 ⑧ 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講じ、想定外の事態にも対応することができる。 ⑨ 専門知識に基づいた創作力、設計力、構成力を用いて、総合的な価値の創造につながる設計(デザイン)を企画、立案し、それを試作評価することができる。
倫理観・社会的責任	⑩ 市民としての社会的責任を自覚して行動することができる。 ⑪ 高い倫理観を持ち、時代の変化に対応できる人間基礎力を発揮できる。

地域理解	⑫ 地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連付けて問題を発見し、探求することができる。
プロダクトデザイン系の実践力	⑬ 問題を発見し、機能、審美、生産、経済などの諸条件からプロダクト・サービスに関する最適解を創造できる。
メディアデザイン系の実践力	⑭ メディアの特性を説明できるとともにメディアを活用したモノ作りができる。
エンジニアリングデザイン系の実践力	⑮ 地域社会からグローバル規模までの幅広い課題に対して、その解決策を工学的なもの見方、考え方、手法で設計(デザイン)することができる。

#### 4. カリキュラムの内容

造形・メディアデザインコースのカリキュラムは、これらの学習到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目はコース専門科目の科目群に分けられる。

カリキュラム関連図に、科目間の関連と、どの科目がどの科目群に含まれるかを示す。コースで設置した専門科目については、3つある系それぞれに受講する科目が分かるように、コース共通科目、プロダクトデザイン系、メディアデザイン系、エンジニアリングデザイン系の科目群で分類している。各系での分類は、推奨科目の目安を示すもので、例えばメディア系を目指す学生が他の系の推奨科目を選択し受講することは可能である。

科目を示すボックスの前に3つの小さなボックスが付いている。各自が目指す専門分野に応じて、各ボックスに P(プロダクトデザイン系)、M(メディアデザイン系)、E(エンジニアリングデザイン系)の各系を表すアルファベットを示す。ボックスが黒色の場合は必修科目を表し、青色の場合は推奨科目のうち、「強く推奨」、黄色の場合は「推奨」であることを表す。必修科目は本コースで修得しなければならない科目、推奨科目(「強く推奨」と「推奨」)はそれぞれの系の修了生が備えておくべき知識を扱っており、以降に配置された科目でその知識を前提とする場合があるため、受講することを強く勧める科目である。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

コースの卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中から必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。造形・メディアデザインコースの卒業要件表は、コースの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。

##### 【全学共通科目】

幅広く深い教養と総合的判断力、豊かな人間性を涵養することを主たる目的とする科目である。卒業要件や各科目の内容については、「全学共通科目修学案内(教養教育)」を参照のこと。ただし、学問基礎科目、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 学問基礎科目:本コースでは「数学C」、「数学D」の履修を推奨する。ただし、高校時代に数学Ⅲを履修していない学生については、文系学生向けの「数学F」等の履修も認める。プロダクトデザイン系およびエンジニアリングデザイン系を希望する場合は、物理学関係の「物理学A」を履修しておくことを推奨する。
- ② 必修科目である大学入門ゼミと、情報リテラシーは第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語:創造工学部では、国際インターンシップによる学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国は、中国、タイ、韓国、ネパール、フランス、ドイツ、

スウェーデン、アメリカ等である。これらの国々で国際インターシップ等希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

【学部開設科目】

[倫理に関する科目]

① 倫理:

必修科目は以下である。1単位を修得すること。

共通科目	必修科目	創造工学倫理
------	------	--------

[コミュニケーション能力に関する科目]

② コミュニケーション能力:プロフェッショナルなコミュニケーション能力の修得を目指す科目である。必修科目および推奨科目は以下である。3単位以上を修得すること。

共通科目	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、Ⅱ
	推奨科目	技術英語、対人コミュニケーション

[デザイン思考能力に関する科目]

③ デザイン思考能力:デザイン思考の基本を修得する科目である。必修科目および推奨科目は以下である。4単位以上を修得すること。なお、当該科目の卒業要件を超えて修得した単位数は、コース専門科目の単位数に算入することができる。

共通科目	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、地域とアート、革新デザイン史、デザイン思考演習
	推奨科目	インタラクションデザイン、マルチクリエイティブ入門、色彩学、人間工学基礎、感性工学、デザインの潮流

[リスクマネジメント能力に関する科目]

④ リスクマネジメント能力:リスクマネジメントの基本を修得する科目である。必修科目および推奨科目は以下である。3単位以上を修得すること。

共通科目	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習
	推奨科目	レジリエンス科学、情報セキュリティ概論

[数理的基礎能力に関する科目]

⑤ 数理的基礎能力:工学を学ぶ上で必要な数理的基礎能力を養う科目である。⑥多角的思考能力と併せて8単位以上を修得すること。

コース共通	必修科目	微分・積分、線形代数、プログラミング
	推奨科目	確率・統計
	強く推奨する科目	基礎数学演習、基礎物理学演習
プロダクトデザイン系	推奨科目	ベクトル解析、確率・統計
メディアデザイン系	推奨科目	ベクトル解析、確率・統計

エンジニアリング デザイン系	推奨科目	ベクトル解析、確率・統計、フーリエ解析基礎
-------------------	------	-----------------------

[多角的思考能力に関する科目]

- ⑥ 多角的思考能力: 多角的な視点から工学環境の理解・思索・評価能力の養成を目指す科目である。必修科目および推奨科目は以下である。⑤数理的基礎能力と併せて8単位以上を修得すること。

学科共通	推奨科目	工学実務、文化と情報メディア、地域企業ニーズ概論
------	------	--------------------------

[専門科目]

- ⑦ コース専門科目

必修科目、各系の特に推奨する科目を以下の表に示す。60単位以上を修得すること。

コース共通	必修科目	造形基礎演習Ⅰ、造形基礎演習Ⅱ、計算機入門、造形・メディアデザイン基礎演習、デザイン手法論、デジタルグラフィックス演習、中級プログラミング(造形・メディアデザインコース)、造形・メディアデザイン演習、概念展開論、概念展開論演習、材料力学、造形・メディアデザイン論、PBLⅠ、PBLⅡ、PBLⅢ、
	推奨科目	サービス・イノベーション創造演習、ビジネスプラン基礎、ビジネススクリエーション、ビジネスプラン演習、CADⅠ、映像・画像・音声処理技術概論、構造力学、線形計画法、非線形計画法、メディア文化論、ヒューマンインタフェース、データ・ヴィジュアルゼーション、CADⅡ、プロダクトデザイン演習Ⅰ、サービスデザイン、製品設計における最適化法、数値解析、パターンマイニング
プロダクトデザイン系	推奨科目	生活プロダクトデザイン論、ブランディングデザイン演習、プロダクトデザイン演習Ⅱ、プレゼンテーション論、UXデザイン演習、プロダクトデザイン演習Ⅲ、ビジネスプロダクトデザイン論
メディアデザイン系	推奨科目	認知科学、教育工学、Webシステム開発、UX概論、LeanStartup概論、サービス工学、教育メディア、人工知能、企画・プロデュース論、社会・観光情報デザイン、地域社会とコンテンツ
エンジニアリング デザイン系	推奨科目	データ分析概論、シミュレーションデザイン、力学・振動学基礎、近似論、製品材料学

- ⑧ 卒業研究・卒業制作

創造工学部および本コースにおける勉学の総仕上げとして、3年次第3Qから、指導教員を選択(研究室に配属)し、テーマを設定して研究あるいは作品制作を行い、卒業論文あるいは作品としてまとめる(8単位、必修)。「卒業研究・卒業制作」は、研究・開発の様々な過程を経験するための非常に重要なものである。

【自由科目】

学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部(学科内の他コースを含む)及び他学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)あるいは単位互換制度を利用して他大学で開講する単位互換科目から9単位以上を修得すること。なお、本学科指定の学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位は、自由科目として読み替えることができる。

---

## 6. 資格

### 【教員免許】

「情報」と「工業」の教育職員免許状を取得することは可能であるが、他コースの授業（林町キャンパスで開講）をかなり多く取得する必要がある。したがって、取得を目指すにあたっては、キャンパス・アドバイザー（CA）と履修計画を相談のこと。

### 【プロダクトデザイン検定2級】

大学での単位取得が試験に有利になるような制度はないが、本コースでは、デザイン手法論をはじめとする、プロダクトデザイン検定試験の出題範囲に関連する科目を開講している。

### 【情報処理技術者試験】

大学での単位取得が試験に有利になるような制度はないが、本コースでは、計算機入門をはじめとする、情報処理技術者試験の出題範囲に関連する科目を開講している。

造形・メディアデザインコース卒業要件表

区分	授業科目名等	単位数	必修選択などの別			学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数		
			プロダク トデザイ ンを目指 す学生	メディア デザイ ンを目指 す学生	エンジニ アリング デザイ ン系を目指 す学生					
全学 共通科目	学びと 生き方 科目	ライフデザイン	1				⑥	1単位	26単位以上	
		健康・スポーツ	1				⑤,⑥	(2単位)		
	学び科目	大学入門ゼミ	2	必修	必修	必修	a	①		2単位
		情報リテラシーA	1	必修	必修	必修	a	③		2単位
		情報リテラシーB	1	必修	必修	必修	a	③		2単位
	学問への扉	1又は2				b	⑤,⑥	(6単位)		
	主題科目	1又は2				b,c	⑤,⑥	7単位以上		
	学問基礎科目(文系科目)	4				b	④	4単位以上		
	学問基礎科目(理系科目)	学問基礎科目(理系科目)物理・数学以外	-				b	④		4単位以上
		物理学A	2	推奨	推奨	推奨	b	④		
		物理学B	2				b	④		
		物理学P	2				b	④		
		数学C	2	推奨	推奨	推奨	b	④		
		数学D	2	推奨	推奨	推奨	b	④		
	数学F等の文系学生向けの数学	2	推奨	推奨	推奨	b	④			
広範教養教育科目	1又は2				b,c	⑥	(6単位)			
高度教養教育科目	1又は2				b,c	⑥	(6単位)			
外国語科目	初修外国語	1又は2				a	③	(1種類)(4単位)		
	既修外国語	1又は2	必修	必修	必修	a	①,②,③	6単位以上		
	小							32単位以上		
学部 開設科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	必修	必修	d	⑩,⑪	1単位	
		対人コミュニケーション	1	推奨	推奨	推奨	a	⑥	3単位以上	
		国際コミュニケーションⅠ	1	必修	必修	必修	a	③		
		国際コミュニケーションⅡ	1	必修	必修	必修	a	③		
		技術英語	2	推奨	推奨	推奨	a	③		
		海外工学実務Ⅰ	4				a	②,③		
	海外工学実務Ⅱ	2				a	②,③			
	デザイン 思考能力	デザイン概論	1	必修	必修	必修	c	⑦	4単位以上	
		チームワーキング演習	1	必修	必修	必修	c	⑦		
		地域とアート	1	必修	必修	必修	b,e	⑥,⑫		
		革新デザイン史	1	必修	必修	必修	b	⑥		
		デザイン思考演習	1	必修	必修	必修	c	⑦		
		インタラクティブデザイン	1	推奨	推奨	推奨	c	⑦		
		マルチメディアクリエイティブ入門	1	推奨	推奨	推奨	c	⑦		
		色彩学	1	推奨	推奨	推奨	b	⑥		
		人間工学基礎	1	推奨	推奨	推奨	c	⑦		
		感性工学	1	推奨	推奨	推奨	c	⑦		
	デザインの潮流	2	推奨	推奨	推奨	c	⑦			
	リスクマ ネジメント 能力	リスクマネジメント概論	1	必修	必修	必修	c	⑧	3単位以上	
		リスクコミュニケーション入門	1	必修	必修	必修	c	⑧		
		ロジカル思考演習	1	必修	必修	必修	c	⑦		
		自然災害科学	1				c	⑧		
		レジリエンス科学	1	推奨	推奨	推奨	c	⑧		
		情報セキュリティ概論	1	推奨	推奨	推奨	c	⑧		
	数理的基 礎能力	基礎数学演習	1	強く推奨	強く推奨	強く推奨	b	④	8単位以上	
		基礎物理学演習	1	強く推奨	強く推奨	強く推奨	b	④		
		微分・積分	2	必修	必修	必修	b	④		
		線形代数	2	必修	必修	必修	b	④		
		プログラミング	2	必修	必修	必修	a	①		
		確率・統計	2	推奨	推奨	推奨	b	④		
		ベクトル解析	2	推奨	推奨	推奨	b	④		
		フーリエ解析基礎	1				b	④		
	多角的 思考能力	工学実務	2	推奨	推奨	推奨	c,e	⑥,⑫	60単位以上	
地域企業ニーズ概論		1	推奨	推奨	推奨	b	⑤,⑥			
文化と情報メディア		1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑥,⑭			
科学・技術史		1				b	④,⑥			
資源・エネルギー論		1				b	⑤,⑥			
環境政策	1				b	④,⑤,⑥				
コース専 門科目	造形基礎演習Ⅰ	2	必修	必修	必修	b	④,⑥	60単位以上		
	造形基礎演習Ⅱ	2	必修	必修	必修	b	④,⑥			
	サービス・イノベーション創造演習	1	推奨	推奨	推奨	b	⑤,⑥			
	計算機入門	2	必修	必修	必修	b	④			
	造形・メディアデザイン基礎演習	2	必修	必修	必修	c	⑥,⑦			
	デザイン手法論	2	必修	必修	必修	b	⑤,⑥			
	デジタルグラフィックス演習	2	必修	必修	必修	b	④			
	中級プログラミング(造形・メディアデザインコース)	2	必修	必修	必修	c	⑥,⑦			
	CADⅠ	1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑤			
	材料力学(造形・メディアデザインコース)	1	必修	必修	必修	b	④,⑤,⑮			
	映像・画像・音声処理技術概論	1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑤			
	構造力学	1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑤,⑮			
	線形計画法	1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑤,⑥			
	非線形計画法	1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑤,⑥			
	メディア文化論	1	推奨	推奨	推奨	b	④,⑤			

	授業科目名	単位数	必修選択などの別			学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数			
			プロダク トデザイ ンを目指 す学生	メディア デザイ ンを目指 す学生	エンジ アリング デザイ ン系を 目指 す学生						
学部開設科目	専門 科目	コース専門 科目	造形・メディアデザイン演習	2	必修	必修	必修	c	(6),(7)	60単位以上	
			概念展開論	2	必修	必修	必修	c	(7),(8),(9)		
			概念展開論演習	1	必修	必修	必修	c	(7),(8),(9)		
			ヒューマンインタフェース	2	推奨	推奨	推奨	b	(1),(2)		
			データ・ヴィジュアルライゼーション	2	推奨	推奨	推奨	b	(4)		
			CAD II	1	推奨	推奨	推奨	b	(4),(13)		
			プロダクトデザイン演習 I	1	推奨	推奨	推奨	c	(4),(5),(13)		
			サービスデザイン	2	推奨	推奨	推奨	b	(4),(6)		
			製品設計における最適化法	1	推奨	推奨	推奨	b	(9),(15)		
			数値解析	1	推奨	推奨	推奨	b	(4),(5),(6)		
			パターンマイニング	1	推奨	推奨	推奨	b	(4),(6)		
			Webシステム開発	1	推奨	推奨		c	(7),(9)		
			UX概論	2	推奨	推奨		b	(7),(12)		
			ブランディングデザイン演習	2	推奨	推奨		c	(4),(5)		
			プロダクトデザイン演習 II	2	推奨	推奨		c	(4),(6),(13)		
			造形・メディアデザイン論	1	必修	必修	必修	bc	(4),(5)		
			データ分析概論	1		推奨	推奨	a	(5),(7),(8)		
			認知科学	1	推奨	推奨		c	(4),(6)		
			教育工学	1		推奨		b	(4),(6)		
			生活プロダクトデザイン論	1	推奨			b	(4),(6)		
			PBL I	1	必修	必修	必修	bc	(4),(5)		
			シミュレーションデザイン	1	推奨	推奨	推奨	c	(9),(15)		
			ビジネスプラン基礎	1	推奨	推奨	推奨	b	(4),(5)		
			ビジネススクリエーション	1	推奨	推奨	推奨	bc	(3),(5),(11)		
			プレゼンテーション論	1	推奨	推奨		b	(4),(5)		
			PBL II	2	必修	必修	必修	bc	(4),(5)		
			UXデザイン演習	2	推奨	推奨	推奨	bc	(4),(5),(13)		
			人工知能	2	推奨	推奨		b	(4),(5)		
			プロダクトデザイン演習 III	1	推奨			c	(7),(8),(9),(13)		
			LeanStartup概論	1	推奨	推奨		b	(4),(5),(6)		
			サービス工学	1		推奨		b	(4),(5)		
			教育メディア	1		推奨		c	(7),(8),(9)		
			ビジネスプロダクトデザイン論	1	推奨			c	(9),(13)		
			近似論	1			推奨	b	(4),(5),(6)		
			力学・振動学基礎	1			推奨	b	(4),(6),(15)		
			製品材料学	1	推奨		推奨	b	(4),(6),(15)		
			企画・プロデュース論	1		推奨		b	(5),(6),(14)		
			社会・観光情報デザイン	1		推奨		b	(4),(5)		
			ビジネスプラン演習	1	推奨	推奨	推奨	c	(4),(5)		
			PBL III	2	必修	必修	必修	bc	(4),(5)		
			地域社会とコンテンツ	1		推奨		b	(4),(5)		
			卒業研究	8				a,b,c	(9),(14),(15)		8単位
			卒業制作	8	選択必修	選択必修	選択必修	a,b,c			8単位
			自由科目	(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 - 素材・技術・歴史 -	2			b,c,e	(6),(8),(10)		9単位以上
				小計							96単位以上
	合計						128単位以上				

造形・メディアデザインコースカリキュラム関連表

	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期	
	1年次第1Q	1年次第2Q	1年次第3Q	1年次第4Q	2年次第1Q	2年次第2Q	2年次第3Q	2年次第4Q
全学共通科目	ライフデザイン	ライフデザイン	ライフデザイン		ライフデザイン	ライフデザイン	ライフデザイン	
	健康・スポーツ		健康・スポーツ					
	大学入門ゼミ							
	情報リテラシー							
	学問への扉							
	主題科目	主題科目	主題科目	主題科目	主題科目	主題科目	主題科目	主題科目
	学問基礎科目		学問基礎科目		学問基礎科目		学問基礎科目	
	数学C							
	数学D		PME	物理学A				
	物理学P			物理学B				
初修外国語			初修外国語					
Communicative English I			Communicative English II		English Writing		English Speaking	
共通科目	倫理							
	コミュニケーション能力					PME 対人コミュニケーション		国際コミュニケーションI
	デザイン思考能力	デザイン概論 チームワーキング演習		地域とアート	革新デザイン史	PME インタラクティブデザイン マルチメディア クリエイティブ入門	PME 色彩学	PME 人間工学基礎 PME 感性工学
	リスクマネジメント能力	リスクマネジメント概論 リスクコミュニケーション入門 ロジカル思考演習						
	数理的基礎能力	PME 基礎数学演習 PME 基礎物理学演習		プログラミング				
	多角的思考能力					PME 工学実務	PME 地域企業ニーズ概論	
専門科目	造形基礎演習 I		造形基礎演習 II		造形・メディアデザイン基礎演習		造形・メディアデザイン演習	
	PME サービス・イノベーション 創造演習		計算機入門		デザイン手法論		概念展開論	
					デジタルグラフィックス演習		概念展開論演習	
					中級プログラミング(造形・メディアデザインコース)	PME	ヒューマンインターフェース	
					CAD I	PME	データ・ヴィジュアルライゼーション	
					材料力学	PME	構造力学	PME
					映像・画像・音声 処理技術概論	PME	メディア文化論	PME
					線形計画法	PME	非線形計画法	PME
							製品設計における最適化法	PME
								PME 数値解析
							PME パターンマイニング	
自由科目								
卒業研究・卒業制作								

PME 本学は全員必修科目  
 先題のボックスはP:プロダクトデザイン系を目指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す  
 2番目のボックスはM:メディアデザイン系を目指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す  
 3番目のボックスはE:エンジニアリング系を目指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す

- 必修
- 強く推奨
- 推奨
- 選択





## 建築・都市環境コース

### 1. 教育理念

少子高齢時代の様々な課題に応えるためには、地域社会の現状と課題を多面的に理解・分析し、質的価値の高い持続的な社会を構築しうる技術者の輩出が不可欠である。本コースでは、建築、土木、環境を基礎とした教育を提供し、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物といった社会を構成している諸要素を俯瞰でき、これらを活かした新たな都市環境の創出に寄与できる発想力・企画力を有する技術者を養成する。

### 2. コースの説明

本コースで養成される技術者として、主なものは土木技術者、建築技術者であり、両者にとって身につけておくべき最低限の知識には共通するものが多い。このことから、本コースでは、土木技術者、建築技術者の双方に求められる基礎知識を一体的・総合的なものとして学べるカリキュラムとしている。一方、それぞれの志向に即した科目も提供されているため、後述の「建築・都市環境コース卒業要件表」、「カリキュラム関連表」を目安にして履修すること。

なお、防災・危機管理コースによって提供されているいくつかの講義も履修できる。

### 3. 学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

建築・都市環境コースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学習到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	①土木・建築技術者として、英文の読解、および英語による口頭コミュニケーションができる程度の国際的コミュニケーション能力を身につける。 ②卒業研究および実験科目等を通じて、研究成果の文章表現と口頭発表する能力を身につけ、それを活用することができる。
知識・理解	③土木・建築技術者として必要な自然科学の基礎知識、数理的基礎能力を修得する。 ④解決すべき技術的課題を人間、環境、社会の観点から多角的に思考することができる。 ⑤土木構造物・建築物の設計技術、安全で快適な都市環境、居住空間をデザインする技術、健全な自然環境を実現する技術を習得し、それらを社会で活用することができる。
問題解決能力・課題解決能力	⑥インターンシップおよび実務に関連した科目の履修を通じて、幅広い視野や実務上の問題に対応することができる。 ⑦卒業研究および実験科目等を通じ、課題設定能力、課題探求能力を身につけ、社会が抱える課題の解決に役立てることができる。
倫理観・社会的責任	⑧工学技術者として社会に対して負う責任や倫理にもとづき行動できる。
地域理解	⑨地域の現状と課題を理解し、それらを土木構造物・建築物の計画・設計等に活かすことができる。

#### 4. カリキュラムの内容

建築・都市環境コースのカリキュラムは、これらの学習到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目は、コース専門科目の科目群に分けられる。

カリキュラム関連表に、科目間の関連と、どの科目がどの科目群に含まれるかを示している。相互に関連の深い科目はそれぞれ隣接して配置している。

科目を示すボックスの前に2つの小さなボックスが付いている。各自が目指す専門分野のボックスが黒色の場合は必修科目を表し、青色の場合は推奨科目のうち、「強く推奨」、黄色の場合は「推奨」であることを表す。必修科目は本コースで修得しなければならない科目、推奨科目（「強く推奨」と「推奨」）は卒業生が備えておくべき知識を扱っており、以降に配置された科目でその知識を前提とする場合があるため、修得することを強く勧める科目である。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

コースの卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中から必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。建築・都市環境コース卒業要件表は、コースの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。なお、卒業後に建築士試験の受験資格を得ようとする者にとっては、付録にある「建築士資格試験学歴要件に関する科目と必要単位数」に記載の科目は、それが必修科目、選択科目にかかわらず修得しておく必要がある。

##### 【全学共通科目】

幅広く深い教養と総合的判断力、豊かな人間性を涵養することを主たる目的とする科目である。卒業要件や各科目の内容については、「全学共通科目修学案内(教養教育)」および「全学共通科目シラバス(Web版)」を参照のこと。ただし、学問基礎科目、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 学問基礎科目：数学2科目（「数学C」、「数学D」各2単位）の修得を強く推奨する。また、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地学」の中から、少なくとも2科目（4単位）の修得を推奨する。
- ② 必修科目である大学入門ゼミと、情報リテラシーは第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語：創造工学部では、国際インターンシップ等による学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国は、中国、タイ、韓国、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランド等である。これらの国々で国際インターンシップ等希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

##### 【学部開設科目】

###### 〔共通科目〕

- ① 共通科目は、6つの科目群から計19単位以上を修得すること。科目群ごとの卒業要件単位数は、倫理が1単位(必修)、コミュニケーション能力が3単位以上、デザイン思考能力が4単位以上、リスクマネジメント能力が3単位以上、数理的基礎能力・多角的思考能力から8単位以上である。土木技術者、建築技術者をを目指す学生向けの必修科目および推奨科目は、それぞれ以下の表のとおりである。

a)土木技術者を目指す学生

共通科目 (倫理)	必修科目	創造工学倫理
共通科目 (コミュニケーション能力)	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
	推奨科目	技術英語
共通科目 (デザイン思考能力)	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、デザイン思考演習
	推奨科目	地域とアート、革新デザイン史
共通科目 (リスクマネジメント能力)	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習
	推奨科目	自然災害科学、レジリエンス科学
共通科目 (数理的基礎能力) (多角的思考能力)	必修科目	微分・積分、線形代数、プログラミング
	推奨科目	確率・統計、資源・エネルギー論、環境政策、工学実務

b)建築技術者を目指す学生

共通科目 (倫理)	必修科目	創造工学倫理
共通科目 (コミュニケーション能力)	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
	推奨科目	技術英語
共通科目 (デザイン思考能力)	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、デザイン思考演習
	推奨科目	地域とアート、革新デザイン史、色彩学
共通科目 (リスクマネジメント能力)	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習
	推奨科目	自然災害科学
共通科目 (数理的基礎能力) (多角的思考能力)	必修科目	微分・積分、線形代数、プログラミング
	推奨科目	確率・統計、資源・エネルギー論、環境政策、工学実務

[専門科目]

専門科目では計 60 単位以上を修得すること。科目群ごとに定められている卒業要件単位数としては、コース専門科目から 60 単位以上である。

② コース専門科目

必修科目 26 単位を含め、計 60 単位以上を修得すること。また、下表の「強く推奨」される講義科目・演習科目は、専門性を深めるうえで基礎となる重要な科目であることから、表中の強く推奨される講義科目 10 科目 (20 単位)のうち 5 科目 (10 単位)以上を修得すること。また、同様に、強く推奨される演習科目(「構造・土質力学演習Ⅰ」、「構造・土質力学演習Ⅱ」、「水環境マネジメント演習」、「住環境デザイン演習」)4科目 (8単位)のうち、3科目 (6単位)以上を修得すること。

上記のほか、土木技術者を目指す学生、建築技術者を目指す学生にそれぞれ推奨される科目は少なからず異なるので、後述の「土木技術者・建築技術者を目指す学生別を示した建築・都市環境コース卒業要件表」、「カリキュラム関連表」を目安にして履修すること。

その他の科目については、各人の志向と興味・関心に応じて選択すればよいが、各専門分野の科目間の関連を示したカリキュラムマップやシラバスを参考にして、専門分野ごとにある程度体系的に科目を選択し修得することが望ましい。

専門科目 コース専門科目	必修科目	建築設計基礎、住環境学、水資源と水循環の科学、構造力学Ⅰ、土質力学Ⅰ、水理学Ⅰ、建設材料学、測量学、測量実習、都市環境デザイン概論、環境と都市のリスク、水環境マネジメント実験、地盤工学実験、コンクリート実験
	強く推奨される講義※ 10単位以上を修得	環境生態学、構造力学Ⅱ、土質力学Ⅱ、水理学Ⅱ、建築計画学、建築構法、環境工学、都市・地域計画学、景観デザイン論、くらしと建設の技術史
	強く推奨される演習※ 6単位以上を修得	構造・土質力学演習Ⅰ、構造・土質力学演習Ⅱ、水環境マネジメント演習、住環境デザイン演習

※本コースは選択必修科目として扱う。

### ③ 卒業研究

創造工学科および本コースにおける勉学の総仕上げとして、3年次第2学期から、指導教員を選択し(研究室配属)、テーマを設定して研究を行い、卒業論文としてまとめる(8単位、必修)。「卒業研究」は、調査研究の様々な過程を経験するための非常に重要なものである。

#### 【自由科目】

学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部創造工学科(他コースのコース専門科目のうち本コースが指定している科目)及び他学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)あるいは単位互換制度を利用して他大学で開講する単位互換科目から9単位以上を修得すること。なお、創造工学科の共通科目および本コース専門科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位数は、自由科目の単位数として算入することができる。

## 6. 資格

#### 【教員免許】

創造工学科として「理科」と「工業」の教育職員免許状を取得するための科目を用意している。取得を目指すにあたっては、キャンパス・アドバイザー(CA)と履修計画を相談のこと。

#### 【測量士・測量士補の資格】

卒業後、国土地理院に申請することにより、測量士補の資格が与えられる。また、卒業後1年間の実務経験を経れば、国土地理院に申請することにより、測量士の資格が与えられる。

#### 【建築士の受験資格】

建築士試験の受験に当たっては、一級建築士、二級建築士、木造建築士の資格に応じ、指定科目に関して所定の単位を修得しておく必要がある。詳細は付録を参照のこと。

#### 【施工管理技士(受検に必要な実務年数の短縮)】

施工管理技術検定(土木、建築、電気工事、管工事、造園)の受検に必要な実務経験年数が短縮される。2級の施工管理技術検定は卒業見込時に学科試験のみを受検することができる。

---

**【舗装施工管理技術者(受験に必要な実務年数の短縮)】**

1級舗装施工管理技術者、2級舗装施工管理技術者の受験に必要な実務経験年数が短縮される。

建築・都市環境コース卒業要件表

区分	授業科目名等	単位数	必修選択などの別		学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数	
			土木技術者を 目指す学生	建築技術者を 目指す学生				
全学 共通科目	学びと生き方 科目	ライフデザイン	1	必修	必修	d,e	④	1単位
		健康・スポーツ	1			d	④	(2単位)
	学び科目	大学入門ゼミ	2	必修	必修	a	②	2単位
		情報リテラシーA	1	必修	必修	a	①,⑧	2単位
		情報リテラシーB	1	必修	必修			(6単位)
		学問への扉	1又は2			b	④	7単位以上
	主題科目		1又は2			b,c	④	4単位以上
	学問基礎科目(文系科目)		2			b	④	4単位以上
	学問基礎科目(理系科目)	物理学A	2	強く推奨	強く推奨	b	③	4単位以上
		物理学B	2	推奨	推奨	b	③	
物理学P		2	推奨	推奨	b	③		
地学		2	推奨	推奨	b	③		
化学		2	推奨	推奨	b	③		
生物学		2	推奨	推奨	b	③		
数学C		2	強く推奨	強く推奨	b	③		
数学D		2	強く推奨	強く推奨	b	③		
(物理学A,B,P, 地学、化学、生物学、数学 C,D以外の学問基礎科目(理系科目))					b	③		
広範教養教育科目		1又は2			b	④	(6単位)	
高度教養教育科目		1又は2			b	④	(1種類)(4単位)	
外国語科目	初修外国語	1又は2			a	①	6単位以上	
	既修外国語	1又は2			a	①	32単位以上	
小計								
学部 開設科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	必修	d	⑧	1単位
		対人コミュニケーション	1			a	①	3単位以上
		国際コミュニケーションⅠ	1	必修	必修	a	①	
		国際コミュニケーションⅡ	1	必修	必修	a	①	
		技術英語	2	推奨	推奨	a	①	
		海外工学実務Ⅰ	4			a	①,⑥	
	コミュニケーション能力	海外工学実務Ⅱ	2			a	①,⑥	
		デザイン概論	1	必修	必修	c	④	
		チームワーキング演習	1	必修	必修	c	④	
		地域とアート	1	推奨	推奨	b,e	④	
		革新デザイン史	1	推奨	推奨	b	④,⑨	
		インタラクションデザイン	1			c	④	
		Web入門	1			c	④	
		デザイン思考演習	1	必修	必修	c	④	
		色彩学	1		推奨	b	④	
		マルチメディアクリエイティブ入門	1			c	④	
		人間工学基礎	1			c	④	
		感性工学	1			c	④	
	デザイン思考能力	デザインの潮流	2			c	④	4単位以上
		リスクマネジメント概論	1	必修	必修	c	④	
		リスクコミュニケーション入門	1	必修	必修	c	④	
		ロジカル思考演習	1	必修	必修	c	④	
		自然災害科学	1	推奨	推奨	c	④	
		レジリエンス科学	1	推奨		c	④	
		情報セキュリティ概論	1			c	④	
		微分・積分	2	必修	必修	b	③	
	数理的基礎能力	線形代数	2	必修	必修	b	③	8単位以上
		プログラミング	2	必修	必修	a	③	
		確率・統計	2	推奨	推奨	b	③	
		ベクトル解析	2			b	③	
	多角的思考能力	地域企業ニーズ概論	1			b	④,⑨	3単位以上
		工学実務	2	推奨	推奨	c,e	⑥,⑨	
		科学・技術史	1			b	④	
		文化と情報メディア	1			b	④	
		資源・エネルギー論	1	推奨	推奨	b	④	
		環境政策	1	推奨	推奨	b	④	
専門科目	コース 専門科目	防災危機管理概論	1			b	⑤	60単位以上 * のなかから 10単位以上 ** のなかから 6単位以上
		災害史	1			b	⑤	
		建築設計基礎	2	必修	必修	b	⑤	
		住環境学	2	必修	必修	b	⑤	
		気象災害科学	2			b	⑤	
		リスクマネジメント	2			c	⑤	
		土質力学Ⅰ	2	必修	必修	b	⑤	
		景観デザイン論	2	選択必修*	選択必修*	b,c	⑤	
		構造力学Ⅰ	2	必修	必修	b	⑤	

区分	授業科目名等	単位数	必修選択などの別		学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数		
			土木技術者を 目指す学生	建築技術者 を目指す学生					
学部開設科目	専門科目	コース 専門科目	建設材料学	2	必修	必修	b	⑤	60単位以上 * のなかから 10単位以上 ** のなかから 6単位以上
			環境工学	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			測量学	2	必修	必修	b	⑤	
			測量実習	2	必修	必修	b	⑤	
			くらしと建設の技術史	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			建築計画学	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			建築設計 I	3	推奨	推奨	b	⑤	
			構造・土質力学演習 I	2	選択必修**	選択必修**	b,c	(2),(7)	
			物理探査学	2			b,e	⑤	
			防災情報科学	2			b,c	⑤	
			レジリエンスデザイン	2			c	⑤	
			水資源と水循環の科学	2	必修	必修	b	⑤	
			水理学 I	2	必修	必修	b	⑤	
			土質力学 II	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			環境生態学	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			構造力学 II	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			河川環境マネジメント	2	推奨		b	⑤	
			建築設計 II	2		推奨	b	⑤	
			水環境マネジメント演習	2	選択必修**	選択必修**	b,c	(2),(7)	
			構造・土質力学演習 II	2	選択必修**	選択必修**	b,c	(2),(7)	
			都市環境デザイン概論	1	必修	必修	b,c	⑤	
			空間情報解析学	2			b	⑤	
			水理学 II	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			振動学	2			b	⑤	
			都市・地域計画学	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
			海域環境マネジメント	2	推奨		b	⑤	
			鉄筋コンクリート構造	2	推奨	推奨	b	⑤	
			水環境マネジメント実験	2	必修	必修	b,c	(2),(7)	
			地盤工学実験	2	必修	必修	b,c	(2),(7)	
			建築構法	2	選択必修*	選択必修*	b	⑤	
	建築設備	2		推奨	b	⑤			
	環境と都市のリスク	1	必修	必修	b,c	⑤			
	建築設計 III	2		推奨	b	⑤			
	緑化の理論と技術	1	推奨	推奨	b	⑤			
	構造設計学	2	推奨	推奨	b	⑤			
	都市システム再生工学	2	推奨	推奨	b,c	⑤			
	建設リスクマネジメント	2	推奨	推奨	c,d,b	(8),(11)			
	コンクリート実験	2	必修	必修	b,c	(2),(7)			
	住環境デザイン演習	2	選択必修**	選択必修**	b,c	(2),(7)			
	地震工学	2	推奨	推奨	b,c	⑤			
建築法規	1		推奨	b	⑤				
卒業研究・卒業制作	卒業研究	8	必修	必修	c	(2),(7)	8単位		
自由科目	(SUS株式会社寄附講義) アルミ学 - 素材・技術・歴史 -	2			b,c,e	(4),(9)	9単位以上		
小計			計				96単位以上		
合計							128単位以上		

建築・都市環境コース カリキュラム関連表

	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		
	1年次第1Q	1年次第2Q	1年次第3Q	1年次第4Q	2年次第1Q	2年次第2Q	2年次第3Q	2年次第4Q	
全学共通科目	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題	
	大学入門ゼミ								
	情報リテラシー								
		数学C							
		数学D							
		物理学A		物理学B					
		物理学P		物理学P					
		地学							
		化学							
		生物学							
		学問基礎科目		学問基礎科目		学問基礎科目			
	健康・スポーツ		健康・スポーツ						
	初修外国語		初修外国語						
	Communicative English I		Communicative English II		English Writing		English Speaking		
学部開設科目	倫理								
	コミュニケーション能力						国際コミュニケーションI		
	デザイン思考能力		デザイン概論 チームワーキング演習			デザイン思考演習	色彩学 人間工学基礎 感性工学		
			地域とアート	革新デザイン史	インタラクションデザイン	マルチメディア クリエイティブ入門 Web入門			
	リスクマネジメント能力		リスクマネジメント概論 ロジカル思考演習						
				自然災害科学	レジリエンス科学	情報セキュリティ概論			
	教理的基礎能力			微分・積分 線形代数 プログラミング		確率・統計 ベクトル解析			
	多角的思考能力					工学実務	地域企業ニーズ概論		
	専攻科目	防災危機管理概論	災害史						物理探査学 防災情報科学 レジリエンスデザイン
		都市環境デザイン概論	環境と都市のリスク	建築設計基礎		建築設計 I		建築設計 II	
			住環境学 建築構法		くらしと建設の技術史 建築計画学		環境工学		
					景観デザイン論 測量学 測量実習 土質力学 I		土質力学 II		
					構造力学 I 構造・土質力学演習 I 建築材料科学		構造力学 II 構造・土質力学演習 II		
							水資源と水環境の科学 水理学 I 河川環境マネジメント 水環境マネジメント演習 環境生態学		
自由科目									
卒業研究・卒業制作									

**赤字は全員必修科目**

先頭のボックスは土木技術者を目指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。  
2番目のボックスは建築技術者を目指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨 (本コースは選択必修科目として扱う科目を表す。詳細は教育課程表及び卒業要件表を参照。)
- 推奨
- 選択

3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
3年次第1Q	3年次第2Q	3年次第3Q	3年次第4Q	4年次第1Q	4年次第2Q	4年次第3Q	4年次第4Q
Academic English I ※1		Academic English II ※1					
創造工学倫理							
国際コミュニケーションII 海外工学実務 I、II ※2 対人コミュニケーション(集中)				技術英語			
デザインの潮流							
科学・技術史		文化と情報メディア		環境政策			
				資源・エネルギー論			
建築設計Ⅲ 建築設備		建築法規					
建設リスクマネジメント 都市・地域計画学		住環境デザイン演習					
地盤工学実験 振動学 地震工学		構造設計学					
鉄筋コンクリート構造		コンクリート実験 都市システム再生工学					
水理学Ⅱ 海域環境マネジメント		緑化の理論と技術					
水環境マネジメント実験 空間情報解析学							
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学ー素材・技術・歴史ー							
				卒業研究			

**赤字は全員必修科目**

先頭のボックスは土木技術者を旨とする学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。  
2番目のボックスは建築技術者を旨とする学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨(本コースは選択必修科目として扱う科目を表す。詳細は教育課程表及び卒業要件表を参照。)
- 推奨
- 選択

※1: TOEIC670点、実用英検準1級以上等による単位認定でCommunicative English I / II の単位を取得した学生は、1年次からの履修も可能である。  
 ※2: 海外工学実務は派遣期間の長さにより I または II の履修のいずれかとみなされます。実際の派遣期間は3年次前期に限らず、派遣先との相談により在学中のいずれかの時期に調整します。

創造工学部 創造工学科(建築・都市環境コース)カリキュラムマップ(2026年度入学者用)

1年次

2年次

3年次

4年次

基礎的言語運用能力の修得

専門的言語運用能力の修得

外国語 (Communicative English I・II, English Writing, English Speaking)

対人コミュニケーション

卒業研究

外国語 (初修外国語)

国際コミュニケーション I

国際コミュニケーション II

海外工学実務 I, II

技術英語

外国語 (初修外国語)

国際コミュニケーション I

国際コミュニケーション II

海外工学実務 I, II

技術英語

教養・自然科学の知識の修得

専門分野の知識の修得

学問基礎科目

学問基礎科目

学問基礎科目

学問基礎科目

卒業研究

学問への扉

確率・統計

土質力学 II

建築設計 III

構造設計学

数学 C

ベクトル解析

構造力学 II

鉄筋コンクリート構造

住環境デザイン演習

数学 D

微分・積分

建築設計 II

振動学

緑化の理論と技術

物理学 A

測地学

水資源と水循環の科学

都市・地域計画学

建築法規

物理学 B

測地学

河川環境マネジメント

水理学 II

コンクリート実験

物理学 P

土質力学 I

水環境マネジメント

環境工学実験

都市システム再生工学

防災危機管理概論

環境と都市のリスク

環境工学実験

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

防災危機管理概論

環境と都市のリスク

環境工学実験

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

防災危機管理概論

環境と都市のリスク

環境工学実験

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

防災危機管理概論

環境と都市のリスク

環境工学実験

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

都市環境デザイン概論

建築構法

防災情報科学

防災情報科学

環境政策

## 防災・危機管理コース

### 1. 教育理念

日本は地震、台風等によりこれまで大きな自然災害による被害を受けてきた。今後の環境変化にともない、従来にない大規模の自然災害が発生する可能性が大きくなってきている。さらに、社会システムの高度化・複雑化さらには国際化に伴い、過去に事例のない災害が発生する可能性が増大してきている。従って、このような自然・人為的な災害に対応可能なレジリエントな社会の構築が求められてきている。

本コースでは、レジリエントな社会を構築するために、災害特性や私たちの生活地域の現状を把握し、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせ、危機の未然防止、災害の破局拡大への防止等、災害の状況にしなやかに対処できる人材を育成する。

### 2. コースの説明

本コースではレジリエントな社会の構築を目指し、防災・危機管理に関する知識・技能を基に、人文社会科学系の素養、自然科学・自然災害科学の基礎、建設工学系の科学技術、情報工学系の科学技術に関する科目を開設し、自然災害の軽減を目指す技術者の育成、データサイエンスによる危機管理の専門家の育成の2つの柱から構成されており、1年次において災害・自然・危機管理の基礎知識の構築、2年次に危機管理実践の基礎、プログラミングの基礎、3年次以降にそれぞれの分野における専門、応用実践科目を開設している。

### 3. 学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

防災危機管理コースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学習到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	<ul style="list-style-type: none"><li>① 多様な情報を適切に利用し、論理的かつ客観的な文章の作成および効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</li><li>② 総合的な情報処理能力、技術者に求められる正確な日本語能力を有し、状況に応じたコミュニケーションができる。</li><li>③ 英文の読解、および英語によるコミュニケーションができる程度の国際的コミュニケーション能力を身につける。</li></ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>④ 危機管理に携わる技術者として必要な数理的基礎知識を身につけ応用することができる。</li><li>⑤ 危機管理に携わる技術者として必要な危機管理の基礎知識を身につけ応用することができる。</li><li>⑥ 危機管理に携わる技術者として必要な自然科学の基礎知識を身につけ応用することができる。</li><li>⑦ 危機管理に携わる技術者として必要なデータサイエンスに関する基礎知識を身につけ応用することができる。</li><li>⑧ 危機管理に携わる技術者として必要な多角的視点を備える。</li></ul>
問題解決能力・課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"><li>⑨ 卒業研究および実習科目等を通じ、防災・危機管理の実践に関する技術を習得し、課題設定能力、課題探求能力を身につけ、実社会での問題解決に役立てることができる。</li><li>⑩ インターシップおよび実務に関連した科目の履修を通じて、幅広い視野や実務上の問題に対応することができる。</li></ul>

倫理観・社会的責任	⑪ 危機管理に携わる技術者として高い倫理観を持ち、社会的役割および社会的責任を理解して行動することができる。
地域理解	⑫ 防災・危機管理に関する地域の現状と課題に関心を持ち、問題を発見し、探求することができる。

#### 4. カリキュラムの内容

防災・危機管理コースのカリキュラムは、これらの学習到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目は、コース専門科目の科目群に分けられる。

カリキュラム関連表に、科目間の関連と、どの科目がどの科目群に含まれているかを示している。相互に関連の深い科目は隣接して配置している。

科目を示すボックスの前に 2 つの小さなボックスがついている。各自が目指す専門分野のボックスが黒色の場合は必修科目を表し、青色の場合は推奨科目のうち、「強く推奨」、黄色の場合は「推奨」であることを表す。必修科目は本コースで修得しなければならない科目、推奨科目（「強く推奨」、「推奨」）は卒業生が備えておくべき知識を扱っており、以降に配置された科目でその知識を前提とする場合があるため、修得することを勧める科目である。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

コースの卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中から必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。防災・危機管理コース卒業要件表は、コースの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。

##### 【全学共通科目】

幅広く深い教養と総合的判断力、豊かな人間性を涵養することを主たる目的とする科目である。卒業要件や各科目の内容については「全学共通科目修学案内(教養教育)」および「全学共通科目シラバス(Web版)」を参照のこと。ただし、学問基礎科目、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 必修科目である防災リテラシー養成講座(災害を知る)A・B、防災コンピテンシー養成講座(災害に備える)は、第1年次に修得すること。
- ② 必修科目である大学入門ゼミと情報リテラシーは第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語:創造工学部では、国際インターンシップ等による学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国、中国、タイ、韓国、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランド等である。これらの国々で国際インターンシップ等を希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

##### 【学部開設科目】

###### [倫理に関する科目]

###### ① 倫理:

必修科目は以下である。1 単位を修得すること。

コース共通	必修科目	創造工学倫理
-------	------	--------

###### [コミュニケーション能力に関する科目]

- ② コミュニケーション能力:プロフェッショナルなコミュニケーション能力の修得を目指す科目である。必修科目および推奨科目は以下である。3 単位以上を修得すること。

コース共通	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
-------	------	---------------------------

[デザイン思考能力に関する科目]

- ③ デザイン思考能力:デザイン思考の基本を修得する科目である。必修科目および推奨科目は以下である。4 単位以上を修得すること。

コース共通	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、デザイン思考演習
-------	------	----------------------------

[リスクマネジメント能力に関する科目]

- ④ リスクマネジメント能力:リスクマネジメントの基本を修得する科目である。必修科目および推奨科目は以下である。3 単位以上を修得すること。なお、当該科目の卒業要件を越えて修得した単位数は、コース専門科目の単位数に算入することができる。

コース共通	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習、自然災害科学、レジリエンス科学、情報セキュリティ概論
-------	------	--

[数理的基礎能力に関する科目]

- ⑤ 数理的基礎能力:工学を学ぶ上で必要な数理的基礎能力を養う科目である。⑥と併せて8 単位以上を修得すること。

コース共通	必修科目	プログラミング
	強く推奨する科目	確率・統計

[多角的思考能力に関する科目]

- ⑥ 多角的思考能力:多角的な視点から工学環境の理解・思索・評価能力の養成を目指す科目である。⑤と併せて8 単位以上を修得すること。

[専門科目]

- ⑦ コース専門科目

目指す専門領域毎に必修科目および推奨科目を以下の表に示す。科目群から 60 単位以上を修得すること。

コース共通	必修科目	防災危機管理概論、災害史、リスクマネジメント、防災ボランティア講座、リスクマネジメント演習(防災・危機管理コース)、防災情報科学、レジリエンスデザイン、防災ボランティア実習、空間情報解析学、空間情報解析演習、地震工学、信頼性工学、危機管理実習、防災危機管理セミナー
	強く推奨する科目	気象災害科学、物理探査学、被害想定と防災計画、経営危機管理マネジメント、災害行動と被災者支援、空間情報解析演習、信頼性工学演習、建設リスクマネジメント災害・危機管理と法、地域・国際活動論、復旧・復興デザイン、災害調査法、モデリングとシミュレーション、事業継続マネジメント
自然災害を軽減する技術者	推奨科目	計算機入門、土質力学Ⅰ、構造力学Ⅰ、測量学、測量実習、構造・土質力学演習Ⅰ、水理学Ⅰ、土質力学Ⅱ、構造力学Ⅱ、河川環境マネジメント、水環境マネジメント演習、構造・土質力学演習Ⅱ、水理学Ⅱ、地質工学、振動学、海域環境マネジメント
データサイエンスによる危機管理の専門家	推奨科目	計算機入門、WEB デザイン、線形計画法、中級プログラミング、情報数学、インターネット、オペレーティング・システム、非線形計画法、ビッグデータ解析、データ構造とアルゴリズム、アルゴリズム演習、

		<p>ヒューマンインタフェースI、データベース、ソフトウェア工学、情報理論、情報セキュリティ、Web システム開発、サービス工学、人工知能</p>
--	--	---

#### ⑧ 卒業研究

創造工学部および本コースにおける勉学の総仕上げとして、3年次第2学期から、指導教員を選択(研究室に配属)し、テーマを設定して研究を行い、卒業論文としてまとめる(8単位、必修)。「卒業研究」は、研究・開発の様々な過程を経験するために、非常に重要である。

#### 【自由科目】

学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部(他コース)および他学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)あるいは単位互換制度を利用して他大学で開校する単位互換科目から9単位以上を習得すること。なお、本コース指定の学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位数は、自由科目の単位数として算入することができる。

### 6. 資格

#### 【教員免許】

「情報」と「工業」の教育職員免許状を取得するための科目を用意している。取得を目指すにあたっては、他コースの講義をかなり多く取得する必要があるため、キャンパス・アドバイザー(CA)と履修計画を相談のこと。

#### 【測量士・測量士補の資格】

卒業後、国土地理院に申請することにより、測量士補の資格が与えられる。また、卒業後1年間の実務経験を経れば、国土地理院に申請することにより、測量士の資格が与えられる。

#### 【防災士の資格】

防災士の資格を取得するための科目を用意している。日本防災士機構の講習会の受講が免除される。

#### 【情報処理技術者試験】

大学での単位取得が試験に有利になるような制度はないが、本コースでは、計算機入門をはじめとする、情報処理技術者試験の出題範囲に関連する科目を開講している。

#### 【施工管理技士の資格(受検に必要な実務年数の短縮)】

施工管理技術検定において必要な科目を修得する事により、卒業後、受検しようとする種目に関し1級、2級の受検資格において一定期間の実務経験年数が短縮される。

#### 【建築士の受験資格】

建築士試験の受験にあたっては、一級建築士、二級建築士・木造建築士の資格に応じ、指定科目に関して所定の単位を修得しておく必要がある。ただし、建築・都市環境コース開講の科目の単位を修得する必要がある。詳細は付録を参照のこと。



防災・危機管理コース卒業要件表

区分	授業科目名等	単位数	必修選択などの別		学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数		
			自然災害 を軽減する 技術者を 目指す 学生	データサイ エンスによ る危機管理 の専門 家を 目指す 学生					
全学 共通科目	学びと生き方 科目	ライフデザイン	1	必修	必修	d,e	(1)	1単位	26単位以上
		健康・スポーツ	1			d	(2)	(2単位)	
	学び科目	大学入門ゼミ	2	必修	必修	a	(2)	2単位	
		情報リテラシーA	1	必修	必修	a	(1)	2単位	
		情報リテラシーB	1	必修	必修				
	学問への扉	1又は2			b	(8)	(6単位)		
	主題科目	防災リテラシー養成講座A・B	1	必修	必修	b	(5),(6),(8)	7単位以上	
		防災コンピテンシー養成講座	2	必修	必修	b	(5),(6),(8)		
	学問基礎科目(文系科目)		2			b	(2)	4単位以上	
	学問基礎科目(理系科目)	物理学A	2			b	(5),(6),(8)	4単位以上	
		物理学B	2			b	(5),(6),(8)		
		物理学P	2			b	(5),(6),(8)		
		数学C	2			b	(5),(6),(8)		
		数学D	2			b	(5),(6),(8)		
	(物理学A,B,P, 数学C,D以外の学問基礎 科目(理系科目))	2			b	(5),(6),(8)			
広範教養教育科目		1又は2			b	(2)	(6単位)		
高度教養教育科目		1又は2			b	(2)			
外国語科目	初修外国語	1又は2			a	(3)	(1種類)(4単位)		
	既修外国語	1又は2	必修	必修	a	(3)	6単位以上		
小計							32単位以上		
学部 開設科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	必修	d	(1)	1単位	19単位以上
		対人コミュニケーション	1			a	(1),(2)		
	コミュニケーション 能力	国際コミュニケーションⅠ	1	必修	必修	a	(3)	3単位以上	
		国際コミュニケーションⅡ	1	必修	必修	a	(3)		
		技術英語	2			a	(3)		
		海外工学実務Ⅰ	4			a,c	(3),(10)		
		海外工学実務Ⅱ	2			a,c	(3),(10)		
	デザイン思考 能力	デザイン概論	1	必修	必修	c	(9)	4単位以上	
		チームワーキング演習	1	必修	必修	c	(9)		
		地域とアート	1			b,e	(12)		
		革新デザイン史	1			b	(8)		
		インタラクションデザイン	1			c	(9)		
		Web入門	1			b	(7)		
		デザイン思考演習	1	必修	必修	c	(9)		
		色彩学	1			b	(8)		
		マルチメディアクリエイティブ入門	1			b	(7),(8)		
		人間工学基礎	1			b	(8)		
	感性工学	1			b	(8)			
	デザインの潮流	2			b	(8)			
	リスクマネジメント 能力	リスクマネジメント概論	1	必修	必修	c	(9)	3単位以上	
		リスクコミュニケーション入門	1	必修	必修	c	(9)		
		ロジカル思考演習	1	必修	必修	c	(9)		
		自然災害科学	1	必修	必修	b,e	(5),(6),(12)		
		レジリエンス科学	1	必修	必修	b	(5),(6)		
	情報セキュリティ概論	1	必修	必修	b	(7)			
	数理的基礎能 力	微分・積分	2			b	(4)	8単位以上	
		線形代数	2			b	(4)		
		プログラミング	2	必修	必修	a,b,c	(2),(7),(9)		
		確率・統計	2	強く推奨	強く推奨	b	(4)		
		ベクトル解析	2			b	(4)		
	多角的思考能 力	地域企業ニーズ概論	1			e	(12)	8単位以上	
		工学実務	2			c,e	(10),(12)		
		科学・技術史	1			b	(8)		
文化と情報メディア		1			b	(8)			
資源・エネルギー論		1			b	(6),(8)			
環境政策	1			b	(6),(8)				
専門科目	コース専門科 目	防災危機管理概論	1	必修	必修	b	(5)	60単位以上	
		都市環境デザイン概論	1			b,c	(5)		
		災害史	1	必修	必修	b,e	(5),(12)		
		計算機入門	2	推奨	推奨	b	(7)		
		WEBデザイン	1			c	(9)		
		線形計画法	1			b	(4),(7)		
		気象災害科学	2	強く推奨	強く推奨	b,e	(5),(6),(12)		
		空間情報解析学	2	必修	必修	b	(6)		
		空間情報解析演習	1	必修	必修	b,c,e	(6),(9),(12)		
		防災ボランティア講座	2	必修	必修	c	(9)		

区分	授業科目名等	単位数	必修選択などの別		学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数		
			自然災害 を軽減する 技術者を 目指す 学生	データサイ エンスによ る危機管 理の専門 家を目指 す学生					
学部開設科目	専門 科目	コース専門科 目	防災基礎数理	2			b	④	60単位以上
			中級プログラミング	2		推奨	a,b,c	②,⑦,⑨	
			情報数学	2		推奨	b	④,⑦	
			インターネット	2		推奨	b	⑦	
			オペレーティング・システム	2		推奨	b	⑦	
			土質力学Ⅰ	2	推奨		b	⑥	
			構造力学Ⅰ	2	推奨		b	⑥	
			測量学	2	推奨		b	⑥	
			測量実習	2	推奨		b	⑥	
			構造・土質力学演習Ⅰ	2	推奨		b,c	⑥,⑨	
			非線形計画法	1		推奨	b	④,⑦	
			ビッグデータ解析	2		推奨	b	④,⑤,⑦	
			物理探査学	2	強く推奨	強く推奨	b,e	⑤,⑥,⑫	
			防災情報科学	2	必修	必修	b,c	⑤,⑥,⑦,⑨	
			レジリエンスデザイン	2	必修	必修	c	⑨	
			防災ボランティア実習	2	必修	必修	c,d,e	⑨,⑪,⑫	
			被害想定と防災計画	2	強く推奨	強く推奨	c,e	⑨,⑫	
			データ構造とアルゴリズム	2		推奨	b	⑦	
			アルゴリズム演習	1		推奨	c	⑨	
			ヒューマンインタフェースⅠ	2		推奨	b	⑦	
			データベース	2		推奨	b	⑦	
			ソフトウェア工学	2		推奨	b	⑦	
			情報理論	2		推奨	b	④,⑦	
			水理学Ⅰ	2	推奨		b	⑥	
			土質力学Ⅱ	2	推奨		b	⑥	
			構造力学Ⅱ	2	推奨		b	⑥	
			河川環境マネジメント	2	推奨		b	⑥	
			水環境マネジメント演習	2	推奨		b,c	⑥,⑨	
			構造・土質力学演習Ⅱ	2	推奨		b,c	⑥,⑨	
			経営危機管理マネジメント	1	強く推奨	強く推奨	d	⑪	
			リスクマネジメント	2	必修	必修	c	⑨	
			リスクマネジメント演習 (防災・危機管理コース)	1	必修	必修	c	⑨	
			災害行動と被災者支援	2	強く推奨	強く推奨	b,c,d	⑤,⑨,⑪	
			信頼性工学	2	必修	必修	b	⑦	
			信頼性工学演習	1	強く推奨	強く推奨	c	⑨	
			情報セキュリティⅠ	2		推奨	b	⑦	
			Webシステム開発	1		推奨	c	⑨	
			水理学Ⅱ	2	推奨		b	⑥	
			地質工学	2	推奨		b	⑥	
			振動学	2	推奨		b	⑥	
			地震工学	2	必修	必修	b	⑥	
			海域環境マネジメント	2	推奨		b	⑥	
			建設リスクマネジメント	2	強く推奨	強く推奨	c	⑩	
			災害・危機管理と法	1	強く推奨	強く推奨	d	⑪	
			サービス工学	1		推奨	b	⑦,⑧	
地域・国際活動論	2	強く推奨	強く推奨	b,e	⑤,⑫				
復旧・復興デザイン	2	強く推奨	強く推奨	b,c,e	⑤,⑨,⑫				
災害調査法	2	強く推奨	強く推奨	c,e	⑨,⑫				
危機管理実習	2	必修	必修	c	⑨				
モデリングとシミュレーション	2	強く推奨	強く推奨	b	⑦				
事業継続マネジメント	2	強く推奨	強く推奨	c	⑨				
防災危機管理セミナー	2	必修	必修	c	⑨				
人工知能	2		推奨	b	④,⑦				
卒業研究・卒業制作	卒業研究	8	必修	必修	a,b,c	①,⑧,⑨	8単位		
自由科目	(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-	2			b,c,e	⑩,⑫	9単位以上		
小計			計				96単位以上		
合計			計				128単位以上		

防災・危機管理コース カリキュラム関連表

	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期			
	1年次第1Q	1年次第2Q	1年次第3Q	1年次第4Q	2年次第1Q	2年次第2Q	2年次第3Q	2年次第4Q		
全学共通科目	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題		
	防災リテラシー養成講座(災害を知る)A	防災リテラシー養成講座(災害を知る)B	防災コンピテンシー養成講座(災害に備える)							
	大学入門ゼミ									
	情報リテラシー									
	数学C									
	数学D									
	物理学A			物理学B						
	物理学P			物理学P						
	学問基礎科目			学問基礎科目		学問基礎科目				
	健康・スポーツ			健康・スポーツ						
初修外国語			初修外国語							
Communicative English I		Communicative English II			English Writing		English Speaking			
共通科目	倫理						国際コミュニケーションI			
	コミュニケーション能力					対人コミュニケーション				
	デザイン思考能力	デザイン概論	チームワーキング演習	地域とアート	革新デザイン史	デザイン思考演習	インタラクションデザイン	色彩学	人間工学基礎	感性工学
						マルチメディアクリエイティブ入門		Web入門		
	リスクマネジメント能力		リスクマネジメント概論							
		ロジカル思考演習	リスクコミュニケーション入門							
	数理的基礎能力			自然災害科学	レジリエンス科学	情報セキュリティ概論				
	多角的思考能力						工学実務	地域企業ニーズ概論		
	学部開設科目	防災危機管理概論	災害史		防災基礎概論		地震工学		防災情報科学	
						空間情報解析学		レジリエンスデザイン		
						空間情報解析演習		防災ポランティア実習		
						防災ポランティア概論		被害想定と防災計画		
都市環境デザイン概論						気象災害科学		物理探査学		
						構造力学I		構造力学II		
						土質力学I		土質力学II		
						構造・土質力学演習I		構造・土質力学演習II		
						測量学		水理学I		
					測量実習		河川環境マネジメント		水環境マネジメント演習	
コース専門科目				計算機入門		情報数学		情報理論		
						インターネット		データ構造とアルゴリズム		
						オペレーティング・システム		アルゴリズム演習		
						中級プログラミング		ヒューマンインタフェースI		
						WEBデザイン		データベース		
						線形計画法	非線形計画法	ソフトウェア工学		ビッグデータ解析
自由科目										
卒業研究・卒業制作										

■ 赤字は全員必修科目

先頭のボックスは自然災害を軽減する技術者を指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。  
2番目のボックスはデータサイエンスによる危機管理の専門家を目指す学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨
- 推奨
- 選択



創造工学部 創造工学科(防災・危機管理コース)カリキュラムマップ(2026年度入学者用)

DP	1年次	2年次	3年次	4年次
a 言語運用能力	外国語(初修外国語) 外国語(初修外国語) 大学入門ゼミ 情報デザイン	外国語(初修外国語) 外国語(初修外国語) プログラミング	専門的言語運用能力の修得 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	卒業研究 技術英語
	基礎的言語運用能力の修得 外国語(Communicative English I, II, English Writing, English Speaking)	外国語(初修外国語) 外国語(初修外国語) プログラミング	専門的言語運用能力の修得 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	卒業研究 技術英語
b 知識・理解	学問基礎科目 学問の扉 数学C 数学D 微分・積分 線形代数 物理学A 物理学P	学問基礎科目 空間情報解析学 空間情報解析演習 気象気象科学 確率・統計 ベクトル解析 線形代数 非線形計画法 オペレーションシステム インターネット 構造力学I 土質力学I 測量学 測星演習 構造・土質力学演習 I 中級プログラミング 地理工学	専門分野の知識の修得 信賴性工学 情報セキュリティI 地理工学 情報理論 河川環境マネジメント データベース 振動学 災害行動に波及する支援 (SUS株式会社寄附講座)アルム学会-素材・技術-歴史-	卒業研究
	学問基礎科目 学問の扉 数学C 数学D 微分・積分 線形代数 物理学A 物理学P 自然気象科学 防災基礎論 計算機入門 プログラミング	学問基礎科目 空間情報解析学 空間情報解析演習 気象気象科学 確率・統計 ベクトル解析 線形代数 非線形計画法 オペレーションシステム インターネット 構造力学I 土質力学I 測量学 測星演習 構造・土質力学演習 I 中級プログラミング 地理工学	専門分野の知識の修得 信賴性工学 情報セキュリティI 地理工学 情報理論 河川環境マネジメント データベース 振動学 災害行動に波及する支援 (SUS株式会社寄附講座)アルム学会-素材・技術-歴史-	卒業研究
c 問題解決・応用能力	防災危機管理総論 都市環境デザイン概論	デザイン思考関連知識 革新デザイン史 レジリエンス科学	多角的知識・多角的思考能力 科学・技術史 文化と情報デザイン	卒業研究
	課題探究基礎能力 デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力 海外工学実務 I, II Webシステム開発 信賴性工学演習 建設リスクマネジメント 防災危機管理ゼミ-	卒業研究
d 社会貢献能力	防災危機管理総論 都市環境デザイン概論	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力 海外工学実務 I, II Webシステム開発 信賴性工学演習 建設リスクマネジメント 防災危機管理ゼミ-	卒業研究
	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力 海外工学実務 I, II Webシステム開発 信賴性工学演習 建設リスクマネジメント 防災危機管理ゼミ-	卒業研究
e 地域理解	防災危機管理総論 都市環境デザイン概論	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力 海外工学実務 I, II Webシステム開発 信賴性工学演習 建設リスクマネジメント 防災危機管理ゼミ-	卒業研究
	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	デザイン思考演習 インファンティデザイン Webデザイン 空間情報解析演習 構造・土質力学演習 I 工学実務	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力 海外工学実務 I, II Webシステム開発 信賴性工学演習 建設リスクマネジメント 防災危機管理ゼミ-	卒業研究

## 情報コース

### 1. 教育理念

情報技術や人工知能の進化により、個人の生活から産業のあり方まで、社会全体が大きく変わろうとしている。このような社会ニーズに応えるため、本コースでは、「人工知能」はもちろん、コンピュータの基本的構成やデータ構造とアルゴリズムなどの「情報学基礎」、グローバルなネットワークによるクラウドやビッグデータに対応した「情報基盤構築技術」、高い信頼性や安全性を確保する「セキュリティ技術」、利用者の立場で情報システムを設計・開発できる「情報システム設計・開発技術」に加えて、実社会が抱える課題を正しく理解し、当該分野のみならず他分野を専門にする者と一緒にそれらを解決できる次世代の情報技術者を養成する。

### 2. コース及びプログラムの説明

情報コースでは、上記の教育理念の下、コンピュータ、ネットワーク、セキュリティ、データ分析等の情報技術に関する基礎スキルに加え、それらを実社会に応用できる実践的な応用スキルを有した次世代型の情報技術者を養成するための専門教育に重点を置く。そのため、創造工学部のディプロマ・ポリシーに加え、次項で説明する学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)を定めている。コース内に2つの専門プログラム(情報システム・セキュリティプログラム&情報社会プログラム)を設けて高度情報専門人材を養成する。

なお、情報システム・セキュリティプログラムと情報社会プログラムの選択は、3年次前期に学生の希望により行う。

### 3. 学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

赤文字部分を修正

情報コースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学習到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	① 英文の読解、および英語による口頭コミュニケーションが少なくともできる程度の国際的コミュニケーション能力を身につける。
知識・理解	② 当該分野で必要な数理的基礎能力として、論理と集合論、確率統計の基礎的な事項を説明できる。
問題解決能力・課題解決能力	③ 講義で学んだ内容を、与えられた課題を通じて実践的に理解する。課題の解決方法を示し、また解決方法を評価することや実際に問題を解決できる。 ④ 身に付けた知識をもとに、当該分野・他分野を専門とする者とのチームで、計画的に調査、問題分析、コミュニケーション等の活動を行って課題を解決し、その成果をまとめるとともに、わかりやすく発表できる能力を身につける。

倫理観・社会的責任	<p>⑤ 情報技術者が社会において果たす役割・責任と情報セキュリティに関する責任について説明できる。</p> <p>⑥ 幅広い国際的な視野を持ち、技術が及ぼす影響について公衆の健康・安全、文化、経済、産業、環境、福祉、倫理、社会等の諸問題を踏まえた多面的な議論ができるようにする。</p>
情報工学の実践力	<p>⑦ 計算機の基本的な構成と動作する仕組みについて説明できる。</p> <p>⑧ データ構造とアルゴリズムの基本的な要素について説明でき、それらを活用したプログラムが構築できる。</p> <p>⑨ 情報システム開発における各工程での基本的な概念を説明し、実際の課題に応用できる。</p> <p>⑩ 社会に貢献し、信頼できる情報システムの構築に必要な基礎的事項について説明できる。</p> <p>⑪ インターネットで通信できる仕組みや、インターネットを利用した情報サービス環境の技術的基礎について説明できる。</p>
情報システム・セキュリティプログラムの実践力	<p>⑫ 情報セキュリティに関する基本的な技術およびサイバーセキュリティに対する考え方や取り組み方について説明できる。</p>
情報社会プログラムの実践力	<p>⑬ データを収集・解析する技術等を習得し、それを業務変革やビジネスの創出等に活用することができる。</p>

#### 4. カリキュラムの内容

情報コースのカリキュラムは、これらの学習到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目は、コース専門科目の科目群に分けられる。

情報コースカリキュラム関連表に、科目間の関連と、どの科目がどの科目群に含まれるかを示す。関連の深い科目は隣接して配置している。

科目を示すボックスの前に小さなボックスが付いている。ボックスが黒色の場合は必修科目を表し、青色の場合は推奨科目のうち、「強く推奨」、黄色の場合は「推奨」であることを表す。必修科目は各プログラムで必ず修得しなければならない科目、推奨科目（「強く推奨」と「推奨」）は卒業生が備えておくべき知識を扱っており、以降に配置された科目でその知識を前提とする場合があるため、修得することを強く勧める科目である。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中からプログラムごとに定めた必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。情報コース卒業要件表は、2つのプログラムそれぞれの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。

## 【全学共通科目】

幅広く深い教養と総合的判断力、豊かな人間性を涵養することを主たる目的とする科目である。卒業要件や各科目の内容については、「全学共通科目修学案内(教養教育)」および「全学共通科目シラバス(Web版)」を参照のこと。ただし、学問基礎科目、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 学問基礎科目:「数学C」、「数学D」の修得を推奨する。
- ② 必修科目である「大学入門ゼミ」と「情報リテラシー」は第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語:創造工学部では、国際インターンシップ等による学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国、中国、タイ、韓国、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランド等である。これらの国々で国際インターンシップ等を希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

## 【学部開設科目】

### [共通科目]

共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。6つの科目群を合わせて19単位以上を修得すること。

#### ① 倫理

技術者倫理の修得を目指す科目である。1単位を修得すること。

倫理(1単位)	必修科目	創造工学倫理
---------	------	--------

#### ② コミュニケーション能力

プロフェッショナルなコミュニケーション能力の修得を目指す科目である。科目群から3単位以上を修得すること。

コミュニケーション能力 (3単位以上)	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
	推奨科目	技術英語

#### ③ デザイン思考能力

デザイン思考に関する基礎能力の修得を目指す科目である。科目群から4単位以上を修得すること。

デザイン思考能力 (4単位以上)	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、デザイン思考演習
	推奨科目	マルチメディアクリエイティブ入門

#### ④ リスクマネジメント能力

リスクマネジメントに関する基礎能力の修得を目指す科目である。科目群から3単位以上を修得すること。ただし、本コースでは4単位(必修4科目)の取得が必須となる。

リスクマネジメント能力 (3単位以上)	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習、情報セキュリティ概論
------------------------	------	--

---

⑤ 数理的基礎能力

工学を学ぶ上で必要な数理的基礎能力および当コースに必要なプログラミングの基礎能力を養う科目である。⑥多角的思考能力と併せて8単位以上を修得すること。

数理的基礎能力 (8単位以上)	必修科目	プログラミング、確率・統計
	推奨科目	線形代数

⑥ 多角的思考能力

多角的な視点から工学環境の理解・思索・評価能力の養成を目指す科目である。⑤数理的基礎能力と併せて8単位以上を修得すること。

[専門科目]

専門科目は、コース専門科目の科目群である。各科目群のプログラムごとの必修科目と推奨科目を以下の表に示す。各プログラムともにコース専門科目から、60単位以上習得すること。

① コース専門科目:情報システム・セキュリティプログラム

<p>コース専門科目</p> <p>情報システム・セキュリティプログラム</p> <p>(60単位以上)</p>	必修科目	<p>情報工学概論、情報システム工学、                      計算機入門、論理回路、WEB デザイン、中級プログラミング、                      情報数学、インターネット、オペレーティング・システム、                      データ構造とアルゴリズム、アルゴリズム演習、                      ヒューマンインタフェース I、ソフトウェア工学、                      ソフトウェア工学演習、情報理論、情報セキュリティ I、                      Web システム開発、ソフトウェアモデリング、                      ソフトウェアモデリング演習、情報システム・セキュリティ実験 I、                      情報セキュリティ II、情報セキュリティ演習、                      情報システムリスクマネジメント演習、                      情報システム・セキュリティ実験 II</p>
	推奨科目	<p>数理演習、情報とビジネス、ビッグデータ解析、データベース、                      サービス指向開発、オブジェクト指向言語、                      オブジェクト指向言語演習、ヒューマンインタフェース II、                      人工知能、コンパイラ、ソフトウェアリスク管理、情報関連法規</p>

② コース専門科目:情報社会プログラム

<p>コース専門科目</p> <p>情報社会プログラム</p> <p>(60単位以上)</p>	必修科目	<p>情報工学概論、情報システム工学、                      計算機入門、論理回路、WEB デザイン、中級プログラミング、                      情報数学、インターネット、オペレーティング・システム、                      情報とビジネス、データ構造とアルゴリズム、アルゴリズム演習、                      ヒューマンインタフェース I、サービス指向開発                      データマイニング、Web システム開発、                      ヒューマンインタフェース II、情報社会実験 I、                      データビジュアライゼーション、情報社会実験 II、                      情報ビジネスデザイン</p>
	推奨科目	<p>数理演習、ビッグデータ解析、ソフトウェア工学、                      ソフトウェア工学演習、データベース、情報セキュリティ I、                      オブジェクト指向言語、オブジェクト指向言語演習、                      ソフトウェアモデリング、ソフトウェアモデリング演習、                      情報セキュリティ II、情報セキュリティ演習、情報関連法規</p>

[卒業研究・卒業制作]

創造工学部および本コース(各プログラム)における勉学の総仕上げとして、3年次第2学期から、指導教員を選択(研究室に配属)し、テーマを設定して研究を行い、卒業論文としてまとめる(8単位、必修)。「卒業研究」は、研究・開発の様々な過程を経験するための非常に重要なものである。

### 【自由科目】

学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部(他コースを含む)及び他学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)あるいは単位互換制度を利用して他大学で開講する単位互換科目から9単位以上を修得すること。なお、本コース指定の学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位数は、自由科目の単位数として算入することができる。

#### ・他コース開講の推奨科目

他コース開講であるため自由科目となるが、知識を深めるために受講することを勧める科目を以下に示す。

コース名	科目
造形・メディアデザインコース	LeanStartup 概論 映像・画像・音声処理技術概論 社会・観光情報デザイン 企画・プロデュース論 サービス・イノベーション創造演習

## 6. 資格

### 【教員免許】

「情報」と「工業」の教育職員免許状を取得するための科目を用意している。いずれの免許も自らのプログラムの必修科目を履修するだけでは免許取得に必要な科目を充たすことができない。よって、取得を目指すにあたっては、キャンパス・アドバイザー(CA)と履修計画を相談のこと。

### 【情報処理技術者試験】

大学での単位取得が試験に有利になるような制度はないが、本コースでは、情報処理技術者試験の出題範囲に関連する科目を多数開講している。



情報コース卒業要件表

区分		授業科目名等	単位数	必修選択 情報システム・ セキュリティ プログラム	必修選択 情報社会 プログラム	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数			
全学 共通科目	学びと生き 方 科目	生き方科目	ライフデザイン	1	必修	必修	de	⑥	1単位	26単位以上	
			健康・スポーツ	1			d	③	(2単位)		
		学び科目	大学入門ゼミ	2	必修	必修	a	⑥	2単位		
			情報リテラシーA	1	必修	必修	a	⑩	2単位		
			情報リテラシーB	1	必修	必修			(6単位)		
	主題科目	学問への扉	1又は2			b	⑥	(6単位)			
	学問基礎科目(文系科目)		1又は2			bc	⑥	7単位以上			
	学問基礎科目(理系科目)		物理学A	2			b	②	4単位以上		
			物理学B	2			b	②			
			物理学P	2			b	②			
			数学C	2	推奨	推奨	b	②			
			数学D	2	推奨	推奨	b	②			
			(物理学A,B,P, 数学C,D以外の学問基礎科目(理系科目))	2			b	⑥			
	広範教養教育科目		1又は2			b	⑥	(6単位)			
	高度教養教育科目		1又は2			b	⑥	(6単位)			
外国語科目	初修外国語	1又は2			a	①	(1種類)(4単位)				
	既修外国語	1又は2			a	①	6単位以上				
小計								32単位以上			
学部開設科目	共通科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	必修	d	⑤⑥	1単位	19単位以上	
		コミュニケーション能力		対人コミュニケーション	1			a	④		
				国際コミュニケーション I	1	必修	必修	a	①		
				国際コミュニケーション II	1	必修	必修	a	①		3単位以上
				技術英語	2	推奨	推奨	a	①		
				海外工学実務 I	4			a	⑥		
				海外工学実務 II	2			a	⑥		
		デザイン思考能力		デザイン概論	1	必修	必修	c	⑩		
				チームワーキング演習	1	必修	必修	c	④		
				地域とアート	1			be	⑥		
				革新デザイン史	1			b	⑥		
				インタラクションデザイン	1			c	⑥		
				デザイン思考演習	1	必修	必修	c	⑥		4単位以上
				色彩学	1			b	⑥		
				マルチメディアクリエイティブ入門	1	推奨	推奨	c	⑩		
			人間工学基礎	1			c	⑩			
			感性工学	1			c	⑩			
	リスクマネジメント能力		デザインの潮流	2			c	⑩			
			リスクマネジメント概論	1	必修	必修	c	④⑥⑩			
			リスクコミュニケーション入門	1	必修	必修	c	④⑩			
			ロジカル思考演習	1	必修	必修	c	④	3単位以上		
			自然災害科学	1			c	⑥			
			レジリエンス科学	1			c	⑩			
	数理的基礎能力		情報セキュリティ概論	1	必修	必修	b	⑫			
			基礎数学演習	1			b	②			
			微分・積分	2			b	②			
			線形代数	2	推奨	推奨	b	②			
			プログラミング	2	必修	必修	a	⑦			
			確率・統計	2	必修	必修	b	②			
			ベクトル解析	2			b	②	8単位以上		
			地域企業ニーズ概論	1			be	⑥			
	多角的思考能力		工学実務	2			ce	⑥			
			科学・技術史	1			b	⑥			
		文化と情報メディア	1			b	⑥				
		資源・エネルギー論	1			b	⑥				
		環境政策	1			b	⑥				
専門科目		コース専門科目		数理演習	1	推奨	推奨	b	②		
				情報工学概論	1	必修	必修	ba	⑤		
			情報システム工学	1	必修	必修	bc	⑤			
			計算機入門	2	必修	必修	bc	⑦			
			論理回路	2	必修	必修	bc	②⑦			
			WEBデザイン	1	必修	必修	cb	⑩			
			線形計画法	1			bc	⑩			
			中級プログラミング	2	必修	必修	cb	⑦			
			情報数学	2	必修	必修	bc	②			
			インターネット	2	必修	必修	bc	⑪			
			オペレーティング・システム	2	必修	必修	bc	⑦	60単位以上		

区分	授業科目名等	単位数	必修選択 情報システム・ セキュリティ プログラム	必修選択 情報社会 プログラム	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数	
学部開設科目	専門科目 コース専門科目	非線形計画法	1			bc	⑩	60単位以上
		計算機アーキテクチャ	1			bc	⑦	
		ビッグデータ解析	2	推奨	推奨	bc	②⑩	
		情報とビジネス	1	推奨	必修	bc	⑨⑩⑬	
		情報システム基盤構築	1			cb	③⑩⑪	
		レジリエンスデザイン	2			cb	⑩	
		データ構造とアルゴリズム	2	必修	必修	bc	⑧	
		アルゴリズム演習	1	必修	必修	cb	⑧	
		ヒューマンインタフェースⅠ	2	必修	必修	bc	⑩	
		データベース	2	推奨	推奨	bc	⑩	
		ソフトウェア工学	2	必修	推奨	bc	⑨	
		ソフトウェア工学演習	1	必修	推奨	cb	⑨	
		情報理論	2	必修		b	⑪	
		サービス指向開発	1	推奨	必修	bc	⑨⑩⑬	
		グラフ理論	1			bc	⑧	
		信頼性工学	2			bc	⑩	
		信頼性工学演習	1			cb	⑩	
		情報セキュリティⅠ	2	必修	推奨	bc	⑫	
		情報システム基盤応用設計	1			bc	⑩⑪	
		データマイニング	1		必修	bc	⑨⑩⑬	
		Webシステム開発	1	必修	必修	cb	⑨	
		オブジェクト指向言語	2	推奨	推奨	bc	⑩	
		オブジェクト指向言語演習	1	推奨	推奨	cb	⑩	
		ソフトウェアモデリング	2	必修	推奨	bc	⑨	
		ソフトウェアモデリング演習	1	必修	推奨	cb	⑨	
		ヒューマンインタフェースⅡ	2	推奨	必修	bc	⑩	
		情報システム・セキュリティ実験Ⅰ	2	必修		cb	③④	
		情報社会実験Ⅰ	2		必修	cb	③④	
		機械学習入門	2			b	⑩	
		オートマトン	1			bc	⑩	
		データビジュアライゼーション	1		必修	bc	⑨⑩⑬	
		サービス工学	1			bc	⑩	
		モデリングとシミュレーション	2			bc	⑩	
		情報セキュリティⅡ	2	必修	推奨	bc	⑫	
		情報セキュリティ演習	1	必修	推奨	cb	⑫	
		人工知能	2	推奨		bc	⑩	
		コンパイル	2	推奨		bc	⑩	
		ソフトウェアリスク管理	2	推奨		bc	⑩	
		情報システムリスクマネジメント演習	1	必修		cb	⑩	
		情報システム・セキュリティ実験Ⅱ	2	必修		cb	③④	
		情報社会実験Ⅱ	2		必修	cb	③④	
		著作権	1			db	⑤	
		プロジェクトとリスク管理	1			bc	⑩	
情報ビジネスデザイン	1		必修	bc	⑨⑩⑬			
情報関連法規	1	推奨	推奨	db	⑤			
卒業研究・卒業制作	卒業研究	8	必修	必修	cab	③④⑥	8単位	
自由科目	(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-	2			bce	⑥	9単位以上	
小計							96単位以上	
合計							128単位以上	

情報コース カリキュラム関連表

	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期			
	1年次第1Q	1年次第2Q	1年次第3Q	1年次第4Q	2年次第1Q	2年次第2Q	2年次第3Q	2年次第4Q		
全学共通科目	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題		
	大学入門ゼミ									
	情報リテラシー									
		数学C								
		数学D								
		物理学A		物理学B						
		物理学P		物理学P						
		学問基礎科目		学問基礎科目		学問基礎科目				
		健康・スポーツ		健康・スポーツ						
		初修外国語		初修外国語						
	Communicative English I		Communicative English II		English Writing		English Speaking			
学部開設科目	倫理							国際コミュニケーションI		
	コミュニケーション能力					対人コミュニケーション				
	デザイン思考能力	デザイン概論	チームワーキング演習			デザイン思考演習				
				地域とアート	革新デザイン史	インタラクションデザイン マルチメディア クリエイティブ入門	色彩学	人間工学基礎	感性工学	
	リスクマネジメント能力		リスクマネジメント概論 リスクコミュニケーション入門			情報セキュリティ概論				
		ロジカル思考演習			自然災害科学	レジリエンス科学				
	数理的基礎能力		基礎数学演習				微分・積分 線形代数 プログラミング	確率・統計 ベクトル解析		
	多角的思考能力						工学実務	地域企業ニーズ概論		
	コース専門科目	情報工学概論	情報システム工学						情報とビジネス	サービス指向開発
		数理演習		論理回路		情報数学		情報理論		
						計算機アーキテクチャ		ビッグデータ解析		
				計算機入門		線形計画法	非線形計画法			
						オペレーティング・システム				
						インターネット		情報システム基盤構築		
						中級プログラミング		データ構造とアルゴリズム		
								アルゴリズム演習		
								ソフトウェア工学		
							ソフトウェア工学演習			
							データベース			
					WEBデザイン			ヒューマンインタフェースI		
								レジリエンスデザイン		
自由科目										
卒業研究・卒業制作										

赤字はいずれかのプログラムの必修科目

先頭のボックスは情報システム・セキュリティプログラムの必修、強く推奨、推奨、選択を表す。  
2番目のボックスは情報社会プログラムの必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨 (本コースは「強く推奨する」科目の開講はない。)
- 推奨
- 選択



創造工学部 創造工学科(情報コース)カリキュラムマップ(2026年度入学者用)

DP	1年次	2年次	3年次	4年次
a 言語運用能力	基礎的言語運用能力の修得	専門的言語運用能力の修得	卒業研究	卒業研究
	外国語 (初修外国語) 外国人コミュニケーション 情報リテラシー	外国人コミュニケーション 国際コミュニケーションI 海外工学実務 I, II	技術英語 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	
b 知識・理解	基礎的言語運用能力の修得	専門的言語運用能力の修得	卒業研究	卒業研究
	外国語 (初修外国語) 外国人コミュニケーション 情報リテラシー	外国人コミュニケーション 国際コミュニケーションI 海外工学実務 I, II	技術英語 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	
c 問題解決・実働能力	基礎的言語運用能力の修得	専門的言語運用能力の修得	卒業研究	卒業研究
	外国語 (初修外国語) 外国人コミュニケーション 情報リテラシー	外国人コミュニケーション 国際コミュニケーションI 海外工学実務 I, II	技術英語 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	
d 社会的責任	基礎的言語運用能力の修得	専門的言語運用能力の修得	卒業研究	卒業研究
	外国語 (初修外国語) 外国人コミュニケーション 情報リテラシー	外国人コミュニケーション 国際コミュニケーションI 海外工学実務 I, II	技術英語 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	
e 地域理解	基礎的言語運用能力の修得	専門的言語運用能力の修得	卒業研究	卒業研究
	外国語 (初修外国語) 外国人コミュニケーション 情報リテラシー	外国人コミュニケーション 国際コミュニケーションI 海外工学実務 I, II	技術英語 国際コミュニケーションII 海外工学実務 I, II	

## 人工知能・通信ネットワークコース

### 1. 教育理念

私たちの生活を一層豊かで便利にするために、身の回りのあらゆるものを通信ネットワークで結び、人工知能(AI)を用いて自動化する技術や将来予測・意思決定に役立つ技術の開拓が求められている。人工知能・通信ネットワークコースでは、これらに必要となる人工知能、無線・光通信ネットワーク、計測技術等を身につけるため、人工知能の基礎・応用、これらの電子回路上への実装、電気・通信ネットワーク系の基礎・応用を学ぶ。また、電子・情報通信機器の技術開発・システム運用を担うことができ、グローバルにも活躍できる人材を育成する。

### 2. コースの説明

人工知能・通信ネットワークコースでは、情報、人工知能、通信、計測、回路の各技術に重点をおき学修する。また、専門科目には、他コースと共同開講の科目も多くあり、広い知識を修得することを目指す。

### 3. 学修到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

人工知能・通信ネットワークコースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学修到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	① 英文の読解、および英語による口頭コミュニケーションが少なくともできる程度の国際的コミュニケーション能力を身につける。
知識・理解	② 当該分野で必要な数理的基礎能力を身につける。また、微分・積分、線形代数、確率・統計の基礎的な事項を説明できる。
問題解決能力・課題解決能力	③ 講義で学んだ内容を、与えられた課題を通じて実践的に理解する。課題の解決方法を示し、また解決方法を評価することや実際に問題を解決できる。 ④ 身に付けた知識をもとにチームで計画的に調査、問題分析、コミュニケーション等の活動を行って課題を解決し、その成果をまとめるとともに、わかりやすく発表できる能力を身につける。
倫理観・社会的責任	⑤ 技術者が社会において果たす役割について説明できる。 ⑥ 幅広い国際的な視野を持ち、技術が及ぼす影響について公衆の健康・安全、文化、経済、産業、環境、福祉、倫理、社会等の諸問題を踏まえた多面的な議論ができるようにする。
人工知能・情報通信の実践力	⑦ パーソナルコンピュータ等の情報機器を用いて、基礎的なプログラミングが行える。 ⑧ 人工知能の基本的な事項について説明できる。 ⑨ 通信工学の基本的な事項について説明できる。 ⑩ 電磁気現象の基本法則を理解し、電磁界の基礎的な振る舞いを説明できる。 ⑪ 直流・交流電気回路について定式化を行い、基本的な現象を説明できる。 ⑫ 半導体の概念、基本的な電子回路の動作を説明できる。 ⑬ 情報通信技術者として必要な専門知識を身につけ、それ

	を応用できる。
--	---------

#### 4. カリキュラムの内容

人工知能・通信ネットワークコースのカリキュラムは、これらの学修到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目は、コース専門科目の科目群に分けられる。

カリキュラム関連表に、科目間の関連と、どの科目がどの科目群に含まれるかが示されている。関連の深い科目は隣接して配置している。科目を示すボックスの前に小さなボックスが付いている。ボックスが黒色の場合は必修科目を表し、青色の場合は推奨科目のうち、「強く推奨」、黄色の場合は「推奨」であることを表す。**強く推奨する科目**は、以降に配置された科目でその知識を前提とする場合があるため、修得することを強く勧める科目である。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

コースの卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中から必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。人工知能・通信ネットワークコース卒業要件表は、コースの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。

##### 【全学共通科目】

幅広く深い教養と総合的判断力、豊かな人間性を涵養することを主たる目的とする科目である。卒業要件や各科目の内容については、「全学共通科目修学案内(教養教育)」および「全学共通科目シラバス(Web版)」を参照のこと。ただし、学問基礎科目、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 学問基礎科目:「数学C」、「数学D」の修得を強く推奨する。また、物理学関係の「物理学A」、「物理学B」、「物理学P」を修得しておくことを強く推奨する。
- ② 必修科目である大学入門ゼミと、情報リテラシーA・Bは第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語:創造工学部では、国際インターンシップ等による学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国は、中国、タイ、韓国、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランド等である。これらの国々で国際インターンシップ等希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

##### 【学部開設科目】

###### [共通科目]

共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。6つの科目群を合わせて19単位以上を修得すること。

###### ① 倫理

技術者倫理の修得を目指す科目である。1単位を修得すること。

倫理(1単位)	必修科目	創造工学倫理
---------	------	--------

###### ② コミュニケーション能力

プロフェッショナルなコミュニケーション能力の修得を目指す科目である。科目群から3単位以上を修得すること。

コミュニケーション能力 (3単位以上)	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
------------------------	------	---------------------------

③ デザイン思考能力

デザイン思考に関する基礎能力の修得を目指す科目である。科目群から4単位以上を修得すること。

デザイン思考能力 (4単位以上)	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、デザイン思考演習
---------------------	------	----------------------------

④ リスクマネジメント能力

リスクマネジメントに関する基礎能力の修得を目指す科目である。科目群から3単位以上を修得すること。

リスクマネジメント能力 (3単位以上)	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習
------------------------	------	-------------------------------------

⑤ 数理的基礎能力

工学を学ぶ上で必要な数理的基礎能力および当コースで必要なプログラミングの基礎能力を養う科目である。数理的基礎能力と下記の⑥多角的思考能力の科目群を合わせて8単位以上を修得すること。

数理的基礎能力	必修科目	微分・積分、プログラミング、線形代数
	強く推奨科目	基礎数学演習、確率・統計

⑥ 多角的思考能力

多角的な視点から、工学環境の理解・思索・評価能力を育成する科目である。多角的思考能力と上記の⑤数理的基礎能力の科目群を合わせて8単位以上を修得すること。

[専門科目]

① 専門科目

必修科目および推奨科目を以下の表に示す。専門科目群から60単位以上を修得すること。

コース専門科目	必修科目	論理回路、電気回路Ⅰ(人工知能・通信ネットワークコース)、電気回路演習Ⅰ、電磁気学Ⅰ(人工知能・通信ネットワークコース)、電磁気学演習Ⅰ、電子回路、人工知能・通信ネットワーク実験Ⅰ、人工知能・通信デザイン演習、通信工学、人工知能・通信ネットワーク実験Ⅱ、人工知能・通信リスクマネジメント演習、人工知能
	強く推奨科目	数理演習、情報理論

[卒業研究]

創造工学部および本コースにおける勉学の総仕上げとして、3年次第2学期から、指導教員を選択(研究室に所属)し、テーマを設定して研究を行い、卒業論文としてまとめる(8単位、必修)。「卒業研究」は、研究・開発の様々な過程を経験するため、非常に重要である。

[自由科目]

学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部(他コース)及び他学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)あるいは単位互換制度を利用して他大学で開講する単位互換科目から9単位以上を修得すること。

---

なお、本コース指定の学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)のうち、卒業要件単位数(共通科目19単位、専門科目60単位)を超えて修得した単位数は、自由科目の単位数として算入することができる。

## 6. 資格

### 【教員免許】

「情報」と「工業」の教育職員免許状を取得するための科目を用意している。取得を目指すにあたっては、キャンパス・アドバイザー(CA)と履修計画を相談すること。



人工知能・通信ネットワークコース卒業要件表

区分		授業科目名等	単位数	必修選択 などの別	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数	
全学 共通科目	学びと生き 方 科目	生き方科目	ライフデザイン	1	必修	d,e	⑥	1単位
			健康・スポーツ	1		d	⑥	(2単位)
	学び科目		大学入門ゼミ	2	必修	a	⑥	2単位
			情報リテラシーA	1	必修	a	⑦	2単位
			情報リテラシーB	1	必修			
			学問への扉	1又は2		b,c	⑥	(6単位)
		主題科目		1又は2		b,c	⑥	7単位以上
		学問基礎科目(文系科目)		2		b	⑥	4単位以上
	学問基礎科目(理系科目)		物理学A	2	強く推奨	b	②	4単位以上
			物理学B	2	強く推奨	b	②	
			物理学P	2	強く推奨	b	②	
			数学C	2	強く推奨	b	②	
			数学D	2	強く推奨	b	②	
		(物理学A,B,P, 数学C,D以外の学問基礎科目 (理系科目))	2		b	⑥		
	広範教養教育科目		1又は2		b	⑥など	(6単位)	
	高度教養教育科目		1又は2		b	⑥など		
外国語科目		初修外国語	1又は2		a	⑥	(1種類)(4単位)	
		既修外国語	1又は2	必修	a	①	6単位以上	
		小計					32単位以上	
学部 開設科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	d	⑤⑥	1単位	
			対人コミュニケーション	1		a	④	
	コミュニケーション能力		国際コミュニケーションⅠ	1	必修	a	①	3単位以上
			国際コミュニケーションⅡ	1	必修	a	①	
			技術英語	2		a	①	
			海外工学実務Ⅰ	4		a	①	
			海外工学実務Ⅱ	2		a	①	
	デザイン思考能力		デザイン概論	1	必修	c	③	4単位以上
			チームワーキング演習	1	必修	c	④	
			地域とアート	1		b,e	⑥	
			革新デザイン史	1		b	⑥	
			インタラクションデザイン	1		c	⑥	
			Web入門	1		c	⑦	
			デザイン思考演習	1	必修	c	③	
			色彩学	1		b	⑥	
			マルチメディアクリエイティブ入門	1		c	⑦	
			人間工学基礎	1		c	⑬	
			感性工学	1		c	⑬	
	リスクマネジメント能力		デザインの潮流	2		c	⑥	3単位以上
			リスクマネジメント概論	1	必修	c	⑥	
			リスクコミュニケーション入門	1	必修	c	⑥	
			ロジカル思考演習	1	必修	c	③	
			自然災害科学	1		c	⑥	
			レジリエンス科学	1		c	⑥	
			情報セキュリティ概論	1		c	⑬	
	数理的基礎能力		基礎数学演習	1	強く推奨	b	②	8単位以上
			微分・積分	2	必修	b	②	
			線形代数	2	必修	b	②	
			プログラミング	2	必修	a	⑦	
			確率・統計	2	強く推奨	b	②	
			ベクトル解析	2		b	②	
	多角的思考能力		地域企業ニーズ概論	1		b	⑥	8単位以上
			工学実務	2		c,e	④⑥	
		科学・技術史	1		b	⑥		
		文化と情報メディア	1		b	⑥		
		資源・エネルギー論	1		b	⑥		
		環境政策	1		b	⑥		
		数理演習	1	強く推奨	b	②		
専門科目	コース専門科目	計算機入門	2		b	⑬	60単位以上	
		論理回路	2	必修	b	⑬		
		線形計画法	1		b	⑬		
		グラフ理論	1		b	⑬		
		中級プログラミング	2		c	⑦		
		情報数学	2		b	⑬		
		インターネット	2		b	⑬		
		電気回路Ⅰ(人工知能・通信ネットワークコース)	2	必修	b	⑪		
		電気回路演習Ⅰ	1	必修	b	⑪		
		非線形計画法	1		b	⑬		

区分	授業科目名等	単位数	必修選択 などの別	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数
	ビッグデータ解析	2		b	⑧⑬	
	レジリエンスデザイン	2		c	⑥	
	ヒューマンインタフェース I	2		b	⑬	
	情報理論	2	強く推奨	b	⑬	
	電磁気学 I (人工知能・通信ネットワークコース)	2	必修	b	⑩	
	電磁気学演習 I	1	必修	b	⑩	
	電子回路	2	必修	b	⑫	
	信号解析	2		b	⑬	
	センシング I	1		b	⑬	
	センシング II	1		b	⑬	
	信頼性工学	2		b	⑬	
	信頼性工学演習	1		c	⑬	
	情報セキュリティ I	2		b	⑬	
	ヒューマンインタフェース II	2		b	⑬	
	機械学習入門	2		b	⑧⑬	
	電気回路 II	2		b	⑪	
	電磁気学 II (人工知能・通信ネットワークコース)	2		b	⑩	
	電気電子計測	2		b	⑬	
	デジタル信号処理	2		b	⑬	
	人工知能・通信ネットワーク実験 I	2	必修	c	③④⑧⑬	
	人工知能・通信デザイン演習	1	必修	c	⑧⑨⑬	
	モデリングとシミュレーション	2		b	⑬	
	人工知能	2	必修	b	⑧⑬	
	数値最適化	2		b	⑧⑬	
	電波・光応用工学	2		b	⑬	
	光通信システム工学	2		b	⑬	
	通信工学	2	必修	b	⑨	
	人工知能・通信ネットワーク実験 II	2	必修	c	③④⑬	
	人工知能・通信リスクマネジメント演習	1	必修	c	③⑬	
	固体物理学IV	1		b	⑫	
	情報通信システム	2		b	⑨	
	固体物理学 I	2		b	⑫	
	エッジデバイス設計	1		b	⑬	
卒業研究・卒業制作	卒業研究	8	必修	a,b,c	③④	8単位
自由科目	(SUS株式会社寄附講義)アルミ学ー素材・技術・歴史ー	2		bce	③⑥	9単位以上
	小計					96単位以上
	合計					128単位以上

人工知能・通信ネットワークコース カリキュラム関連表

		1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期	
		1年次第1Q	1年次第2Q	1年次第3Q	1年次第4Q	2年次第1Q	2年次第2Q	2年次第3Q	2年次第4Q
		主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題
全学共通科目		大学入門ゼミ							
		情報リテラシー							
		数学C							
		数学D							
		物理学A		物理学B					
		物理学P		物理学P					
		学問基礎科目		学問基礎科目		学問基礎科目			
		健康・スポーツ		健康・スポーツ					
		初修外国語		初修外国語					
		Communicative English I		Communicative English II		English Writing		English Speaking	
学部開設科目	倫理								
	コミュニケーション能力					対人コミュニケーション		国際コミュニケーションI	
	デザイン思考能力	デザイン概論	チームワーキング演習			デザイン思考演習			
				地域とアート	革新デザイン史	インタラクションデザイン	色彩学	人間工学基礎	感性工学
							マルチメディア クリエイティブ入門 Web入門		
	リスクマネジメント能力	リスクマネジメント概論 リスクコミュニケーション入門							
		ロジカル思考演習							
				自然災害科学	レジリエンス科学	情報セキュリティ概論			
	数理的基礎能力	基礎数学演習		微分・積分		ベクトル解析			
				線形代数		確率・統計			
			プログラミング						
多角的思考能力						工学実務	地域企業ニーズ概論		
コース専門科目		数理演習		論理回路		情報数学		情報理論	
				計算機入門		グラフ理論			
						インターネット			
						中級プログラミング		ヒューマンインタフェース I	
						線形計画法	非線形計画法	レジリエンスデザイン	
								ビッグデータ解析	
						電気回路 I (人工知能・通信ネットワークコース)		電磁気学 I (人工知能・通信ネットワークコース)	
						電気回路演習 I		電磁気学演習 I	
								電子回路	
								信号解析	
							センシング I		
自由科目									
卒業研究・卒業制作									

**赤字は全員必修科目**

先頭のボックスは必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨
- 推奨 (本コースは「推奨する」科目の開講はない。)
- 選択



1年次		2年次		3年次		4年次	
言語運用能力 a	外国語 (初級外国語)	外国語 (初級外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	技術英語	卒業研究	専門的言語運用能力の修得
	大卒入門ゼミ	プログラミング			国際コミュニケーションII 海外工学実務I, II		
知識・理解 b	外国語 (初級外国語)	外国語 (初級外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	技術英語	卒業研究	専門的言語運用能力の修得
	大卒入門ゼミ	プログラミング			国際コミュニケーションII 海外工学実務I, II		
問題解決能力 c	デザイン概論	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	卒業研究	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力
	デザイン概論	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	卒業研究	
社会貢献能力 d	デザイン概論	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	卒業研究	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力
	デザイン概論	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	卒業研究	
地域理解 e	デザイン概論	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	卒業研究	専門分野の問題解決力・デザイン思考能力・実践力
	デザイン概論	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	デザイン思考演習	卒業研究	

## 機械システムコース

### 1. 教育理念

機械システムの発展は世の中を豊かにすることに大きく貢献する。これまで機械システムへの社会的要請は生産技術が中心であったが、時代や環境と共に変化し、少子高齢化を迎えた現代社会においては我々の生活に密着した工学技術の追求も重要な課題となっている。例えば、宇宙から深海に至るまでの極限状態や危険な場所での作業を支援するロボット、運動機能や感覚機能に障害を持つ人の生活を支援する機器、医療やバイオ分野で小さな細胞を操り精密な作業を行うマイクロデバイスなどが必要となっている。このような社会動向や環境変化に対応し、持続可能な社会と安心・安全・快適な生活を実現する高度で多様な機械、マンマシンシステム、キーデバイスなどの開発・研究を本コースでは展開している。

本コースでは、従来の工学技術を様々な観点から振り返りながら機械システム工学の基礎を身に付けると共に、生物や自然の多様な現象や法則を科学的に理解することで、複雑な事象中に本質的な機能美を見極める審美眼を涵養する。また、電気・電子、制御技術等の幅広い学問領域を融合した学際的な知識を身に付ける。これら高い見識の基に、機能美を備えた機械システムを創造できる能力を養うと共に、人間中心の高度な機械システムを構想・開発できる人材育成を目指した教育研究を行う。

### 2. コースの説明

本コースでは、教育理念の実現に向け、以下のような教育方針を掲げる。

#### 1)基礎能力と応用能力の養成

数学、自然科学および情報技術に関する知識を身につけ、機械システム工学分野の専門技術に関するより深い知識を修得し、応用できる能力を養成する。

#### 2)総合的な判断力と審美眼の涵養

専門的な知識のみならず、グローバルな視点から多面的に自然現象や技術に関連する物事を考える総合的な判断力と、機能美を備えたものづくりに応用できる審美眼を涵養する。

#### 3)機能美を備えたものづくり教育の充実

ものづくりに関する実務科目を履修しデザイン能力を身につけ、機械システム工学の主要分野における基礎と応用の実験科目の履修を通じて、様々な課題に機能美を備えた機械システムを以って自主的、継続的に取り組み、解決できる創造力を涵養する。

#### 4)職業観の涵養

工場見学、インターンシップ等の参加・活動を行いながら、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する技術者の基礎的な倫理を身につけ、職業観を涵養する。

#### 5)国際化への対応

日本語および英語による論理的な記述、口頭発表、討議等の国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を涵養するとともに、外国語による研究交流が図れる機会を充実する。

### 3. 学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

機械システムコースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学習到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	① 日本語、英語、数理法則等による論理的な思考と、それに基づく記述、口頭発表、討議等の国際的に通用する基礎的なコミュニケーションができる。
--------	---

知識・理解	② グローバルな視点から多面的に自然現象、技術、社会に関連する物事について考えることができる。 ③ 数学、自然科学および情報技術に関する知識を身につけて応用することができる。 ④ 機械システム工学分野の専門技術に関する基礎知識と機能美に対する審美眼を身につけて、それらを工学的問題解決に応用できる。
問題解決能力・課題解決能力	⑤ ものづくりに関する実務科目を履修しデザイン能力を身につけて、幅広い視野が要求される実務上の問題に機能美を備えたシステムを以って対応することができる。 ⑥ 機械システム工学の主要分野における基礎と応用の実験科目の履修を通じて、自主的、継続的に実践力を学習できる。 ⑦ 卒業研究を通して自ら課題を発見し、研究を計画・遂行・解析・考察し、その成果をまとめて発表できる。
倫理観・社会的責任	⑧ 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する技術者の基礎的な倫理を身につけている。
地域理解	⑨ 地域の現状と課題を理解し、機械システム工学の観点から問題解決のための提案をすることができる。

#### 4. カリキュラムの内容

機械システムコースのカリキュラムは、これらの学習到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目は、コース専門科目の科目群に分けられる。

また、機械システムコースのカリキュラムは、全学共通科目のうち特に学問基礎科目とのつながり、そして学部開設科目である工学基礎科目とのつながりを考慮して作成されている。科目の理解を、座学だけでなく、実験による体験を通じて理解し会得できるような教育を目指している。

第1年次は、数学や物理など自然科学の基礎的理解とともに、工学における現象理解と数理的表現法に関して実験を通して学べるようにしている。

第2年次以降は、機械システム工学として必要な基礎科目の修得や機械システムコースにおける研究内容に関連した「失敗学演習」、「機能美工学演習」、「ロボット工学」、「マイクロ・ナノ工学」、「自動車工学」などの科目を開設し、基礎科目から先端研究へのつながりを意識して学べるようにしている。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

コースの卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中から必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。機械システムコースの卒業要件表は、コースの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。尚、機械システムコース卒業要件表の中の「必修選択などの別」の欄には、「必修」、「強く推奨」、「推奨」の別が記載されている。それぞれの意味を下記に示す。

必修・・・本学学案内「3. 授業科目の構成と卒業要件(2)授業科目の種類」に記載されている必修科目

強く推奨・・・選択科目のうち、他の多くの専門科目との関連が強く基礎となる科目であり、そ

これらの科目の履修のために修得することが強く推奨される科目  
 推奨・・・選択科目のうち本コースの卒業生として修得していることが推奨される科目

【全学共通科目】

全学共通科目の履修については、「全学共通科目修学案内(教養教育)」および「全学共通科目シラバス(Web版)」を参照すること。ただし、学問基礎科目、大学入門ゼミ、情報リテラシー、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 学問基礎科目:本コースで学ぶ専門科目に必須な基礎知識となる数学4単位(「数学 C」、「数学 D」:各2単位)、物理学2単位(「物理学 A」)を修得することを強く推奨する。
- ② 必修科目である大学入門ゼミと、情報リテラシーは第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語:創造工学部では、国際インターンシップ等による学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国は、中国、タイ、韓国、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランド等である。これらの国々で国際インターンシップ等希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

【学部開設科目】

学部開設科目は、共通科目と専門科目、卒業研究、自由科目に区分される。以下に履修上の注意を示す。

[共通科目]

共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分かれる。6つの科目群から合わせて19単位以上の修得が必要である。

① 倫理

技術者としての倫理についての理解とその倫理を身に付けることを目標とする科目群である。本科目群は、創造工学倫理の1科目だけからなり、この1単位の修得が必要である。

共通科目 倫理	必修科目	創造工学倫理
------------	------	--------

② コミュニケーション能力

技術者として必要なコミュニケーション能力を身に付けることを目標とする科目群である。本科目群から3単位以上の修得が必要である。

共通科目 コミュニケーション能力	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
	強く推奨科目	技術英語

③ デザイン思考能力

デザイン思考に関する基礎能力の修得を目標とする科目群である。本科目群から4単位以上の修得が必要である。

共通科目 デザイン思考能力	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、 デザイン思考演習
------------------	------	--------------------------------

④ リスクマネジメント能力

リスクマネジメントに関する基礎能力の修得を目標とする科目群である。本科目群から3単位以上の修得が必要である。

共通科目 リスクマネジメント能力	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、 ロジカル思考演習
---------------------	------	---

⑤ 数理的基礎能力

数学、自然科学および情報技術に関する知識を身につけ応用することができることを目標とする科目群である。⑥多角的思考能力の科目群と合わせ8単位以上の修得が必要である。

共通科目 数理的基礎能力	必修科目	微分・積分、線形代数、プログラミング
	推奨科目	確率・統計、ベクトル解析

⑥ 多角的思考能力

機械システム工学分野の専門技術に関する基礎知識と、その基礎知識を工学的問題解決に応用できることを目標とする科目群である。⑤数理的基礎能力と合わせ8単位以上の修得が必要である。

[専門科目]

専門科目は、コース専門科目に分類される。

① コース専門科目

機械システム工学分野の専門技術に関する基礎知識と、その基礎知識を工学的問題解決に応用できることを目標とする科目群である。本科目群から60単位以上の修得が必要である。

専門科目 コース専門科目	必修科目	機械システム実験・実習Ⅰ、機械システム実験・実習Ⅱ、工業数学基礎、材料力学Ⅰ(機械システムコース)、機械製図、機械システム実験・実習Ⅲ、失敗学演習、工業数学、材料力学Ⅱ、工業力学、機械材料、基礎加工学、電気・電子回路Ⅰ、熱力学(機械システムコース)、メカニズム、機械要素、制御工学、機械力学Ⅰ、流体力学Ⅰ、機能設計工学、計測工学、機能美工学演習
	推奨科目	数値解析(機械システムコース)、機械学習、設計工学演習、電気・電子回路Ⅱ、機械力学Ⅱ、流体力学Ⅱ

[卒業研究]

創造工学部および本コースにおける勉学の総仕上げとして、3年次第2学期から、指導教員を選択し(研究室配属)、テーマを設定して研究を行い、卒業論文としてまとめる(8単位、必修)。卒業研究は、研究・開発の様々な過程を経験するための非常に重要な科目である。

[自由科目]

学際的な工学技術への対応に向けた幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部および他学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く)、あるいは単位互換制度を利用して他大学で開講する単位互換科目などから、合計9単位以上を修得すること。なお、本コース指定の学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く)のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位数は、自由科目の単位数として算入することができる。

6. 資格

【教員免許】

「工業」と「情報」の教育職員免許状を取得するための科目を用意している。取得を目指すにあたっては、キャンパス・アドバイザー(CA)と履修計画を相談のこと。



機械システムコース卒業要件表

区分		授業科目名等	単位数	必修選択 などの別	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数	
全学 共通科目	学びと生き 方 科目	生き方科目	ライフデザイン	1	必修	de	⑧②	1単位
			健康・スポーツ	1		d	①	(2単位)
	学び科目	学び科目	大学入門ゼミ	2	必修	a	①	2単位
			情報リテラシーA	1	必修	a	①	2単位
			情報リテラシーB	1	必修	a	①	2単位
			学問への扉	1又は2		b	⑤②	(6単位)
	主題科目		1又は2		bc	⑤②⑨	7単位以上	
	学問基礎科目(文系科目)		2		b	②	4単位以上	
	学問基礎科目(理系科目)		物理学A	2	強く推奨	b	③	4単位以上
			物理学B	2	推奨	b	③	
			物理学P	2		b	③	
			数学C	2	強く推奨	b	③	
			数学D	2	強く推奨	b	③	
	(物理学A,B,P, 数学C,D以外の学問基礎 科目(理系科目))		2		b	③		
広範教養教育科目		1又は2		ab	①② など	(6単位)		
高度教養教育科目		1又は2		ab	①② など	(6単位)		
外国語科目		初修外国語	1又は2		a	①	(1種類)(4単位)	
		既修外国語	1又は2	必修	a	①	6単位以上	
		小計					32単位以上	
学部 開設科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	dbc	⑧②⑤	1単位	
	コミュニケーション能力		対人コミュニケーション	1		a	①	3単位以上
			国際コミュニケーションⅠ	1	必修	a	①	
			国際コミュニケーションⅡ	1	必修	a	①	
			技術英語	2	強く推奨	abc	①②	
			海外工学実務Ⅰ	4		acb	①⑤④	
			海外工学実務Ⅱ	2		acb	①⑤④	
	デザイン思考能力		デザイン概論	1	必修	cb	⑤④	4単位以上
			チームワーキング演習	1	必修	ca	⑤①	
			地域とアート	1		eb	⑨④	
			革新デザイン史	1		bde	④⑧⑨	
			インタラクティブデザイン	1		cb	⑤④	
			Web入門	1		cba	⑤③①	
			デザイン思考演習	1	必修	cda	⑤⑧①	
			色彩学	1		bc	③⑤	
			マルチメディアクリエイティブ入門	1		cba	⑤③①	
			人間工学基礎	1		cb	⑤③	
			感性工学	1		cb	⑤③	
			デザインの潮流	2		bcd	②⑤⑧	
	リスクマネジメント能力		リスクマネジメント概論	1	必修	cdb	⑤⑧②	3単位以上
			リスクコミュニケーション入門	1	必修	cda	⑤⑧①	
			ロジカル思考演習	1	必修	cda	⑤⑧①	
			自然災害科学	1		cbd	⑤②⑧	
			レジリエンス科学	1		cbd	⑤②⑧	
			情報セキュリティ概論	1		cbd	⑤②⑧	
	数理的基礎能力		微分・積分	2	必修	bc	③⑤	8単位以上
			線形代数	2	必修	bc	③⑤	
			プログラミング	2	必修	abc	①③⑤	
			確率・統計	2	推奨	bc	③⑤	
			ベクトル解析	2	推奨	bc	③⑤	
	多角的思考能力		地域企業ニーズ概論	1		bec	②⑨⑤	8単位以上
			工学実務	2		cbe	⑤②⑨	
			科学・技術史	1		bd	②⑧	
文化と情報メディア			1		b	②⑧		
資源・エネルギー論			1		bcd	②⑤⑧		
環境政策			1		bcd	②⑤⑧		
専門科目	コース専門科目	機械システム実験・実習Ⅰ	2	必修	cbd	⑥④⑧	60単位以上	
		機械システム実験・実習Ⅱ	2	必修	bc	④⑥		
		工業数学基礎	2	必修	bc	③④⑤		
		材料力学Ⅰ(機械システムコース)	2	必修	bc	④⑤		
		機械製図	2	必修	cb	⑤④		
		機械システム実験・実習Ⅲ	2	必修	cba	⑥④①		
		失敗学演習	1	必修	cdb	⑤⑧④		
		工業数学	2	必修	bc	③④⑤		
		材料力学Ⅱ	2	必修	bc	④⑤		

区分	授業科目名等	単位数	必修選択 などの別	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数
	工業力学	2	必修	bc	(4)(5)	60単位以上
	機械材料	2	必修	bc	(4)(5)	
	基礎加工学	2	必修	bc	(4)(5)	
	電気・電子回路Ⅰ	2	必修	bc	(4)(5)	
	数値解析(機械システムコース)	1	推奨	bca	(3)(4)(5)(1)	
	機械学習	1	推奨	bca	(3)(4)(5)(1)	
	弾性力学	2		bc	(4)(5)	
	熱力学(機械システムコース)	2	必修	b	(4)	
	メカニズム	2	必修	bc	(4)(5)	
	機械要素	2	必修	bc	(3)(4)(5)	
	設計工学演習	2	推奨	cb	(5)(4)	
	電気・電子回路Ⅱ	2	推奨	bc	(4)(5)	
	制御工学	2	必修	bc	(3)(4)(5)	
	光学(機械システムコース)	2		bc	(4)(5)	
	機械力学Ⅰ	2	必修	bc	(4)(5)	
	流体力学Ⅰ	2	必修	bc	(4)(5)	
	伝熱工学	2		bc	(4)(5)	
	機能設計工学	2	必修	cb	(5)(4)	
	計測工学	2	必修	bcd	(4)(5)(8)	
	電磁気学(機械システムコース)	2		bc	(3)(5)	
	ロボット工学	2		bc	(4)(5)	
	マイクロ・ナノ工学	2		bc	(4)(5)	
	機械力学Ⅱ	2	推奨	bc	(3)(4)(5)	
	流体力学Ⅱ	2	推奨	bc	(4)(5)	
	機能美工学演習	1	必修	cb	(5)(4)	
	現代制御	2		bc	(4)(5)	
	半導体工学	2		bc	(3)(4)(5)	
自動車工学	2		bc	(4)(5)(3)		
卒業研究・卒業制作	卒業研究	8	必修	cab	(7)(1)(4)	8単位
自由科目	(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-	2		bce	(2)(5)(9)	9単位以上
小計						96単位以上
合計						128単位以上

機械システムコース カリキュラム関連表

	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期	
	1年次第1Q	1年次第2Q	1年次第3Q	1年次第4Q	2年次第1Q	2年次第2Q	2年次第3Q	2年次第4Q
	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題	主題
全学共通科目	大学入門ゼミ							
	情報リテラシーA	情報リテラシーB						
	数学C(微積分)							
	数学D(線形代数)							
	物理学A		物理学B					
	物理学P(物理学実験)							
	学問基礎科目		学問基礎科目		学問基礎科目			
	健康・スポーツ		健康・スポーツ					
	初修外国語		初修外国語					
	Communicative English I		Communicative English II		English Writing		English Speaking	
共通科目	倫理							
	コミュニケーション能力				対人コミュニケーション		国際コミュニケーションI	
	デザイン思考能力	デザイン概論		地域とアート	インタラクションデザイン	色彩学	人間工学基礎	感性工学
			チームワーキング演習		デザイン思考演習	Web入門		革新デザイン史
	リスクマネジメント能力	リスクコミュニケーション入門	リスクマネジメント概論	自然災害科学	レジリエンス科学	情報セキュリティ概論		
		ロジカル思考演習						
数理的基礎能力			微分・積分		ベクトル解析		確率・統計	
多角的思考能力			線形代数					
			プログラミング					
専門科目	機械システム実験・実習 I		機械システム実験・実習 II		機械システム実験・実習 III			
					失敗学演習			
			工業数学基礎		工業数学		数値解析(機械システムコース)	機械学習
			材料力学I(機械システムコース)		材料力学II		弾性力学	
					工業力学			
					機械材料		熱力学(機械システムコース)	
					基礎加工学		メカニズム	機械要素
			機械概論				設計工学演習	
					電気・電子回路 I		電気・電子回路 II	
							制御工学	
							光学(機械システムコース)	
自由科目								
卒業研究・卒業制作								

太字は全員必修科目

先頭のボックスは機械技術者をめざす学生の必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨
- 推奨
- 選択



1年次		2年次		3年次		4年次	
a 言語運用能力	基礎的言語運用能力の修得	外国語 (Communicative English I・II, English Writing, English Speaking)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	専門的言語運用能力の修得
	外国語 (初修外国語)	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	卒業研究
b 知識理解	基礎的言語運用能力の修得	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	専門的言語運用能力の修得
	外国語 (初修外国語)	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	卒業研究
c 課題探究能力	基礎的言語運用能力の修得	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	専門的言語運用能力の修得
	外国語 (初修外国語)	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	卒業研究
d 社会的態度	基礎的言語運用能力の修得	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	専門的言語運用能力の修得
	外国語 (初修外国語)	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	卒業研究
e 地域理解	基礎的言語運用能力の修得	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	専門的言語運用能力の修得
	外国語 (初修外国語)	外国語 (初修外国語)	対人コミュニケーション	国際コミュニケーションI	国際コミュニケーションII	技術英語	卒業研究

## 材料物質科学コース

### 1. 教育理念

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、材料物質科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料開発に不可欠です。材料物質科学コースでは「環境材料化学」・「機械材料科学」・「光・電子材料科学」の三分野にわたる幅広い教育研究を実践します。さらに、多面的・全体的な視野を養うデザイン思考教育と材料にかかわるリスクマネジメント能力を養う教育を採り入れて、地域や社会のニーズに応えながら未来の社会を構築する人材を育成します。製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品等、様々な分野で活躍が期待されます。

### 2. コースの説明

材料物質科学コースでは上記した教育理念を達成するために、以下の教育方針を掲げる。

#### 1) 材料工学に関する基礎的な知識の修得

数理的基礎および材料物質科学基礎を重視した教育を実施し、多方面に渡る幅広い材料物質科学の知識を修得するための基礎能力を養成することを目標とする。

#### 2) 総合的な判断力の養成

専門知識の修得を目的とした教育、学際的視野に立った多面的な研究手法や考え方の教育を行うことにより、正しい倫理観を備え材料工学に対する総合的な判断力を養成することを目標とする。

#### 3) 課題設定およびその探求能力と独創的創造力の養成

工学技術者の基礎的素養である課題設定およびその解決能力と「ものづくり」に不可欠な独創的な創造力を養成することを目標とする。

#### 4) コミュニケーション能力の養成と国際化への対応

わかりやすい発表ができるプレゼンテーション能力と発表に対して討論できるコミュニケーション能力を高めることを目標とする。国際的に活躍できるようにするために技術者が必要とする外国語教育を強化する。

### 3. 学習到達目標(コースディプロマ・ポリシー)

材料物質科学コースでは、教育理念・教育方針に従って、以下の学習到達目標の下にカリキュラムを編成する。

言語運用能力	① 総合的な情報処理能力、技術者に求められる正確な日本語能力、国際社会に必要な英語能力などを有し、全般的なコミュニケーションができる。
知識・理解	② 自然科学の基礎知識: 数学、物理学、化学等の知識を有し、自然科学の基礎が理解できる。 ③ 工学的基礎知識: 必要な基礎物理学、材料科学、基礎化学の知識を修得し、材料創造工学における幅広い分野の基礎知識を応用できる。 ④ 多角的思考基礎能力: 人間、社会、科学、環境について文理融合した多角的な思考ができる。

問題解決能力・課題解決能力	<p>⑤ 材料創造の実践力:必要な応用化学・材料工学・応用物理学の知識を修得し、環境材料化学、機械材料科学、光・電子材料科学などの専門知識を実践の場で応用できる。</p> <p>⑥ 材料物質科学専門分野発展のための課題を探求し、基礎知識や専門知識を使って実験データを解析し、問題解決できる。</p>
倫理観・社会的責任	<p>⑦ 倫理観・社会的責任を身につけた技術者として現代社会に貢献できる。</p>
地域理解	<p>⑧ 地域の現状と課題に関心を持ち、自己と関連付けて、また材料物質科学の視点から問題を発見し、探求することが出来る。</p>

#### 4. カリキュラムの内容

材料物質科学コースのカリキュラムは、これらの学習到達目標を達成するために、全学共通科目とのつながりを配慮して作成されている。創造工学部の学部開設科目は、共通科目、専門科目、卒業研究・卒業制作、自由科目に区分される。共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。専門科目は、コース専門科目の科目群に分けられる。

ここでコース専門科目は、材料物質科学の基礎から応用までを網羅した科目群である。

カリキュラム関連表に、科目間の関連と、どの科目がどの科目群に含まれるかが示されている。相互に関連の深い科目は隣接して配置している。

科目を示すボックスの前に小さなボックスが付いている。ボックスが黒色の場合は必修科目を表し、青色の場合は推奨科目のうち、「強く推奨」、黄色の場合は「推奨」であることを表す。必修科目は本コースで修得しなければならない科目、推奨科目(「強く推奨」と「推奨」)は卒業生が備えておくべき知識を扱っており、以降に配置された科目でその知識を前提とする場合があるため、修得することを強く勧める科目である。

#### 5. 卒業要件と履修上の注意

コースの卒業には、卒業要件単位数を修得することに加え、コースごとに設定されている科目群の中から必修科目を含む必要な単位数を修得することが必要である。材料物質科学コース卒業要件表は、コースの卒業要件を示している。以下、科目群ごとの履修上の注意を示す。

##### 【全学共通科目】

全学共通科目は、幅広い教養と総合的判断力、そして豊かな人間性を涵養することを主な目標とする科目である。その履修については、「全学共通科目修学案内(教養教育)」および「全学共通科目シラバス(Web版)」を参照すること。ただし、学問基礎科目(文系科目・理系科目)、初修外国語の履修においては、次の点に注意すること。

- ① 学問基礎科目(文系科目・理系科目): 材料物質科学コースは、数学4単位(「数学C」、「数学D」:各2単位)、物理学4単位(「物理学A」、「物理学B」:各2単位)、「化学D」の修得を強く推奨する。このほか、「物理学P」の修得を推奨する。
- ② 必修科目である大学入門ゼミと、情報リテラシーは第1年次に修得すること。
- ③ 初修外国語: 創造工学部では、国際インターンシップ等による学生派遣を積極的に支援している。協定を結んでいる大学がある国は、中国、タイ、韓国、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランド等である。これらの国々で国際インターンシップ等希望する学生は、積極的に派遣国の言語を修得して欲しい。

## 【学部開設科目】

### [共通科目]

共通科目は、倫理、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力、数理的基礎能力、多角的思考能力の科目群に分けられる。6つの科目群を合わせて19単位以上を修得すること。

#### ① 倫理

技術者倫理の修得を目指す科目である。1単位を修得すること。

倫理(1単位)	必修科目	創造工学倫理
---------	------	--------

#### ② コミュニケーション能力

プロフェッショナルなコミュニケーション能力の修得を目指す科目である。科目群から3単位以上を修得すること。

コミュニケーション能力 (3単位以上)	必修科目	国際コミュニケーションⅠ、国際コミュニケーションⅡ
	強く推奨科目	技術英語
	推奨科目	対人コミュニケーション

#### ③ デザイン思考能力

デザイン思考に関する基礎能力の修得を目指す科目である。科目群から4単位以上を修得すること。

デザイン思考能力 (4単位以上)	必修科目	デザイン概論、チームワーキング演習、デザイン思考演習
	推奨科目	

#### ④ リスクマネジメント能力

リスクマネジメントに関する基礎能力の修得を目指す科目である。科目群から3単位以上を修得すること。

リスクマネジメント能力 (3単位以上)	必修科目	リスクマネジメント概論、リスクコミュニケーション入門、ロジカル思考演習
	推奨科目	

#### ⑤ 数理的基礎能力

工学を学ぶ上で必要な、また当コースで必要な数理的基礎能力を養う科目である。⑤数理的基礎能力と下記の⑥多角的思考能力の科目群で合わせて8単位以上を修得すること。

数理的基礎能力	必修科目	プログラミング、微分・積分、線形代数、ベクトル解析
	推奨科目	

#### ⑥ 多角的思考能力

多角的な視点から工学環境の理解・思索・評価能力の養成を目指す科目である。上記の⑤数理的基礎能力と⑥多角的思考能力の科目群で合わせて8単位以上を修得すること。

多角的思考能力	必修科目	
	推奨科目	

[専門科目]

専門科目は、コース専門科目の科目群が該当する。この科目群から60単位以上修得すること。必修科目と推奨科目を以下の表に示す。

コース専門科目

材料物質科学コースには環境材料科学分野、機械材料科学分野、光・電子材料科学分野の3つの分野で構成され、これらの分野において材料工学の基礎的な知識を養うとともに、材料の設計・開発・評価等の能力の育成を目指す専門性の高い科目で構成される。これらの科目群から60単位以上を修得すること。

コース専門科目	必修科目	工業材料概論Ⅰ、工業材料概論Ⅱ、データ解析・数値計算演習、無機化学Ⅰ、有機化学Ⅰ、電磁気学Ⅰ(材料物質科学コース)、力学、材料力学(材料物質科学コース)、熱力学(材料物質科学コース)、材料物質科学実験Ⅰ 金属材料学、材料組織学Ⅰ、量子力学Ⅰ、材料物質科学実験Ⅱ、材料物質科学演習Ⅰ、物理化学、固体物理学Ⅰ、材料物質科学実験Ⅲ、材料物質科学演習Ⅱ、材料デザイン演習、材料物質科学演習Ⅲ、材料リスクマネジメント演習
	推奨科目	

■学部開設科目は必修科目と多くの選択科目から構成される。必修科目のみならず、選択科目も非常に重要な内容を含んでいるので、積極的に修得すべきである。特に受講を推奨する科目(推奨科目)は、分野ごとに異なるため、上記の表には記載していない。推奨科目については、材料物質科学コースの履修指導の際に、別途指示する。

コース専門科目について材料物質科学コースには、次の3つの分野がある。各分野の特徴は、以下のとおりである。

・環境材料化学分野:

—環境・資源・エネルギー問題を解決する先端材料の創製—

地球上の生命活動を持続するためには、環境を壊さない製品、環境を守るための汚染除去、資源回収リサイクル、クリーンエネルギーなどの開発が重要である。化学・生物学・物理学などの手法を総合的に活用し、環境・資源・エネルギー問題を解決する新規先端材料の創製について学ぶ。

・機械材料科学分野:

—社会経済の発展を支える次世代材料の創製—

強いけれど腰が強く加工しやすい材料、省資源・低コストで高性能な材料を創製し、エネルギーや資源利用効率を飛躍的に向上させるためには、相反する課題を極限まで追求することが重要である。物理や化学の基礎科学、ものづくりにかかわる工学技術の融合を基に、自動車や産業機械で求められる次世代材料開発のための材料科学を学ぶ。

---

・光・電子材料科学分野:

—豊かな社会を切り開く光・電子材料の創製と物性の究明—

わたしたちの生活を豊かにしている画像・音響・情報を扱うコンピュータ・携帯機器などは最先端の光・電子技術に支えられている。新しい原理に基づく光・電子材料の創製やその物性の究明について、物理・化学の基礎を踏まえて学ぶ。

■卒業研究: 本学部における勉学の総仕上げとして、3年次第2学期から指導教員を選択(研究室に配属)し、テーマを設定して研究を行い、卒業論文としてまとめる(8単位の必修)。卒業研究は学んだ知識を研究に活用したり、研究・開発のいろいろな過程を経験したりするための重要なものである。

[自由科目]

学際的な工学技術に対応するための幅広い知識の吸収を意図した科目である。創造工学部だけでなく、他学部の開講科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)あるいは単位互換制度を利用して他大学で開講される単位互換科目から合計9単位以上を修得すること。本学科指定の学部開設科目(教育職員免許状取得のための科目を除く。)のうち、卒業要件単位数を超えて修得した単位数は、自由科目の単位数として算入することができる。

## 6. 資格

【教員免許】

「理科」「工業」の教育職員免許状を取得するための科目を用意している。取得を目指すにあたっては、キャンパス・アドバイザー(CA)と履修計画を相談のこと。

【危険物取扱者】

材料物質科学コースを卒業すると危険物取扱者試験甲種の受験資格が得られる。

材料物質科学コース卒業要件表

区分		授業科目名等	単位数	必修選択 などの別	学部ディ プロマ・ポリ シー	コースディプロ マ・ポリシー	卒業要件単位数	
全学 共通科目	学びと生き 方科目	ライフデザイン	1	必修	de	⑦⑧	1単位	26単位以上
		健康・スポーツ	1		d	①	(2単位)	
		大学入門ゼミ	2	必修	a	①	2単位	
		情報リテラシーA	1	必修	a	①	2単位	
		情報リテラシーB	1	必修	a	①	2単位	
	学問への扉	1又は2		b	②④	(6単位)		
	主題科目		1又は2		bc	⑤②④	7単位以上	
	学問基礎科目(文系科目)		2		b	②③④	4単位以上	
	学問基礎科目(理系科目)	化学D	2	強く推奨	b	②③④	4単位以上	
		物理学A	2	強く推奨	b	②③④		
		物理学B	2	強く推奨	b	②③④		
		物理学P	2	推奨	b	②③④		
		数学C	2	強く推奨	b	②③④		
	数学D	2	強く推奨	b	②③④			
	(化学D、物理学A,B,P、数学C,D以外の学問基礎科目(理系科目))	2		b	②③④			
	広範教養教育科目		1又は2		ab	①②③④	(6単位)	
	高度教養教育科目		1又は2		ab	①②③④	(6単位)	
外国語科目	初修外国語	1又は2		a	①	(1種類)(4単位)		
	既修外国語	1又は2	必修	a	①	6単位以上		
小計							32単位以上	
学部開設科目	倫理	創造工学倫理	1	必修	bcd	④⑤⑦	1単位	19単位以上
		対人コミュニケーション	1	推奨	a	①	3単位以上	
		国際コミュニケーションⅠ	1	必修	a	①		
		国際コミュニケーションⅡ	1	必修	a	①		
		技術英語	2	強く推奨	abc	①②⑤		
	海外工学実務Ⅰ	4		acb	①⑤④	4単位以上		
	海外工学実務Ⅱ	2		acb	①⑤④			
	デザイン概論	1	必修	cb	⑤④			
	チームワーキング演習	1	必修	ca	⑤①			
	地域とアート	1		eb	⑧④			
	革新デザイン史	1		bde	④⑦⑧	3単位以上		
	インタラクションデザイン	1		cb	⑤④			
	Web入門	1		cba	⑤④①			
	デザイン思考演習	1	必修	cda	⑤⑦①			
	色彩学	1		bc	④⑤			
	マルチメディアクリエイティブ入門	1		cba	⑤④①	8単位以上		
	人間工学基礎	1		c	⑤			
	感性工学	1		cb	⑤④			
	デザインの潮流	2		bcd	④⑤⑦			
	リスクマネジメント概論	1	必修	cdb	⑤⑦④			
	リスクマネジメント能力	リスクコミュニケーション入門	1	必修	cda	⑤⑦①	3単位以上	
		ロジカル思考演習	1	必修	cda	⑤⑦①		
		自然災害科学	1		cbd	⑤⑦④		
		レジリエンス科学	1		cbd	⑤⑦④		
		情報セキュリティ概論	1		cbd	⑤⑦④		
	数理的基礎能力	微分・積分	2	必修	abc	①②⑥	8単位以上	
		線形代数	2	必修	bc	②⑥		
		プログラミング	2	必修	ac	①⑥		
		確率・統計	2		bc	②⑥		
		ベクトル解析	2	必修	bc	②⑥		
	多角的思考能力	地域企業ニーズ概論	1		bec	④⑧⑤	8単位以上	
		工学実務	2		cbe	⑤④⑧		
		科学・技術史	1		bd	④⑦		
		文化と情報メディア	1		b	④		
		資源・エネルギー論	1		bcd	④⑤⑦		
		環境政策	1		bcd	④⑤⑦		
		工業材料概論Ⅰ	2	必修	bc	③④⑤⑥		
計算機入門	2		b	②③				
工業材料概論Ⅱ	2	必修	bc	③④⑤⑥				
データ解析・数値計算演習	1	必修	abc	①②⑥				
無機化学Ⅰ	2	必修	bc	②③⑤⑥				
有機化学Ⅰ	2	必修	bc	②③⑤⑥				
電磁気学Ⅰ(材料物質科学コース)	2	必修	bc	②③⑤⑥				
力学	2	必修	bc	②③⑤⑥				
材料力学(材料物質科学コース)	2	必修	b	②③⑤⑥				
熱力学(材料物質科学コース)	2	必修	bc	②③⑤⑥				

区分	授業科目名等	単位数	必修選択 などの別	学部 ディプロマ・ ポリシー	コース ディプロマ・ ポリシー	卒業要件単位数	
学部開設科目 専門科目	コース専門科目	材料物質科学実験Ⅰ	1	必修	bc	②③④⑤⑥	60単位以上
		ビッグデータ解析	2		b	②③	
		電子回路	2		b	②③	
		無機化学Ⅱ	2		bc	②③⑤⑥	
		有機化学Ⅱ	2		bc	②③⑤⑥	
		材料組織学Ⅰ	2	必修	bc	②③⑤⑥	
		量子力学Ⅰ	2	必修	bc	②③⑤⑥	
		電磁気学Ⅱ(材料物質科学コース)	2		b	②③⑤⑥	
		統計力学	2		bc	②③⑤⑥	
		金属材料学	2	必修	bc	②③⑤⑥	
		材料物質科学実験Ⅱ	3	必修	bc	②③④⑤⑥	
		材料物質科学演習Ⅰ	1	必修	bc	②③④⑤⑥	
		信頼性工学	2		b	②③	
		マイクロ・ナノ工学	2		bc	②③	
		固体物理学Ⅰ	2	必修	b	②③	
		量子力学Ⅱ	2		bc	②③⑤⑥	
		流体力学入門	2		bc	②③⑤⑥	
		物理化学	2	必修	bc	②③⑤⑥	
		材料強度学Ⅰ	2		bc	②③⑤⑥	
		光学(材料物質科学コース)	2		bc	②③⑤⑥	
		環境分析化学	2		bc	②③⑤⑥	
		材料物質科学実験Ⅲ	3	必修	bc	②③④⑤⑥	
		材料物質科学演習Ⅱ	1	必修	bc	②③④⑤⑥	
		材料物質科学特別講義	2		bc	②③④⑤⑥	
		材料デザイン演習	1	必修	bc	②③④⑤⑥	
		固体物理学Ⅱ	1		bc	②③⑤⑥	
		高分子化学	2		bc	②③⑤⑥	
		材料強度学Ⅱ	2		bc	②③⑤⑥	
		材料組織学Ⅱ	2		bc	②③⑤⑥	
		無機工業材料	2		bc	②③⑤⑥	
		材料物質科学演習Ⅲ	1	必修	bc	②③④⑤⑥	
		材料リスクマネジメント演習	1	必修	bc	③④⑤	
		電子材料物性Ⅰ	1		bc	②③⑤⑥	
固体物理学Ⅲ	1		bc	②③⑤⑥			
固体物理学Ⅳ	1		bc	②③⑤⑥			
電子材料物性Ⅱ	1		bc	②③⑤⑥			
量子化学	1		bc	②③⑤⑥			
エネルギー化学	1		bc	②③⑤⑥			
卒業研究・卒業制作	卒業研究	8	必修	abc	①②③④⑤⑥⑦	8単位	
自由科目	(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 ー素材・技術・歴史ー	2		bce	④⑦⑧	9単位以上	
小計						96単位以上	
合計						128単位以上	



3年次前期		3年次後期		4年次前期		4年次後期	
3年次第1Q	3年次第2Q	3年次第3Q	3年次第4Q	4年次第1Q	4年次第2Q	4年次第3Q	4年次第4Q
Academic English I ※1		Academic English I ※1					
		<b>創造工学倫理</b>					
<b>国際コミュニケーションII</b>				対人コミュニケーション			
技術英語							
海外工学実務 I、II ※2							
		デザインの潮流					
		人間工学基礎		感性工学		インタラクションデザイン	
						色彩学	
確率・統計							
				環境政策			
		科学・技術史		文化と情報メディア		資源・エネルギー論	
				信頼性工学		ビッグデータ解析	
環境分析化学		無機工業材料		マイクロ・ナノ工学		電子回路	
		高分子化学					
光学(材料物質科学コース)							
量子力学II							
材料強度学I		材料強度学II					
		材料組織学II					
流体力学入門							
<b>固体物理学I</b>		固体物理学II		固体物理学III		固体物理学IV	
				電子材料物性I		電子材料物性II	
		量子化学		エネルギー化学			
<b>材料物質科学実験III</b>							
<b>材料物質科学演習II</b>		<b>材料物質科学演習III</b>					
材料物質科学特別講義							
		<b>材料デザイン演習</b>		<b>材料リスクマネジメント演習</b>			
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-							
						<b>卒業研究</b>	

**赤字は全員必修科目**

先頭のボックスは材料物質科学コースの必修、強く推奨、推奨、選択を表す。

- 必修
- 強く推奨
- 推奨
- 選択

※1: TOEIC670点、実用英検準1級以上等による単位認定でCommunicative English I / IIの単位を取得した学生は、1年次生からの履修も可能である。  
 ※2: 海外工学実務は派遣期間の長さによりIまたはIIの履修のいずれかとみなされます。実際の派遣期間は3年次前期に限らず、派遣先との相談により在学中のいずれかの時期に調整します。



## 4. 履修手続について

授業科目を履修するためには、所定の手続を行わなければならない。  
手続を怠った場合、試験を受けても採点されず、単位も与えられない。

**1. 教務システム(Campus Xs:カダサポ)での履修登録等(第1学期4月、第2学期9月下旬)  
クォーター型科目は5月下旬及び11月中旬～下旬にも履修登録期間あり。**

- ・ 学内LANに接続されたコンピュータ端末(各自のノートPC・スマートフォンあるいは6403演習室、図書館、幸町キャンパスの情報メディアセンターの端末等)又は学外ネットワークから、ホームページに接続し、所定の登録期間(※)内に、履修を希望する授業科目を、学生自身で登録する(入力方法等の詳細については、パンフレット「香川大学教務システム」を参照すること)。

※ 教務システムでの履修登録期間については、別途掲示等により周知する。



**履修登録完了！！**

教務システムによる履修登録が完了して、初めて履修登録が有効となる。

## 5. 履修制限について

### (1) 履修制限とは

本学部では、卒業までの間に、学生の卒業要件単位の修得状況を審査し、一定の条件に達していないと判定された学生には、以後の履修を制限する制度を設けている。

第3年次第1学期終了時：所定の卒業要件単位を修得していない学生に対し、卒業研究・卒業制作への着手を認めない。

上記の履修制限を科されると、1年間の足踏み状態となり、卒業が遅れることにもつながるので、注意すること。

## (2) 卒業研究・卒業制作着手の制限(前記)

第3年次第1学期終了時まで、卒業要件単位において、以下の3つの条件を満たしていない場合、第3年次第2学期からの卒業研究・卒業制作着手(研究室配属)を認めない。

**条件1** 全学共通科目の卒業要件単位数32単位のうち、30単位以上修得すること。

**条件2** 学部開設科目の卒業要件単位数96単位のうち、54単位以上修得すること。

**条件3** コースごとに定める以下の「学部開設科目」を修得すること。

コース名	学部開設科目	
	共通科目	専門科目
造形・メディアデザインコース	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、1科目(編入生の 場合は2科目)の未修得 を認める。	第2年次第1学期までに 配当されているすべての 必修科目を修得してい ること。(ただし、1科 目の未修得を認める。)
建築・都市環境コース	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、2科目(編入生の 場合は3科目)の未修得 (数理的基礎能力は1科 目まで)を認める。	第2年次第1学期までに 配当されているすべての 必修科目を修得してい ること。(ただし、コ ース専門科目のうち1 科目の未修得を認める。)
防災・危機管理コース	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、3科目(編入生の 場合は4科目)の未修得 を認める。	第2年次第1学期までに 配当されているすべての 必修科目を修得してい ること。(ただし、1科 目の未修得を認める。)
情報コース 情報システム・セキュリティプログラム	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、1科目(編入生の 場合は2科目)の未修得 を認める。	第2年次第1学期までに 配当されているすべての 必修科目及び情報シ ステムセキュリティ実 験Ⅰを修得しているこ と。(ただし、情報工 学概論と情報システ ムセキュリティ実 験Ⅰを除く、1科 目の未修得を認める。)

情報コース 情報社会プログラム	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、1科目(編入生の 場合は2科目)の未修得 を認める。	第2年次第1学期までに配当されているすべての必修科目及び情報社会実験Ⅰを修得していること。(ただし、情報工学概論と情報社会実験Ⅰを除く、1科目の未修得を認める。)
人工知能・通信ネットワークコース	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、2科目までの未修 得を認める。	第2年次第1学期までに配当されているすべての必修科目及び人工知能・通信ネットワーク実験Ⅰを修得していること。ただし、人工知能・通信ネットワーク実験Ⅰを除く1科目(電気回路Ⅰと電気回路演習Ⅰはまとめて1科目とみなす)の未修得を認める。
機械システムコース	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、2科目の未修得を 認める。	第2年次第1学期までに配当されているすべての必修科目を修得していること。ただし、機械システム実験・実習Ⅰ～Ⅲを除く2科目の未修得を認める。
材料物質科学コース	第2年次第1学期までに 配当されている学部共通 科目の必修科目をすべ て修得していること。た だし、3科目(編入生の 場合は4科目)の未修得 を認める。	第2年次第1学期までに配当されているすべての必修科目のうち5科目以上の修得及び材料物質科学実験Ⅱ、材料物質科学実験Ⅲ、材料物質科学演習Ⅰ、材料物質科学演習Ⅱを修得していること。

※ただし、編入生の場合は、1年次第2学期(第3、4クォーター)配当科目を含めない。

制限解除：1年後に再び審査し、上記3つの条件が満たされた場合に、卒業研究・卒業制作着手(研究室配属)が認められる。

— 余裕を持って履修計画を立て、単位を修得しよう！ —

卒業研究・卒業制作着手要件は、最低限の「必要条件」であって、「十分条件」ではない。「超低空飛行」、「駆け込み乗車」は事故のもと。「留年は覚悟の上」というのなら、それも結構だが、授業料は誰が払うのかな？

### 注意

卒業要件単位数については、この修学案内の「Ⅰ. 教育課程 3. 授業科目の構成と卒業要件」及び「Ⅱ. 履修方法 2. 科目履修のルール」をよく読んでおくこと。

---

**【参考】卒研配属でよくあるまちがい!!!**

■全学共通科目の場合

合計30単位を修得したけど、よくみると・・・

○ライフデザイン科目を2科目とっていた

1単位までしか卒業要件にならないので実質29単位・・・配属不可

○上限のある科目群(「( )」がつけられているもの)を( )以上の単位をとっていた

たとえば、学問への扉を8単位とっていた、学問への扉は「(6単位)」となっているから  
実質28単位・・・配属不可

○学問基礎科目で同じ名前の科目を3科目(6単位)とっていた

同じ名前の科目は、2授業4単位までしか卒業要件に入らないから実質4単位  
・・・配属不可

※卒業研究・卒業制作着手の全学共通科目の条件30単位は、卒業要件単位数32単位に対して、あと2単位足りない状態までなら、配属を認めるものです。

※卒業要件単位(合計)の32単位という条件は、各科目区分(ライフデザインや学問への扉、学問基礎科目(理系科目)などなど)それぞれで定めた個々の小さな条件(卒業要件単位数)から成り立っています。好きな科目だけをとって32単位を充たしても卒業はできません。

などなど、まちがいは生じてしまうので、まちがえないように、「全学共通科目修学案内」も本紙と併せて読むこと!

■学部開設科目の場合

○コースごとに条件が定められている

自分のコースの条件と他のコースの条件を間違えた・・・配属不可

○「必修科目」と配当年次

第2年次1学期までにとらないといけない科目をとっていない、先延ばした・・・配属不可

※これらのことなどを踏まえて、学生は自己の責任において履修する科目を決定し、所定の期間内に登録の手続きをしなければなりません!!!

## 6. 試験及び成績評価について

### (1)試験の種類

#### a) 定期試験

定期試験には、以下の2つがある。

学期末試験	7月下旬～8月上旬実施	第1学期に行われた授業が対象
学年末試験	2月上～中旬実施	第2学期又は年間を通じて行われた授業が対象

試験の時間割は、試験開始日の2週間前までに、別途掲示等により周知する。

クォーター型科目は、授業科目によっては各クォーター末に定期試験等が行われる。

#### b) 追試験

追試験とは、定期試験を正当な理由で受験できなかった場合において、別途実施する試験である。

試験を休んだ日の翌日から7日以内に、「追試験願」及び以下の証明書類を、学務係へ提出すること。なお、正当な理由と判断されない場合は、追試験を許可しない。

また、追試験の日に受験できなかった場合、追試験の追試験は実施しない。

(定期試験を欠席した理由と証明書類)

定期試験を欠席した理由	「追試験願」に添付する証明書類
天災その他の非常災害	特になし
交通機関の突発事故	遅延証明書(公共交通機関の場合)、事故証明書(車等運転時の事故)など
負傷又は疾病	診断書
三親等内の親族の死亡による忌引	死亡通知書など
就職試験の受験	就職試験の通知文(日時・場所・試験内容等がわかるもの)など なお、会社説明会参加については、選考会を兼ねるものにつきのみ追試を認める。
その他創造工学部が相当と認める理由	事前に学務係に申し出ること。

#### c) 再試験

再試験とは、不合格となった授業科目について再度行う試験である。

創造工学部の学部開設科目の再試験は、4年次に履修し、不合格となった授業科目に限り、6単位を上限として許可することがある。ただし、実験、演習及び実習の授業科目については、再試験を行わない。また、再試験の日に受験できなかった場合、再試験の追試験は実施しない。

成績発表の日から7日以内に、「再試験願」を、学務係へ提出すること。

また、全学共通科目についても、上記と同様の条件で、再試験を許可することがある。

---

## (2)成績評価

成績は、下記の評語(評価)をもって表す。ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語(評価)を用いることがある。

授業科目によっては、履修態度、小テスト、レポート等によって成績評価を付けるものもあるので、定期試験さえできれば良いというものではない。

評語(評価)	評 点
秀(S)	90点～100点
優(A)	80点～89点
良(B)	70点～79点
可(C)	60点～69点
不可(X)	59点以下

(不可(X)は、不合格とする。)

※成績に異議がある場合は、成績評価結果に対する異議申立てができる。

## (3)受験心得

全学共通科目の受験に当たっては、「全学共通科目修学案内(教養教育)」を参照すること。

創造工学部の学部開設科目の受験に当たっては、以下に示す「創造工学部開設科目の受験心得」に従うこと。また、他学部の開設科目の受験に当たっては、当該学部の修学案内を参照すること。

---

### 創造工学部開設科目試験の受験心得

- 1) 履修の手続を経て受講した授業科目の試験に限り、受験することができる。
- 2) 受験に際しては、必ず学生証を携行し、試験中は机上の監督者が確認しやすい位置に、写真の面を上にして置くこと。万一、学生証を忘れた場合には、試験開始前に創造工学部学務係(幸町キャンパスの場合は、創造工学部事務分室)に申し出て、仮学生証(発行当日限り有効)の交付を受けること。
- 3) 試験開始の時刻に遅刻した者は、受験できない。ただし、やむを得ない理由のある場合は、試験開始後15分までの遅刻を認める。
- 4) 試験中は、筆記具、鉛筆削り、消しゴム及び特に許可された物品以外の所持品は、机の下に置くこと(机の中や椅子の上には置かないこと)。携帯電話等は電源をオフにしておくこと。
- 5) 試験開始後速やかに学部、学籍番号、氏名等を記入すること。
- 6) 試験中は、不正行為(禁止物の持ち込み、他人の答案の窃視、携帯電話等の利用、私語及び物品の貸借、その他試験毎に禁止されている事項)はしないこと。試験中に、それら不正行為をした者に対しては、学則第84条第1項(この事項に関する旧学則を含む。)に基づき懲戒する。
- 7) 試験開始後15分を経過しなければ退室できない。退室に際しては、必ず答案用紙を監督教員に提出すること。また、一度退室した者は、再び入室できない。
- 8) その他、受験に際しては、監督教員の指示に従うこと。

## 試験における不正行為が生じた場合の取扱いに関する申合せ(抜粋)

- 2 不正行為をした学生の当該学期の授業科目の成績は、原則として全て無効とする。
- 3 不正行為をした学生の処分等の取扱いは、当該学部の教授会で審議する。
- 4 前項の審議により香川大学学則第84条第1項に規定する懲戒処分が相応と決定した場合は、学長に懲戒処分の申請を行うものとする。

### (4)GPAによる成績評価について

GPA(Grade Point Average)制度は、アメリカの大学において、一般的に用いられている学生の成績評価システムである。一人の学生が修得してきた授業科目の成績評語(評価)ごとに、以下の表のように GP(Grade Point)を与え、それを平均したものを GPA(Grade Point Average)という。

評語(評価)	評 点	GP
秀(S)	90点～100点	4
優(A)	80点～89点	3
良(B)	70点～79点	2
可(C)	60点～69点	1
不可(X)	59点以下	0

$$\text{GPA} = \frac{\text{Sの修得単位数} \times 4 + \text{Aの修得単位数} \times 3 + \text{Bの修得単位数} \times 2 + \text{Cの修得単位数} \times 1}{\text{※履修登録単位数}}$$

本学部では、履修登録科目の上限単位数を超えて履修登録を行うこと、早期卒業、本学大学院創発科学研究科への飛び入学を希望する学生について、一定レベル以上のGPAを求めている。

※不可の単位を含む。また、同じ科目を何度も再履修した場合は、再履修の都度の履修登録単位を含む。

## 7. 授業について

### (1) 休講・補講

・休講・補講の連絡は、別途掲示等により周知する。また、教務システムにも掲載する。

<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/about-class/30394/>

### (2) 授業の出席について

学部開設科目の講義および演習においては時間の3分の2以上、実験・実習においては原則としてすべて出席しなければ、その授業科目の単位を認定しません。ただし、学部長が正当な理由があると認めた場合は、この限りではありません。

詳細はIV. 諸規則「香川大学創造工学部規程」を参照のこと。

### (3) 授業の欠席について

授業を欠席する場合は、欠席届に証明書等を添付し事前に提出すること。事前に欠席届を提出することができない場合であっても、欠席した授業日の翌日から1週間以内に欠席届を提出すること。なお、欠席日の翌日から1週間以内に提出できない場合であっても、正当な理由を証明できる場合はその限りではない。

詳細は、IV. 諸規則「香川大学授業の欠席の取扱いに関する要項」及び「香川大学創造工学部開設科目に係る欠席届取扱要項」を参照のこと。

### (4) 気象に関する警報の発表等の場合における休講措置について

#### ① 特別警報の発表による場合

各キャンパスの所在する地域に特別警報の発表があった場合は、当該キャンパスの全ての授業を直ちに中止する。

#### ② 気象警報の発表による場合

##### ・昼間の授業について

指定する地域に、大雨、洪水、暴風又は大雪の警報が、午前6時30分に発表されている場合は休講とする。午前6時30分以降に発表された場合は、発表された時刻以降に開始する授業を休講とする。

ただし、午前10時30分の時点で警報が解除されている場合で、かつ、それ以降に発表されないときは、午後1時以降に開始される授業を実施する。

##### ・夜間の授業(午後6時以降に開始する授業)について

指定する地域に、大雨、洪水、暴風又は大雪の警報が、午後3時に発表されている場合は休講とする。午後3時以降に発表された場合は、発表された時刻以降に開始する授業を休講とする。

##### ・上記の指定する地域とは、次のとおり

幸町キャンパス及び林町キャンパスは高松市とし、医学部キャンパス及び農学部キャンパスは、高松市又は三木町とする。

なお、居住地の気象状況又は交通機関の運休等により、登校できなかった学生については、補講等により個別に対応するものとする。

- 
- ・ 休講措置となった場合においては、電話連絡等を行わない。
  - ・ 定期試験期間中においても、上記と同じ取扱いとする。

#### (5) 不正行為について

定期試験の不正行為以外でも懲戒処分の対象になる可能性があります。

- 例) 友人の課題レポートをコピーして提出した。  
他人の作品のアイデアを盗用した。  
欠席届の添付書類(診断書など)を改ざんして提出した。

など

---

### Ⅲ. その他



## 1. キャンパス・アドバイザー制度について

### クラスについて

学生は、各コースで約20名ずつにグループ分けされる。このグループを、「クラス」と呼ぶ。

- ・ 学生は、入学してから研究室配属されるまでクラスに所属する。
- ・ 各クラスには、1名の担任(キャンパス・アドバイザー「略して CA と呼ぶ。）」がつく。また、同じ学年の CA の一人が学年担任となる。

### キャンパス・アドバイザー (CA) とは

「CA は、大学生活に関する学生諸君のあらゆる相談相手になります。」

例えば、

- ・ 授業の履修方法のこと。
- ・ 日常生活の悩み事。
- ・ 将来の進路のこと。 etc

次のような問題がある時は、必ず最初に CA に連絡・相談すること。

- ・ 退学・休学をしたい。
- ・ 転学部・転コースをしたい。

どうしてもCAに相談しにくい場合は、他の教員や学務係に相談しても結構です。

## 2. 学生表彰制度について

本学部では、特に学業成績が優秀である学生や学内外での課外活動・社会活動等で顕著な功績をあげた学生を、卒業式の日に表彰している。

- ・ 創造工学部長賞  
卒業時点において、秀と優を換算した比率 $((1.5s+a)/(s+a+b+c))$ ； $s$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $c$  はそれぞれ秀、優、良、可の取得単位数が、各コースで1位の者を表彰する。ただし、全学的に表彰された者は除く。  
なお、対象とする科目は、単位取得した学部開設科目とし、編入生は本学部に入ってから単位取得した学部開設科目とする。

- ・ 創造工学部特別賞  
本学部の全学生又は主として本学部の学生で構成する団体(以下「者」という。)を対象に、被表彰候補者を選出する。ただし、全学的に表彰された者は除く。

次の各号各事項のいずれかに該当する顕著な功績があった者を、被表彰候補者とする。

- (1) 学術研究活動
  - (イ) 研究に対する賞を受賞した者
  - (ロ) 研究が新聞、学会誌等に掲載され高い評価を得た者
  - (ハ) 特に取得が困難とされる資格を取得した者
- (2) 課外活動
  - (イ) 国際規模の大会等に選拔され出場した者
  - (ロ) 全国規模の大会等に出場し入賞した者
  - (ハ) 四国地区の大会等で優勝した者
  - (ニ) その他(イ)から(ハ)に準ずる成績を収めた者
- (3) 社会活動
  - (イ) ボランティア活動が社会的に高い評価を受けた者
  - (ロ) 学内の環境整備等に特に貢献した者
  - (ハ) 本学部の名誉を高める行為を行った者
  - (ニ) その他(イ)から(ハ)に準ずる活動を行ったと認められる者

- ・ 創造工学部後援会長賞  
卒業時点における成績を、各コースにおいて成績換算値 $(5s+4a+2b+c)$ ； $s$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $c$ はそれぞれ秀、優、良、可の取得単位数が1位の者を表彰する。ただし、全学的に表彰された者は除く。  
なお、対象とする科目は、単位取得したすべての科目とする。  
被表彰者が、香川大学創造工学部長賞の被表彰者と同一人である場合は、次順位者を被表彰者とする。

### 3. 授業科目名英訳

造形・メディアデザインコース

(Program in Media and Product Design; MPD)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
インタラクションデザイン	Interaction Design
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
色彩学	Color Science
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理的基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
基礎数学演習	Seminar in Basic Mathematics
基礎物理学演習	Seminar in Basic Physics
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
フーリエ解析基礎	Basics of Fourier Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
工学実務	Internship
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
造形基礎演習 I	Basics of Arts and Crafts I
造形基礎演習 II	Basics of Arts and Crafts II
サービス・イノベーション創造演習	Service Innovation Creation Practice
計算機入門	Computer Systems
造形・メディアデザイン基礎演習	MPD Basic Practice
デザイン手法論	Design Methodology
デジタルグラフィックス演習	Digital Graphics Exercises
中級プログラミング(造形・メディアデザインコース)	Intermediate Programming
CAD I	CAD I
材料力学(造形・メディアデザインコース)	Mechanics of Materials
映像・画像・音声処理技術概論	Introduction to Video, Image, Audio Processing Technology
構造力学	Structural Mechanics
線形計画法	Linear Programming
非線形計画法	Nonlinear Programming
メディア文化論	Media Cultrure

## 造形・メディアデザインコース

(Program in Media and Product Design: MPD)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
造形・メディアデザイン演習	MPD Practice
概念展開論	Theory of Concept Development
概念展開論演習	Exercise on Theory of Concept Development
ヒューマンインタフェース	Human Interface
データ・ヴィジュアルイゼーション	Data Visualization
CAD II	CAD II
プロダクトデザイン演習 I	Exercise on Product Design I
サービスデザイン	Service Design
製品設計における最適化法	Optimization Theory on Product Design
数値解析(造形・メディアデザインコース)	Numerical Analysis
パターンマイニング	Pattern Mining
Webシステム開発	Practice in Web System
UX概論	Introduction to UX
ブランディングデザイン演習	Exercise on Branding Design
プロダクトデザイン演習 II	Exercise on Product Design II
造形・メディアデザイン論	MPD Theory
データ分析概論	Introduction to Statistical Data Analysis
認知科学	Cognitive Science
教育工学	Educational Technology
生活プロダクトデザイン論	Theory of Product Design and Lifestyle
PBL I	PBL I
シミュレーションデザイン	Simulation Design
ビジネスプラン基礎	Business Plan Basics
ビジネスクリエーション	Business Creation
プレゼンテーション論	Theory of Design Presentation
PBL II	PBL II
UXデザイン演習	Exercise on UX Design
人工知能	Artificial Intelligence
プロダクトデザイン演習 III	Exercise on Product Design III
LeanStartup概論	Introduction to Lean Startup
サービス工学	Service Engineering
教育メディア	Educational Media
ビジネスプロダクトデザイン論	Theory of Product Design and Business
近似論	Approximate Theory
力学・振動学基礎	Fundermental of Mechanics and Vibration
製品材料学	Product Materials Science
企画・プロデュース論	Launch Strategy
社会・観光情報デザイン	Social / Tourist Information Design
ビジネスプラン演習	Exercise on Business Plan
PBL III	PBL III
地域社会とコンテンツ	Local Societies and the Contents
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論 I	Career Guidance I
職業指導概論 II	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法 I	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法 II	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
卒業制作	Graduation Production
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-	Aluminum Studies -Materials, Technology and History-

建築・都市環境コース

(Program in Architecture, Civil and Environmental Engineering; ACE)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
インタラクションデザイン	Interaction Design
Web入門	Introduction to Web
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
色彩学	Color Science
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理的基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
工学実務	Internship
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies

建築・都市環境コース

(Program in Architecture, Civil and Environmental Engineering: ACE)

授業科目	英 訳
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
都市環境デザイン概論	Introduction to Architecture, Civil and Environmental Engineering
環境と都市のリスク	Environmental Risk and Urban Risk
防災危機管理概論	Introduction to Disaster Prevention and Risk Management
災害史	Historical Disaster
建築設計基礎	Basic Architectural Design
住環境学	Quality of Life Design
気象災害科学	Meteorological Disaster Science
リスクマネジメント	Risk Management
土質力学Ⅰ	Soil Mechanics I
景観デザイン論	Landscape Design
構造力学Ⅰ	Structural Mechanics I
建設材料学	Construction Materials
測量学	Surveying
測量実習	Practices in Surveying
くらしと建設の技術史	History of Civil and Architectural Engineering Technology
建築計画学	Architectural Planning
建築設計Ⅰ	Architectural Design I
構造・土質力学演習Ⅰ	Exercises in Structural / Soil Mechanics I
環境工学	Environmental Engineering
物理探査学	Exploration Geophysics
防災情報科学	Disaster Prevention Information Science
レジリエンスデザイン	Resilience Design
水資源と水循環の科学	Science of Water Resources and Hydrological Cycle
水理学Ⅰ	Hydraulics I
土質力学Ⅱ	Soil Mechanics II
環境生態学	Environmental Ecology
構造力学Ⅱ	Structural Mechanics II
河川環境マネジメント	River Basin Environmental Management
建築設計Ⅱ	Architectural Design II
水環境マネジメント演習	Exercises in Water Environmental Management
構造・土質力学演習Ⅱ	Exercises in Structural / Soil Mechanics II
建築構法	Building Systems
空間情報解析学	Spatial Information Analysis
水理学Ⅱ	Hydraulics II
振動学	Vibration Engineering
都市・地域計画学	Urban and Regional Planning
海域環境マネジメント	Coastal Environmental Management
鉄筋コンクリート構造	Reinforced Concrete Structure
水環境マネジメント実験	Experiments in Water Environmental Management
地盤工学実験	Experiments in Geotechnical Engineering
建築設備	Building Equipment
建設リスクマネジメント	Construction Risk Management
地震工学	Earthquake Engineering
緑化の理論と技術	Theory and Practice of Greening
建築設計Ⅲ	Architectural Design III
構造設計学	Structural Design
都市システム再生工学	Management for Urban Regeneration
コンクリート実験	Experiments in Concrete
住環境デザイン演習	Exercises in Quality of Life Design
建築法規	Architectural Legislation

建築・都市環境コース

(Program in Architecture, Civil and Environmental Engineering; ACE)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論 I	Career Guidance I
職業指導概論 II	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法 I	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法 II	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 ―素材・技術・歴史―	Aluminum Studies ―Materials, Technology and History―

防災・危機管理コース

(Program in Disaster and Crisis Management: DCM)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
インタラクションデザイン	Interaction Design
Web入門	Introduction to Web
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
色彩学	Color Science
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理的基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
工学実務	Internship
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
防災危機管理概論	Introduction to Disaster Prevention and Risk Management
都市環境デザイン概論	Introduction to Architecture, Civil and Environmental Engineering
災害史	Historical Disaster
防災基礎数理	Basic Mathematics for Disaster Prevention
計算機入門	Computer Systems
WEBデザイン	WEB Design
線形計画法	Linear Programming
空間情報解析学	Spatial Information Analysis
空間情報解析演習	Exercise in Spatial Information Analysis
地震工学	Earthquake Engineering
気象災害科学	Meteorological Disaster Science
防災ボランティア講座	Disaster Preparedness Volunteers
中級プログラミング	Intermediate Programming

防災・危機管理コース

(Program in Disaster and Crisis Management; DCM)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
情報数学	Information Mathematics
インターネット	Internet
オペレーティング・システム	Operating Systems
土質力学 I	Soil Mechanics I
構造力学 I	Structural Mechanics I
測量学	Surveying
測量実習	Practices in Surveying
構造・土質力学演習 I	Exercises in Structural / Soil Mechanics I
非線形計画法	Nonlinear Programming
ビッグデータ解析	Statistical Analysis of Big Data
物理探査学	Exploration Geophysics
防災情報科学	Disaster Prevention Information Science
レジリエンスデザイン	Resilience Design
防災ボランティア実習	Disaster Preparedness Training
被害想定と防災計画	Damage Estimation and Disaster Prevention Plan
データ構造とアルゴリズム	Data Structures and Algorithms
アルゴリズム演習	Exercise in Algorithms
ヒューマンインタフェース I	Human Interface I
データベース	Database
ソフトウェア工学	Software Engineering
情報理論	Information Theory
水理学 I	Hydraulics I
土質力学 II	Soil Mechanics II
構造力学 II	Structural Mechanics II
河川環境マネジメント	River Basin Environmental Management
水環境マネジメント演習	Exercises in Water Environmental Management
構造・土質力学演習 II	Exercises in Structural / Soil Mechanics II
経営危機管理マネジメント	Business Risk Management
リスクマネジメント	Risk Management
リスクマネジメント演習(防災・危機管理コース)	Exercises in Risk Management
災害行動と被災者支援	Disaster Action and Support for Victims
信頼性工学	Reliability Engineering
信頼性工学演習	Exercise in Reliability Engineering
情報セキュリティ I	Information Security I
Webシステム開発	Practice in Web System
水理学 II	Hydraulics II
地質工学	Engineering Geology
振動学	Vibration Engineering
海域環境マネジメント	Coastal Environmental Management
建設リスクマネジメント	Construction Risk Management
災害・危機管理と法	Disaster, Crisis Management and Law
サービス工学	Service Engineering
地域・国際活動論	Introduction to Regional and International Activities
復旧・復興デザイン	Restoration, Revival Design
災害調査法	Disaster Investigation Method
危機管理実習	Practices in Crisis Management
モデリングとシミュレーション	Modeling and Simulation
事業継続マネジメント	Business Continuity Management
防災危機管理セミナー	Disaster Prevention and Crisis Management Seminar
人工知能	Artificial Intelligence

防災・危機管理コース

(Program in Disaster and Crisis Management: DCM)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論 I	Career Guidance I
職業指導概論 II	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法 I	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法 II	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 —素材・技術・歴史—	Aluminum Studies —Materials, Technology and History—

情報コース

(Program in Informatics)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
インタラクションデザイン	Interaction Design
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
色彩学	Color Science
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理的基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
基礎数学演習	Seminar in Basic Mathematics
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
工学実務	Internship
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
情報工学概論	Introduction to Informatics
情報システム工学	Information Systems Engineering
数理演習	Exercise on Mathematics and Science
計算機入門	Computer Systems
論理回路	Logic Circuits
WEBデザイン	Web Design
線形計画法	Linear Programming
中級プログラミング	Intermediate Programming
情報数学	Information Mathematics
インターネット	Internet
オペレーティング・システム	Operating Systems
計算機アーキテクチャ	Computer Architecture
非線形計画法	Nonlinear Programming
情報システム基盤構築	Building Out Information System Platform
情報とビジネス	Information and Business
ビッグデータ解析	Statistical Analysis of Big Data
レジリエンスデザイン	Resilience Design
データ構造とアルゴリズム	Data Structures and Algorithms
アルゴリズム演習	Exercise in Algorithms

情報コース

(Program in Informatics)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
ヒューマンインタフェース I	Human Interface I
データベース	Database
ソフトウェア工学	Software Engineering
ソフトウェア工学演習	Exercise in Software Engineering
情報理論	Information Theory
サービス指向開発	Service-Oriented Development
グラフ理論	Graph Theory
情報システム基盤応用設計	Applied Design of Information System Platform
データマイニング	Data Mining
信頼性工学	Reliability Engineering
信頼性工学演習	Exercise in Reliability Engineering
情報セキュリティ I	Information Security I
Webシステム開発	Practice in Web System
オブジェクト指向言語	Object Oriented Language
オブジェクト指向言語演習	Exercise in Object Oriented Language
ソフトウェアモデリング	Software Modelling
ソフトウェアモデリング演習	Exercise in Software Modelling
ヒューマンインタフェース II	Human Interface II
情報システム・セキュリティ実験 I	Experiments in Computer Science, Systems, and Security I
情報社会実験 I	Experiments in Information Technology and Social Science I
機械学習入門	Numerical Analysis
オートマトン	Automaton
データビジュアライゼーション	Data Visualization
サービス工学	Service Engineering
モデリングとシミュレーション	Modeling and Simulation
情報セキュリティII	Information Security II
情報セキュリティ演習	Exercise in Information Security
人工知能	Artificial Intelligence
コンパイラ	Compiler
ソフトウェアリスク管理	Software Risk Management
情報システムリスクマネジメント演習	Exercise in Risk Management of Information Systems
情報システム・セキュリティ実験 II	Experiments in Computer Science, Systems, and Security II
情報社会実験 II	Experiments in Information Technology and Social Science II
著作権	Copyright
プロジェクトとリスク管理	Project and Risk Management
情報ビジネスデザイン	Information Business Design
情報関連法規	Information and Law
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論 I	Career Guidance I
職業指導概論 II	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法 I	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法 II	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-	Aluminum Studies -Materials, Technology and History-

人工知能・通信ネットワークコース

(Program in Artificial Intelligence and Communication Networks; AICN)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
インタラクションデザイン	Interaction Design
Web入門	Introduction to Web
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
色彩学	Color Science
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理の基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
基礎数学演習	Seminar in Basic Mathematics
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
工学実務	Internship
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
数理演習	Exercise on Mathematics and Science
計算機入門	Computer Systems
論理回路	Logic Circuits
線形計画法	Linear Programming
グラフ理論	Graph Theory
中級プログラミング	Intermediate Programming
情報数学	Information Mathematics
インターネット	Internet
電気回路 I (人工知能・通信ネットワークコース)	Electrical Circuit Theory I
電気回路演習 I	Exercise on Electrical Circuit Theory I
非線形計画法	Nonlinear Programming
ビッグデータ解析	Statistical Analysis of Big Data
レジリエンスデザイン	Resilience Design
ヒューマンインタフェース I	Human Interface I

## 人工知能・通信ネットワークコース

(Program in Artificial Intelligence and Communication Networks; AICN)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
情報理論	Information Theory
電磁気学Ⅰ(人工知能・通信ネットワークコース)	Electromagnetics I
電磁気学演習Ⅰ	Exercise on Electromagnetics I
電子回路	Electronic Circuit
信号解析	Signal Analysis
センシングⅠ	Sensing I
センシングⅡ	Sensing II
信頼性工学	Reliability Engineering
信頼性工学演習	Exercise in Reliability Engineering
情報セキュリティⅠ	Information Security I
ヒューマンインタフェースⅡ	Human Interface II
機械学習入門	Introduction to Machine Learning
電気回路Ⅱ	Electrical Circuit Theory II
電磁気学Ⅱ(人工知能・通信ネットワークコース)	Exercise on Electrical Circuit Theory II
電気電子計測	Electrical and Electronic Measurements
デジタル信号処理	Digital Signal Processing
人工知能・通信ネットワーク実験Ⅰ	Experiments in Artificial Intelligence and Communication Networks I
人工知能・通信デザイン演習	Exercise in Design of Artificial Intelligence and Communication Networks
モデリングとシミュレーション	Modeling and Simulation
人工知能	Artificial Intelligence
数最適化	Mathematical Optimization
電波・光応用工学	Applications of Radio and Light waves
光通信システム工学	Optical Communication Systems Engineering
通信工学	Communication Theory
人工知能・通信ネットワーク実験Ⅱ	Experiments in Artificial Intelligence and Communication Networks II
人工知能・通信リスクマネジメント演習	Exercise in Riskmanagement of Artificial Intelligence and Communication Networks
情報通信システム	Information and Communication Systems
固体物理学Ⅰ	Solid State Physics I
固体物理学Ⅳ	Solid State Physics IV
エッジデバイス設計	Introduction to FPGA Design
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論Ⅰ	Career Guidance I
職業指導概論Ⅱ	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法Ⅰ	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法Ⅱ	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 -素材・技術・歴史-	Aluminum Studies -Materials, Technology and History-

機械システムコース

(Program in Mechanical Systems; MECS)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
インタラクションデザイン	Interaction Design
Web入門	Introduction to Web
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
色彩学	Color Science
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理的基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
工学実務	Internship
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
機械システム実験・実習 I	Experiments and Practices in Mechanical Systems I
機械システム実験・実習 II	Experiments and Practices in Mechanical Systems II
工業数学基礎	Fundamentals of Engineering Mathematics
材料力学 I (機械システムコース)	Strength of Materials I
機械製図	Mechanical drawing
機械システム実験・実習 III	Experiments and Practices in Mechanical Systems III
失敗学演習	Exercise on Study of Failure
工業数学	Engineering Mathematics
材料力学 II	Strength of Materials II
工業力学	Statics and Dynamics for Machines
機械材料	Mechanical Materials
基礎加工学	Mechanical Processing
電気・電子回路 I	Electrical and Electronic Circuit I
数値解析(機械システムコース)	Numerical Analysis
機械学習	Machine Learning
弾性力学	Theory of Elasticity

機械システムコース

(Program in Mechanical Systems; MECS)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
熱力学(機械システムコース)	Thermodynamics
メカニズム	Mechanism
機械要素	Mechanical Systems Design
設計工学演習	Exercises in Engineering Design
電気・電子回路Ⅱ	Electrical and Electronic Circuit II
制御工学	Control Engineering
光学(機械システムコース)	Optics
機械力学Ⅰ	Dynamics of Machinery I
流体力学Ⅰ	Fluid Dynamics I
伝熱工学	Heat Transfer
機能設計工学	Functional design
計測工学	Measurement and Instrumentation
電磁気学(機械システムコース)	Electromagnetics
ロボット工学	Robotics
マイクロ・ナノ工学	Micro and Nano Engineering
機械力学Ⅱ	Dynamics of Machinery II
流体力学Ⅱ	Fluid Dynamics II
機能美工学演習	Exercises in Mechanical Functions
現代制御	Modern Control
半導体工学	Semiconductor Engineering
自動車工学	Automotive Engineering
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論Ⅰ	Career Guidance I
職業指導概論Ⅱ	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法Ⅰ	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法Ⅱ	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社寄附講義)アルミ学 — 素材・技術・歴史 —	Aluminum Studies — Materials, Technology and History —

材料物質科学コース

(Program in Advanced Materials Science; AMS)

授業科目	英 訳
共通科目	Common Subjects
(倫理)	(Ethics)
創造工学倫理	Ethics in Engineering and Design
(コミュニケーション能力)	(Communication Skills)
対人コミュニケーション	Interpersonal Communication
国際コミュニケーション I	International Communication I
国際コミュニケーション II	International Communication II
技術英語	Technical English
海外工学実務 I	International Internship I
海外工学実務 II	International Internship II
(デザイン思考能力)	(Design Thinking Skills)
デザイン概論	Introduction to Design
チームワーキング演習	Exercise in Team Working
地域とアート	Region and Art
革新デザイン史	History of Design Innovation
インタラクションデザイン	Interaction Design
Web入門	Introduction to Web
デザイン思考演習	Exercise in Design Thinking
色彩学	Color Science
マルチメディアクリエイティブ入門	Introduction to Multimedia Creation
人間工学基礎	Basics of Human Factors and Ergonomics
感性工学	Kansei Engineering
デザインの潮流	Trends in Design
(リスクマネジメント能力)	(Risk Management Skills)
リスクマネジメント概論	Introduction to Risk Management
リスクコミュニケーション入門	Introduction to Risk Communication
ロジカル思考演習	Exercise in Logical Thinking
自然災害科学	Natural Disaster Science
レジリエンス科学	Resilience Science
情報セキュリティ概論	Introduction to Information Security
(数理的基礎能力)	(Fundamental Mathematics and Science Skills)
微分・積分	Differential and Integral Calculus
線形代数	Linear Algebra
プログラミング	Programming
確率・統計	Probability and Statistics
ベクトル解析	Vector Analysis
(多角的思考能力)	(Analytical Thinking Skills)
地域企業ニーズ概論	Introduction to Regional Corporate Needs
工学実務	Internship
科学・技術史	History of Science and Technology
文化と情報メディア	Culture and Information Media
資源・エネルギー論	Resources and Energetics
環境政策	Environmental Policies
専門科目	Specialized Subjects
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
工業材料概論 I	Engineering Materials I
計算機入門	Computer Systems
工業材料概論 II	Engineering Materials II
データ解析・数値計算演習	Exercise of Data Analyses & Numerical Calculation
無機化学 I	Inorganic Chemistry I
有機化学 I	Organic Chemistry I
電磁気学 I (材料物質科学コース)	Electromagnetics I
力学	Mechanics
材料力学(材料物質科学コース)	Mechanics of Materials
熱力学(材料物質科学コース)	Thermodynamics

材料物質科学コース

(Program in Advanced Materials Science; AMS)

授業科目	英 訳
(コース専門科目)	(Specialized Subjects in Programs)
材料物質科学実験 I	Experiments in Advanced Materials Science I
ビッグデータ解析	Statistical Analysis of Big Data
電子回路	Electronic Circuit
無機化学Ⅱ	Inorganic Chemistry II
有機化学Ⅱ	Organic Chemistry II
材料組織学Ⅰ	Metallography I
量子力学Ⅰ	Quantum Mechanics I
電磁気学Ⅱ(材料物質科学コース)	Electromagnetics II
統計力学	Statistical Mechanics
金属材料学	Physical Metallurgy
材料物質科学実験Ⅱ	Experiments in Advanced Materials Science II
材料物質科学演習Ⅰ	Exercises in Advanced Materials Science I
信頼性工学	Reliability Engineering
マイクロ・ナノ工学	Micro and Nano Engineering
固体物理学Ⅰ	Solid State Physics I
量子力学Ⅱ	Quantum Mechanics II
流体力学入門	Introduction to Fluid Mechanics
物理化学	Physical Chemistry
材料強度学Ⅰ	Mechanical Properties of Materials I
光学(材料物質科学コース)	Optics
環境分析化学	Environmental Analytical Chemistry
材料物質科学実験Ⅲ	Experiments in Advanced Materials Science III
材料物質科学演習Ⅱ	Exercises in Advanced Materials Science II
材料物質科学特別講義	Special Topics on Advanced Materials Science
材料デザイン演習	Exercises in Materials Design
固体物理学Ⅱ	Solid State Physics II
高分子化学	Polymer Chemistry
材料強度学Ⅱ	Mechanical Properties of Materials II
材料組織学Ⅱ	Metallography II
無機工業材料	Inorganic Engineering Materials
材料物質科学演習Ⅲ	Exercises in Advanced Materials Science III
材料リスクマネジメント演習	Exercises in Materials Risk Management
電子材料物性Ⅰ	Properties of Electronic Materials I
固体物理学Ⅲ	Solid State Physics III
固体物理学Ⅳ	Solid State Physics IV
電子材料物性Ⅱ	Properties of Electronic Materials II
量子化学	Quantum Chemistry
エネルギー化学	Chemistry for Renewable Energy
物理学	Physics
化学	Chemistry
生物学	Biology
地学	Earth Science
物理学実験	Experiments in Physics
化学実験	Experiments in Chemistry
生物学実験	Experiments in Biology
地学実験	Experiments in Earth Science
工業概論	Current Topics on Engineering
職業指導概論Ⅰ	Career Guidance I
職業指導概論Ⅱ	Career Guidance II
情報と職業	Professional Development in Information Society
情報科教育法Ⅰ	Teaching Methods in Informational Study I
情報科教育法Ⅱ	Teaching Methods in Informational Study II
卒業研究・卒業制作	Graduation Research/Graduation Production
卒業研究	Graduation Research
自由科目	Elective Subjects
(SUS株式会社社寄附講義)アルミ学 ―素材・技術・歴史―	Aluminum Studies ―Materials, Technology and History―

---

## IV. 諸規則

1. 香川大学創造工学部規程
2. 香川大学転学部に関する取扱規則
3. 香川大学創造工学部転コースの取扱いに関する細則
4. 香川大学創造工学部履修科目登録の上限単位数に関する細則
5. 香川大学創造工学部早期卒業の認定基準に関する細則
6. 香川大学大学院学則第20条第9号に規定する入学資格による創発科学研究科への出願資格審査応募に関する認定審査基準
7. 香川大学大学院学則第20条第9号に規定する入学資格による創発科学研究科への出願資格審査応募を認められた者の卒業研究・卒業制作の取扱いに関する申合せ
8. 創造工学部開講科目の読み替え単位認定に関する申合せ
9. 香川大学創造工学部情報機器利用およびネットワーク利用上の注意
10. 香川大学授業の欠席の取扱いに関する要項
11. 香川大学創造工学部開設科目に係る欠席届取扱要項



## (総則)

第1条 香川大学創造工学部(以下「本学部」という。)における教育課程その他必要な事項は、香川大学学則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

## (教育研究上の目的)

第2条 人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然とが調和的に共生できる科学技術の創造を目指す教育研究を行い、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドをもち、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成する。

## (学科及びコース)

第3条 本学部に、次の学科及びコースを置く。

## 創造工学科

造形・メディアデザインコース

建築・都市環境コース

防災・危機管理コース

情報コース

人工知能・通信ネットワークコース

機械システムコース

材料物質科学コース

## (授業科目)

第4条 香川大学における全学共通科目の授業科目及び単位数は、香川大学全学共通科目履修規則の定めるところによる。

2 本学部の学部開設科目の授業科目、単位数及び必修、選択の別は、別表1のとおりとする。

3 本学部の学部開設科目とみなして履修することができる他の学部等の授業科目及びその単位数は、別に定める。

4 各授業科目を配当する年次は、別に定める。

## (単位の計算方法)

第5条 本学部の学部開設科目の単位数は、次の基準により計算する。

(1) 講義は、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習、実験及び実習は、30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 卒業研究及び卒業制作については、学修の成果及びこれに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

## (出席時間数の取り扱い)

第6条 学部開設科目の講義および演習においては時間の3分の2以上、実験・実習においては原則としてすべて出席しなければ、その授業科目の単位を認定しない。ただし、学部長が正当な理由があると認めた場合は、この限りではない。

## (履修方法)

第7条 授業時間割及び授業担当教員は、学年の始めに公示する。

2 学生は、各学期の始めに履修しようとする授業科目を指定の期日までに届け出なければならない。

3 各授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

## (履修科目の登録の上限)

第8条 香川大学学則第49条第1項の規定に基づく履修科目の登録の上限は、1学期間に24単位とする。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、履修科目登録の上限単位数を超えて授業科目の登録を行うことを認めることができる。

2 前項の上限単位数に関し必要な事項は、別に定める。

## (転コース)

第9条 本学部の学生で、転コースを志願する者があるときは、これを許可することがある。

2 前項の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

## (卒業の要件)

第10条 本学部を卒業するためには、別表2に規定する単位を修得しなければならない。

(技術者教育プログラム)

第 11 条 本学部に、技術者教育プログラムを置く。

2 前項の技術者教育プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(早期卒業)

第 12 条 3年以上在学し、別表2に規定する単位(ただし、一部単位を除く。)を優秀な成績で修得したと認める場合には、第9条の規定にかかわらず、早期卒業を認めることができる。

2 前項の卒業に関し必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第 13 条 この規程の定めるもののほか、本学部に関し必要な事項は、学部長が別に定める。

附 則

この規程は、平成 30 年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和4年3月 31 日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和5年3月 31 日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。ただし、令和6年3月 31 日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。ただし、令和7年3月 31 日以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。ただし、令和8年3月 31 日以前に入学した学生については、なお従前の例による。











別表2（第10条関係）

## 卒業要件単位数

区 分			卒 業 要 件 単 位 数		
全学共通科目	学びと 生き方 科目	生き方科目	ライフデザイン	1単位	26単位以上 (注1)
			健康・スポーツ	(2単位)	
	学び科目		大学入門ゼミ	2単位	
			情報リテラシー	2単位	
			学問への扉	(6単位)	
	主題科目		7単位以上		
	学問基礎科目（文系科目）		4単位以上		
	学問基礎科目（理系科目）		4単位以上		
	広範教養教育科目		(6単位)		
	高度教養教育科目				
外国語科目	初修外国語	(1種類)(4単位)			
	既修外国語	6単位以上			
小計			32単位以上		
区 分			創 造 工 学 科		
学部開設科目	共通科目	倫理	1単位		19単位以上
		コミュニケーション能力	3単位以上		
		デザイン思考能力	4単位以上(注2)		
		リスクマネジメント能力	3単位以上(注3)		
		数理的基礎能力	8単位以上		
		多角的思考能力			
	専門科目	コース専門科目	60単位以上		
	卒業研究・卒業制作		8単位		
	自由科目(注4)		9単位以上		
	小計			96単位以上	
合 計			128単位以上		

## 備 考

(注1)ライフデザイン、健康・スポーツ、大学入門ゼミ、情報リテラシー、学問への扉、主題科目、学問基礎科目、高度教養教育科目、広範教養教育科目及び初修外国語の単位数は、あわせて26単位以上修得しなければならない。

(注2)造形・メディアデザインコースにおいては、学部開設科目の共通科目のうち、デザイン思考能力の卒業要件単位数を超えて修得した単位数をコース専門科目の単位数として算入することができる。

(注3)防災・危機管理コースにおいては、学部開設科目の共通科目のうち、リスクマネジメント能力の卒業要件単位数を超えて修得した単位数をコース専門科目の単位数として算入することができる。

(注4)自由科目は、本学部の学部開設科目及び第4条第3項に規定する授業科目とする。ただし、本学部の学部開設科目については、卒業要件単位数を超えて修得した単位数を自由科目の単位数として算入することができる。

## 香川大学転学部に関する取扱規則

平成16年4月1日

(趣旨)

第1条 香川大学学則第36条の規定に基づき、転学部に関し、必要な事項を定めるものとする。

(出願資格)

第2条 転学部することのできる者は、本学に1年以上在学した者とする。

(受入人員)

第3条 転学部学生の受入れは、当該学部の学科又は課程ごとに若干人(医学部にあっては、欠員がある場合に限る。)とする。

(出願手続)

第4条 転学部を志願する者は、次の各号に掲げる書類を1月31日までに当該学部へ提出しなければならない。ただし、1月31日が土曜日又は日曜日の場合は翌々日又は翌日の月曜日とする。

- (1) 転学部願(様式第1)
- (2) 学業成績証明書
- (3) 所属学部長の承諾書

(時期)

第5条 転学部の時期は、学年の始めとする。

(選考)

第6条 転学部を志願する者の選考は、当該学部教授会が次の各号のうちから指定したものについて行う。

- (1) 教養に関する科目の試験
- (2) 小論文
- (3) 面接
- (4) 在学中の成績
- (5) その他

(許可)

第7条 転学部の選考に合格し、転学部の許可を受けようとする者は、指定の期日までに確約書(様式第2)を当該学部へ提出しなければならない。

2 転学部の許可は、前項の手続を完了した者に対し、当該学部長の申出に基づき、学長が行う。

(転学部前の既修得単位の認定)

第8条 転学部をした者の転学部前に修得した単位の取扱いについては、次の各号により当該学部教授会が決定する。

- (1) 全学共通科目は、当該学部の単位として認定する。
- (2) 学部開設科目は、当該学部教授会で審議のうえ換算し、認定する。

(受入年次及び在学年数)

第9条 転学部の選考に合格した者の受入年次は、当該学部教授会が決定する。なお、当該学生が在学することができる年数は、受入年次に在学する学生と同一とする。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、転学部に関し必要な事項は、当該学部長が定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(令和元年5月1日)

この規則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則(令和5年7月1日)

この規則は、令和5年7月1日から施行する。

## 香川大学創造工学部転コースの取扱いに関する細則

平成30年 4月 1日

(趣旨)

第1条 この細則は、香川大学創造工学部規程第8条第2項の規定に基づき、転コースの取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

(人数枠)

第2条 受入人数は、コース毎に若干人とする。

(願書の提出)

第3条 転コースを希望する学生は、所属するコースの責任者及びキャンパスアドバイザー(又は指導教員)の助言を得て、転コース願書(様式1)を学部長あてに提出する。

第4条 転コース願書の受付期間については、毎年、林町地区統合事務センター学務課学務係から掲示で周知する。

(審査依頼)

第5条 転コース願書を受理したときには、教務委員会は、学生が転入を希望するコース(以下「転入コース」という。)に転コース願書を送付するとともに、当該学生の審査を依頼する。

(審査基準)

第6条 転コースの可否については、原則として次の基準で審査を行う。ただし、特別の事情がある場合には、この限りではない。

- (1) 転コースの必然性
- (2) 大学入学後の学習状況
- (3) その他

(審査)

第7条 転入コースは、第6条の審査基準により、当該学生の転コースの可否及び受入年次について審査を行い、その結果を教務委員会に報告する。

なお、可とする学生が複数の場合については、受入順位を付して報告するものとする。

第8条 転入コースは、審査の際、必要に応じて次の書類を教務委員会に請求する。

- (1) 所属コースのキャンパスアドバイザー又は指導教員の所見
- (2) 大学入学後の成績
- (3) その他必要資料

第9条 転入コースは、書類による審査のほか、面接等の審査を行うことができる。

(転コースの可否及び受入年次の決定)

第10条 教務委員会は、転入コースの審査結果に基づき、転コースの可否及び受入年次について審議し、その結果を学部長に報告する。

第11条 学部長は、教務委員会の報告を受け、転コースの可否及び受入年次について決定する。

(雑則)

第12条 この細則に定めるもののほか、転コースの取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則  
この細則は、令和3年10月1日から施行する。

## 香川大学創造工学部履修科目登録の上限単位数に関する細則

平成30年4月1日

(趣旨)

第1条 この細則は、香川大学創造工学部規程第7条第2項の規定に基づき、本学部学生の履修科目登録の上限単位数に関し、必要な事項を定めるものとする。

(履修科目登録の上限)

第2条 履修科目登録の上限単位数は、1学期間に24単位とする。

(上限対象科目)

第3条 履修科目登録の上限単位数の対象となる授業科目は、次の各号に掲げる授業科目とする。

- (1) 本学部創造工学科各コースの卒業要件単位として修得すべき科目(以下「卒業要件科目」という。)のうち、定時及び時間外に開講される全学共通科目と学部開設科目
- (2) 本学部の学部開設科目とみなし履修することができる本学の他学部の授業科目及び他大学との単位互換制度に基づき履修する授業科目

(上限対象外の科目)

第4条 前条の規定にかかわらず、次の各号に掲げる授業科目は、履修科目登録の上限単位数の対象科目としない。

- (1) 本学部創造工学科各コースの卒業要件科目のうち、卒業研究・卒業制作、演習(外国語を除く。)、実験、実習、集中講義及び健康・スポーツの各科目
- (2) 教育職員免許状取得者用に特別に開講する教職及び教科に関する科目

(履修科目登録上限単位数の特例申請)

第5条 履修科目登録の上限単位数を超えて履修登録を行おうとする者は、履修登録期間に別紙様式「履修科目登録単位数の特例に関する申請書」を学部長あてに提出するものとする。

(履修科目登録の上限単位数の特例)

第6条 本学部に1年以上在学し、かつ、次条の優秀な成績をもって単位を修得したと認められる者については、第2条の規定にかかわらず、当該者の申請に基づき、本学部教務委員会で審査の上、履修科目登録の上限単位数を超えて履修登録を行うことを認めるものとする。

(成績優秀者)

第7条 優秀な成績をもって単位を修得したと認められる者とは、申請の前年度において卒業要件科目を40単位以上(各年次配当の必修科目を含む。)修得し、かつ、別表中のGPAの値が3以上の者とする。

(その他)

第8条 この細則に定めるもののほか、履修科目登録の上限単位数の運用に関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年5月1日から施行する。

平成30年4月1日

(趣旨)

第1条 この細則は、香川大学創造工学部規程第12条第2項の規定に基づき、本学部学生の早期卒業の認定基準に関し、必要な事項を定めるものとする。

(早期卒業の認定対象学生)

第2条 早期卒業の認定対象となる学生は、本学部に3年以上在学し(準ずる者を含む。)、卒業要件単位を優秀な成績をもって修得したと認められ、かつ、早期卒業を希望する者とする。ただし、編入学、転入学又は再入学した学生は、早期卒業の対象とならない。

(早期卒業希望者の認定)

第3条 早期卒業を希望する学生は、所属コース責任者の承認を得て、3年次第1学期履修登録期間に別紙様式「早期卒業希望願」を学部長あてに提出するものとする。

2 早期卒業希望願の提出があった場合には、本学部教務委員会は、第5条及び第6条の規定を勘案し、早期卒業希望者の認定について審査する。

(特別卒業研究・特別卒業制作)

第4条 早期卒業希望者として認定された者(以下「早期卒業希望認定者」という。)については、卒業研究・卒業制作(以下「卒業研究等」という。)に代えて、特別卒業研究・特別卒業制作(2単位)(以下「特別卒業研究等」という。)を履修しなければならない。

2 特別卒業研究等履修に際しての指導教員への配属要件及び単位認定の方法は、卒業研究等の場合と同一とする。

3 第5条及び第6条の早期卒業の認定要件を満たさなかった場合については、特別卒業研究等の履修を卒業研究等の年次第学期の履修とみなし、卒業研究等を引き続き履修させるものとし、単位については、同科目の単位とする。

(早期卒業要件単位修得者)

第5条 第2条の卒業要件単位を修得したと認められる者は、次の要件をすべて満たした者とする。

(1) 3年次終了時に卒業要件単位128単位以上を修得していること。

(2) 全学共通科目の卒業要件単位32単位以上を修得していること。

(3) 学部開設科目の卒業要件単位96単位以上(卒業研究等8単位は除く)を修得していること、かつ、3年次までに開講される学部開設科目の必修科目(卒業研究等を除く)を全て修得していること。

(4) 第4条の特別卒業研究等を修得していること。

(成績優秀者)

第6条 第2条の卒業要件単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者とは、前条の要件を全て満たし、かつ、各年次において、卒業要件科目を40単位以上(各年次担当の必修科目を含む。)修得し、かつ、GPAの値が3以上の者とする。

(早期卒業の判定)

第7条 早期卒業希望認定者で、前2条の早期卒業の要件を満たしている場合、本学部教授会は、3年次終了時に卒業の認定に関する判定を行う。

(卒業の時期)

第8条 早期卒業の時期は3年次の3月とする。

(その他)

第9条 この細則に定めるもののほか、早期卒業の認定基準の運用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和7年4月1日から施行する。

# 早期卒業希望願

令和 年 月 日

香川大学創造工学部長 殿

コ ー ス \_\_\_\_\_

学 籍 番 号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

「香川大学創造工学部早期卒業の認定基準に関する細則第3条第1項」に基づき早期卒業希望願を提出します。早期卒業希望認定者として認めていただくよう、よろしくお願いします。

## 参考

(早期卒業の認定対象学生)

- 1 早期卒業の認定対象となる学生は、本学部に3年以上在学(準ずるものを含む。)し、卒業要件単位を優秀な成績をもって単位を修得したと認められる者とする。

(早期卒業要件単位修得者)

- 2 早期卒業要件単位を修得したと認められる者とは、次の要件を全て満たした者とする。

- ①3年次終了時に卒業要件単位128単位以上を修得していること。
- ②全学共通科目の卒業要件単位32単位以上を修得していること。
- ③学部開設科目の卒業要件単位96単位以上(卒業研究・卒業制作8単位は除く)を修得していること、かつ、3年次までに開講される学部開設科目の必修科目(卒業研究・卒業制作を除く)を全て修得していること。
- ④第4条の特別卒業研究・特別卒業制作(2単位)を修得していること。

(成績優秀者)

- 3 卒業要件単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者とは、前項の要件全てを満たし、かつ、各年次において、卒業要件科目を40単位以上(各年次担当の必修科目を含む。)修得し、かつ、GPAの値が3以上の者とする。

(GPAによる成績評価基準)

- 4 GPAによる成績評価基準は、「GPA制度の取扱いに関する要項」とおりである。

コース責任者承認(自署又は記名押印)

\_\_\_\_\_

香川大学大学院学則第 20 条第 9 号に規定する入学資格による  
創発科学研究科への出願資格審査応募に関する認定審査基準

平成 30 年 4 月 1 日

香川大学大学院創発科学研究科（工学系領域）においては、香川大学大学院学則第 20 条第 9 号に規定する「学校教育法第 102 条第 2 項に規定する者」すなわち「大学に 3 年以上在学した者であって、本学大学院創発科学研究科が本学創造工学部（以下「本学部という。」）の定める単位（以下「所定の単位」という。）を優秀な成績で修得したと認める者」について、大学院入学資格を与える、いわゆる飛び入学制度による「飛び入学」を認めている。

創発科学研究科への進学を希望し、次の第 1 項「所定の単位修得者の認定要件」及び第 2 項「特別成績優秀者の認定要件」を原則として全て満たす者については、審査の上、出願における事前審査の願い出を行うことを認めるものとする。

なお、この飛び入学によって入学した学生は、大学を中途退学して創発科学研究科に入学することとなる。

（所定の単位修得者の認定要件）

1 出願における資格審査を受ける際の所定の単位を修得した者とは本工学部において次の各要件を全て満たした者とする。

(1) 第 1 期

- ① 卒業要件単位として修得すべき全学共通科目を 32 単位以上修得していること。
- ② 2 年次終了までに、当該年次配当学部開設科目の必修科目を全て修得していること。
- ③ 2 年次終了までに、卒業要件単位として修得すべき科目（以下「卒業要件科目」という。）を 80 単位以上修得していること。

(2) 第 2 期

- ① 卒業要件単位として修得すべき全学共通科目を 32 単位以上修得していること。
- ② 3 年次第 1 学期終了までに当該年次配当学部開設科目の必修科目を全て修得していること。
- ③ 3 年次第 1 学期終了までに卒業要件科目 100 単位以上を修得していること。

（特別成績優秀者の認定要件）

2 出願資格審査を受ける際の所定の単位を優秀な成績で修得したと認める者を特別成績優秀者とし、前項各号の募集における所定の単位を修得し、かつ、2 年次終了までの卒業要件科目の累積 GPA の値が 3.3 以上の者とする。

（出願資格審査応募の認定）

3 飛び入学制度による出願希望者は、本学部教務委員会が定める期日までに別紙様式「飛び入学制度による出願資格審査応募の認定願」を学部長に提出するものとする。

（審査）

4 飛び入学制度による出願の事前審査応募の認定願の提出があった場合には、本学部教務委員会は、出願資格審査の願い出を行うことの可・否について、審査を行う。

(その他)

5 この認定審査基準に関し必要な事項については、別に定める。

附 則

この基準は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この基準は、令和5年2月13日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この基準は、令和6年6月10日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

飛び入学制度による出願資格審査応募の認定願

令和 年 月 日

香川大学創造工学部長 殿

コース

学籍番号

氏名

香川大学大学院学則第 20 条第 9 号に規定する入学資格による本学創発科学研究科出願資格審査応募に関する認定審査基準第 3 項に基づき、飛び入学制度による出願資格審査を受けたいので、認めていただくよう、よろしく申し上げます。

参 考

(所定の単位修得者の認定要件)

1 出願資格審査を受ける際の所定の単位を修得した者とは、本学部において次の各要件を全て満たした者とする。

(1) 第 1 期

- ① 卒業要件単位として修得すべき全学共通科目を 32 単位以上修得していること。
- ② 2 年次終了までに、当該年次配当学部開設科目の必修科目を全て修得していること。
- ③ 2 年次終了までに、卒業要件単位として修得すべき科目（以下「卒業要件科目」という。）を 80 単位以上修得していること。

(2) 第 2 期

- ① 卒業要件単位として修得すべき全学共通科目を 32 単位以上修得していること。
- ② 3 年次第 1 学期終了までに当該年次配当学部開設科目の必修科目を全て修得していること。
- ③ 3 年次第 1 学期終了までに卒業要件科目 100 単位以上を修得していること。

(特別成績優秀者の認定要件)

2 出願の事前審査を受ける際の所定の単位を優秀な成績で修得したと認める者を特別成績優秀者とし、前項の各募集の所定の単位を修得し、かつ、2 年次終了までの卒業要件科目の累積 GPA の値が 3.3 以上の者とする。

(GPA による成績評価基準)

3 GPA による成績評価基準は、「GPA 制度の取扱いに関する要項」のとおりである。

香川大学大学院学則第20条第9号に規定する入学資格による創発科学研究科への  
出願資格審査応募を認められた者の卒業研究・卒業制作の取扱いに関する申合せ

平成30年4月1日

香川大学大学院学則第20条第9号に規定する入学資格（以下「飛び入学制度による入学資格」という。）による創発科学研究科への出願資格審査応募を認められた者の卒業研究・卒業制作（以下「卒業研究等」という。）に関しては、次のとおり取扱う。

（特別研究）

- 第1 香川大学大学院学則第20条第9号に規定する入学資格による出願資格審査応募を認められた者については、卒業研究等に代えて、特別研究（2単位）を履修しなければならない。
- 第2 特別研究履修にあたっての指導教員への配属要件及び単位認定の方法は卒業研究等の場合と同一とする。
- 第3 飛び入学制度による入学資格を認定されなかった場合については、特別研究の履修を卒業研究等の3年次第2学期の履修とみなし、卒業研究等を引き続き履修させるものとし、単位については、同科目の単位とする。

附 則

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和6年6月10日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

## 創造工学部開講科目の読み替え単位認定に関する申合せ

平成30年4月1日

(授業科目、単位数及び評定)

1. 本学部における授業科目の履修とみなし与えることのできる技能検定試験については、以下のとおりとする。

	授業科目、単位数及び評定について	
適応科目 単位数	国際コミュニケーション I・II 2単位(各1単位)	国際コミュニケーション I・II 2単位(各1単位)
TOEIC L&R	700点以上	800点以上
評定	優	秀

2. 本学が実施する海外交換留学プログラム等を通じて海外他大学(協定校等)で取得した単位については、当該授業の内容及び時間数を確認の上、本学部の学部開設科目(共通科目又は専門科目のうちいずれかの科目)に読み替えて単位を認定する。本学部の科目に読み替え難い場合は、自由科目として認定することができる。評定は認とする。

(読み替え手続き)

1. 技能検定試験については、読み替え認定を希望する学生は、本学部学務係において、履修しようとする授業科目の履修登録期間中に有効な TOEIC L&R スコアを提出し、所定の手続きを行うこととする。
2. 本学が実施する海外交換留学プログラム等を通じて海外他大学(協定校等)で取得した単位について、本学部開設科目への読み替えを希望する学生は、留学前に CA 及び指導教員と相談の上、履修計画を立て、教務委員会に報告(様式任意)することとする。帰国後は、学生は、取得した単位に係る授業のシラバス及び成績表の提出を通じて教務委員会に読み替え依頼することとする。

附 則

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和6年11月11日から施行し、令和6年10月1日から適用する。

附 則

この申合せは、令和8年4月1日から施行する。

## 香川大学創造工学部情報機器の利用およびネットワーク利用上の注意

### 創造工学部情報基盤室

本学部及び本学が保有している教育用電子計算機システム（以下、計算機システム）およびキャンパス情報ネットワーク設備（以下、学内 LAN）は、教育、研究、事務などの大学運営に共同で利用する情報機器です。また、これらの情報機器を利用したメーリングリストやホームページなどによる情報発信（ネットワーク利用）は、教育、研究、事務などの大学運営に非常に有益です。ただし、利用に当たっては、下記のような利用上の注意を守ってください。

香川大学情報推進化統合拠点情報メディアセンターの利用に際しては、香川大学情報推進化統合拠点情報メディアセンター利用規程が制定されており、またキャンパス情報ネットワークの利用については、香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則および細則が制定されています。これらの規則が守られない場合には、ファイルの強制閲覧や削除、利用の承認の取り消し、利用の制限、コンピュータなどの接続許可の取り消しなどの処置を行うことがあります。

以下の事項は、全学および創造工学部が定めた上記の規則に基づき、現時点での本学部利用者が注意すべき事項を具体的にまとめたものです。本学部の学生、教職員、非常勤職員などの関係者はこれらの事項を遵守し、より良い情報環境の構築に協力してください。また、以下の事項が守られない場合は、同様の処置や処分が科せられることがあります。

---

#### 1. 法律の遵守(不正行為の禁止)

計算機システムおよび学内 LAN の利用に際しては法律の適用を受けます。例えば、ソフトウェアの不当な複製・販売、著作権、特許権、プライバシーなどの侵害、公序良俗に反する行為等を行ってはけません。また、他人のセキュリティを破ることはできません。それだけでなく、セキュリティが十分に掛けられていないからといって勝手に利用することも許されません。これらは、処罰の対象になります。ネットワークを用いて容易に外国と接続できます。その際には、接続されている国の法律等を遵守する必要があります。なお、ソフトウェアの不当な複製を引き起こす可能性の高いファイル交換機能を有する P2P ソフトウェアをインストールした計算機を学内でネットワークに接続することは禁止されています。

#### 2. セキュリティの遵守

情報機器を利用するためのパスワードやファイルの読み書き権限は、利用者や計算機システムそのものの安全を守るための仕組みです。不正アクセスおよび情報漏洩等の危険性を常に意識して、自分の安全は自分で守りましょう。特に、パスワードを変更する場合、第三者が容易に推測できるものを使用しないでください。パスワードが漏えいした場合、あなた自身が被害を受けるだけでなく、他のユーザーにも迷惑をかける可能性があります。その場合、侵入者だけでなく、あなた自身も責任を問われます。また、個人情報などを含むファイルには、パスワードなどのセキュリティ対策を必ず設定してください。

#### 3. 教育・研究用設備としてふさわしい計算機システムの利用方法の遵守

計算機システムを利用する際には、他人に迷惑を掛ける行為は謹んでください。例えば、レポートや宿題の締切りで混雑している時は、それ以外の計算機利用は控えるようにしてください。また、計算機のある部屋は、食事のための場所ではありませんし、計算機の上にこぼれた場合は機器の故障の原因となりますので飲食は禁止です。なお、本学部敷地内は全面禁煙であり、つぎに

示すエチケットも遵守して下さい。

#### 4. エチケットの遵守

学内 LANを利用した電子メール、掲示板、ホームページ、ブログ、Twitter、Facebook、LINE 等による、宗教的・政治的宣伝や勧誘活動、悪質な商業宣伝、暴力的議論、誹謗中傷論、感情的議論、明らかな偏向的議論・情報提供、に関する配信を禁止します。

#### 5. 電子メール利用に関する全体的な注意事項

##### 5.1) 電子メール発信者偽装の禁止

電子メールで、他人の名前を使用して、上述したエチケットに反する行為をしてはいけません。

##### 5.2)チェーンメール(Chain Mail)の禁止

チェーンメールとは、連鎖的に(チェーン)不特定多数への配付をするように求める電子メールのことであり、かつて「幸福の手紙」や「不幸の手紙」などがありました。これは、ネットワーク通信量を増やし、ディスク容量を消費するので使ってはいけません。

##### 5.3)ネズミ講メールの禁止

チェーンメールの一種ですが、特に、自分の銀行口座をメールに書き、金銭の振り込みを依頼するメールです。この種のメールを出してはいけません。第一に、このように安易な所得を図ろうとする姿勢そのものが、批判されます。また、法律により罰せられる可能性があります。

##### 5.4)相手先メールアドレスの確認

相手のメールアドレスは、しっかり確認しましょう。メールの送信先のアドレスが誤っていると、警告メールが発信者と同時に管理者にも届きます。

##### 5.5)添付ファイルの注意

###### 5.5.1)ウィルスへの警戒

メールに添付されているファイルにはウィルスが入っている可能性がありますので、不用意に開いてはいけません。自分のコンピュータが感染するだけでなく、コンピュータに保存されているアドレス帳や住所録を参照して、他の人にそのウィルスの入ったメールが転送される場合があります。

###### 5.5.2)相手コンピュータへの配慮

添付ファイルを送信するときは、相手コンピュータの環境を考えて送りましょう。例えば、相手が、ファイルを読むためのソフトウェアを持っているか、漢字のファイル名が読めるか環境か、などを考えましょう。また、情報機器に被害を与えるような大容量のメールを頻繁に送信することを禁止します。特に、以下のメーリングリストに送るメールでは、一通のメールでも登録者数倍のメールになるので、品質を落とすなどにより容量が小さくなるように心がけて下さい。

#### 6. 創造工学部のメーリングリスト利用に関する注意事項

6.1)全教員・全職員・全学生がメンバーとなっている事務連絡用のメーリングリスト ML(以下、ML)は、事務的な連絡に用いるものであり、エチケットを認識して正しく利用して下さい。なお、事務連絡用以外の ML については、その ML の構成員により運用規定を定めることができます。

6.2)ML を通じてむやみに私見を披露したり、私見に基づいて他者を非難したり、茶化す行為を禁止します。個人の考えを押し付けることは、不特定多数にメールを出す spam メールと変わらないことです。

6.3)上記の行為により、学生や教職員などが心理的被害を受けたと感じる行為はネットワークハラメントといえます。

6.4)広報活動の透明性、公正さ、信頼性などを確保するため、本学構成員の個人的な広報活動に

関する ML を通じた連絡は、特別の理由のない限り控えて下さい。情報発信には、コース広報室委員、林町地区統合事務センター総務課庶務係もしくは広報室を通じたプレスリリースなどに限ることとします。

6.5)ML は、本学部や本学部学科からの要望に従って創造工学部情報基盤室が作成します。個人的活動に対するリストは作成しません。なお、創造工学部情報基盤室は利用者の登録や削除などの運用を行う組織であり、メールの内容については関与しません。

#### 追記項目

1)事務連絡用のMLを事務連絡以外で利用する場合、6.2)から6.4)の項目に該当しない限り、教職員からの利用申請によりMLの使用を許可することがあります。

(平成21年9月24日)

#### 追記

今後、新たな事例が生じた場合は、項目を追加して示します。

#### 関連事項:

香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則

香川大学キャンパス情報ネットワーク運営細則

香川大学情報推進化統合拠点情報メディアセンター利用規程

国立大学法人香川大学情報セキュリティ対策基本方針

国立大学法人香川大学情報化推進及び情報セキュリティに関する基本規則

国立大学法人香川大学情報セキュリティ実施手順書

国立大学法人香川大学個人情報管理規則

香川大学創造工学部及び工学研究科個人情報保護に関するガイドライン

香川大学創造工学部情報基盤室規程

香川大学創造工学部情報基盤室細則

## 香川大学授業の欠席の取扱いに関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、香川大学授業の欠席（特別な事由による欠席及びその他の欠席）の取扱いについて必要な事項を定める。

(特別な事由による欠席に該当する事由)

第2条 この要項において、特別な事由による欠席とは、次の各号のいずれかに該当する場合とする。

- (1) 天災その他の非常災害により、通学不能となる場合
- (2) 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した場合又は感染しているおそれがある場合
- (3) 配偶者及び三親等内の親族の死亡による忌引の場合
- (4) 裁判員又は裁判員候補者として任務を果たす場合
- (5) 骨髄バンクドナー候補者又は骨髄バンクドナーとして必要な手続を行う場合
- (6) その他当該科目を開設する学部若しくは研究科の長又は大学教育基盤センター長が相当と認める場合

2 学生が、前項各号の事由によりやむを得ず授業を欠席した場合は、これを出席したものとみなす取扱いとする。

3 前項の取扱いは、一つの授業科目において当該授業科目の開講時数の3分の1を超えることができないものとする。

(特別な事由による欠席の手続き)

第3条 前条第1項各号のいずれかに該当する学生は、必要書類が整い次第（学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第19条の規定により出席を停止されている場合は、医療機関から治癒証明書が発行された後）、速やかに特別な事由による欠席届（別紙様式1）を欠席した又は欠席することとなる授業の担当教員（以下「担当教員」という。）に提出しなければならない。

2 学生は、欠席届に、第2条第1項各号の事由を証明するために証明書等を添付しなければならない。ただし、当該科目を開設する学部若しくは研究科の長又は大学教育基盤センター長が必要でないと認めた場合は、この限りでない。

3 学生は、欠席届を担当教員に提出する前に、所属する学部又は研究科の学務事務担当部署において確認を受けなければならない。

4 前項において、当該科目が所属する学部又は研究科以外の学部又は研究科が開設する科目の場合は、所属する学部又は研究科の学務事務担当部署に加えて、必要に応じ当該科目を開設する学部又は研究科の学務事務担当部署においても確認を受けなければならない。また、当該科目が全学共通科目の場合は、所属する学部又は研究科の学務事務担当部署に加えて、必要に応じ修学支援課においても確認を受けなければならない。

(学生への配慮)

第4条 前条の規定により学生から欠席届の提出を受けた担当教員は、当該授業について、課題作成その他の方策により可能な範囲で学修の補充支援を行い、当該学生が履修上不利とならないように配慮する。

(定期試験期間における取扱い)

第5条 定期試験期間中の欠席については、本要項によらず、香川大学追試験及び再試験に関する規程（平成16年4月1日制定）による。

(雑則)

第6条 この要項に定めるもののほか、授業の欠席の取扱いに関し必要な事項については、学部、研究科又は大学教育基盤センターにおいて別に定める。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年5月8日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年7月1日から施行する。

(参考)

## 学校保健安全法施行規則（抜粋）

### （感染症の種類）

第十八条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

- 一 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）
  - 二 第二種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。次条第二号チにおいて同じ。）、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
  - 三 第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症
- 2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第一種の感染症とみなす。

### （出席停止の期間の基準）

第十九条 令第六条第二項の出席停止の期間の基準は、前条の感染症の種類に従い、次のとおりとする。

- 一 第一種の感染症にかかった者については、治癒するまで。
- 二 第二種の感染症（結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。）にかかった者については、次の期間。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない。
  - イ インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、発症した後五日を経過し、かつ、解熱した後二日（幼児にあつては、三日）を経過するまで。
  - ロ 百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで又は五日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。

- ハ 麻疹にあつては、解熱した後三日を経過するまで。
  - ニ 流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
  - ホ 風しんにあつては、発しんが消失するまで。
  - ヘ 水痘にあつては、すべての発しんが痂皮化するまで。
  - ト 咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後二日を経過するまで。
  - チ 新型コロナウイルス感染症にあつては、発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで。
- 三 結核、髄膜炎菌性髄膜炎及び第三種の感染症にかかった者については、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。
- 四 第一種若しくは第二種の感染症患者のある家に居住する者又はこれらの感染症にかかっている疑いがある者については、予防処置の施行の状況その他の事情により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。
- 五 第一種又は第二種の感染症が発生した地域から通学する者については、その発生状況により必要と認めるとき、学校医の意見を聞いて適当と認める期間。
- 六 第一種又は第二種の感染症の流行地を旅行した者については、その状況により必要と認めるとき、学校医の意見を聞いて適当と認める期間。

別紙様式 1 (表面)

特別な事由による欠席届

令和 年 月 日

教員殿

学部・研究科 : \_\_\_\_\_  
 学科・専攻 : \_\_\_\_\_  
 学籍番号 : \_\_\_\_\_  
 氏 名 : \_\_\_\_\_

下記理由により欠席します (しました) ので届出します。

記

- 事由 :  天災その他の非常災害により、通学不能となったため  
 学校保健安全法施行規則第 18 条に規定する感染症に  
 (罹患した・感染しているおそれがある) ため  
 忌引き (配偶者・ 親等 [続柄 : \_\_\_\_\_]) のため  
 裁判員・裁判員候補者として任務を果たすため  
 骨髄バンクドナー候補者又は骨髄バンクドナーとして必要な手続を行うため  
 その他 ( \_\_\_\_\_ ) ため

授業科目名	
欠席期間	令和 年 月 日 ( 曜日) 校時から 令和 年 月 日 ( 曜日) 校時まで

- ※ 各事由に必要な書類を裏面のとおり添付すること。  
 ※ 所属する学部・研究科の学務事務担当部署において確認印を受けること。  
 ※ 欠席科目が所属する学部・研究科以外の学部・研究科が開設する科目の場合は、所属する学部・研究科の学務事務担当部署に加えて、必要に応じ当該科目を開設する学部・研究科の事務担当部署においても確認印を受けること。  
 ※ 欠席科目が全学共通科目の場合は、所属する学部又は研究科の学務事務担当部署に加えて、必要に応じ大学教育基盤センターの事務担当部署 (修学支援課) においても確認印を受けること。  
 ※ 欠席科目が多い場合は、届出を複数記入すること。  
 ※ 欠席する科目の担当教員が複数の場合は、確認印が押印されたコピーを各教員に提出すること。  
 ※ 確認印のない欠席届は無効とする。

①所属する学部・研究科確認印	
②欠席する科目を開設する学部・研究科 又は大学教育基盤センター確認印	

## 別紙様式1（裏面）

## 期間及び必要書類について

事由	欠席期間	必要書類
天災その他の非常災害により、通学不能となった場合	現に居住している住居等が崩壊した場合や、住居等からの通学手段が遮断された場合、回復するまでの間の内必要な期間	罹災証明書等 公的機関等の証明書
学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患した場合又は感染したおそれがある場合	医師の診断書等に記入されている出席停止期間（2ヶ月を超えた場合を除く。）	医療機関発行の診断書
忌引き（配偶者及び3親等以内）の場合	配偶者及び1親等（父母、子※養父母・養子を含む。） →連続した7日以内 2親等（祖父母、兄弟姉妹） →連続した3日以内 3親等（曾祖父母、伯叔父母、甥姪、曾孫） →1日	「会葬御礼」等 通夜、葬儀の日程がわかるもの
裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	裁判所からの呼出状及び出頭証明書のコピー
骨髄バンクドナー候補者又は骨髄バンクドナーとして必要な手続を行う場合	検査、採血、健康診断、入院及びその他の骨髄バンク事業に関する手続のために必要となる期間	事実を証明する書類
当該科目を開講する学部若しくは研究科の長又は大学教育基盤センター長が相当と認める場合	当該科目を開講する学部若しくは研究科の長又は大学教育基盤センター長が相当と認める期間	当該科目を開講する学部若しくは研究科の長又は大学教育基盤センター長が相当と認めることがわかる書類（当該事由の担当部署に相談すること。）

## 学校保健安全法施行規則（抜粋）

## （感染症の種類）

第十八条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

- 一 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）
  - 二 第二種 インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。次条第二号チにおいて同じ。）、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
  - 三 第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症
- 2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第一種の感染症とみなす。

## 香川大学創造工学部開設科目に係る欠席届取扱要項

令和2年4月1日

(趣旨)

- 1 香川大学学生準則第12条の規定に基づき「香川大学授業の欠席の取扱いに関する要項」(以下「要項」という。)第6条について必要な事項は、この要項の定めるところによる。

(定義)

- 2 この要項において欠席届とは、要項第1条に定められた欠席のうち「その他の欠席」として、別紙様式により欠席した理由を授業担当教員(以下「担当教員」という。)に申し出るものであり、その取扱いは次項によるものとする。

(欠席届の事由及び取扱い)

- 3 担当教員は、次の(1)から(4)の事由により授業を欠席した者から欠席届の提出があった場合には、受理するものとし、その取扱いは、担当教員に一任する(シラバスに記載している当該科目の成績評価の方法と基準を参考にする等)。

(1) 負傷又は疾病

(2) 就職試験の受験

(3) 国際大会、全国大会、四国大会及び上位の大会参加(本大会に出場登録されている場合のみを対象とし、地区大会、予選は認めない。)

(4) その他創造工学部長が相当と認める事由

(証明書等添付)

- 4 前項各号の事由を証明するために必要な書類を別表1のとおり添付するものとする。ただし、創造工学部長が添付する必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(雑則)

- 5 この要項に定めるもののほか、欠席届に関する事項は、創造工学部長が判断し処置する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

別表 1

事由	必要書類
負傷又は疾病	医療機関発行の診断書等
就職試験の受験	「来社証明書」等 就職試験の日時・場所・試験内容等がわかるもの
国際大会，全国大会，四国大会及び上位の大会参加（本大会に出場登録されている場合のみを対象とし、地区大会、予選は認めない。）	大会の日時・場所・内容等がわかるもの
その他創造工学部長が相当と認める事由	創造工学部長が相当と認めるに足る書類 （事前に学務係に申し出ること）

(別紙様式)

## 欠 席 届

(創造工学部・大学院工学研究科 開設科目)

令和 年 月 日

\_\_\_\_\_  
教員殿

学 科

(コース)

(専 攻) \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

欠席しますので、  
下記により お届けします。  
欠席しましたので、

### 記

授業科目名等	
欠 席 期 間	令和 年 月 日 ( 曜日) 校時から 令和 年 月 日 ( 曜日) 校時まで
理 由	

※1 欠席理由の証明書等を添付すること。

※2 この届出による出欠の取扱いについては、授業担当教員の判断による。



---

## V. 付録

### I. 建築士受験資格について



---

## I. 建築士受験資格について

### 1. 建築士受験資格要件について

本学部では、建築・都市環境コースおよび防災・危機管理コースにおいて指定科目の所定の単位を修得し卒業した者について、建築士受験資格が与えられる。

建築士試験の受験に当たっては、一級建築士、二級建築士・木造建築士の資格に応じ、指定科目に関して所定の単位を修得しておく必要がある。所定の単位を修得することで、一級建築士、二級建築士・木造建築士試験の受験資格が卒業後すぐに与えられる。

一級建築士は、付録の表に示すように、分類①～⑨ごとに所定の修得単位が必要である。免許登録時に必要な実務経験年数は、分類①～⑨の合計 30 単位のほか、分類⑩その他科目を含めた総単位数 60、50、40 に応じ、それぞれ 2 年、3 年、4 年となる。

二級・木造建築士も、付録の表に示すように、必要な修得単位が分類に応じて定められている。免許登録時に必要となる実務経験年数は、分類①～⑨の合計 10 単位のほか、総単位数 40、30、20 に応じ、それぞれ 0 年、1 年、2 年となる。

このことから、一級建築士の資格取得を目指す人は、免許登録時に必要な実務経験年数が最小の 2 年となるように、付録の表に示す一級建築士の指定科目のうち 60 単位以上を修得することを推奨する。詳細については、公益財団法人建築技術教育普及センターのホームページ (<http://www.jaeic.or.jp/>) を参考にされたい。

香川大学創造工学部 創造工学科 建築・都市環境コース 防災・危機管理コース  
建築士資格試験学歴要件に関する科目と必要単位数

2026.4.1～

分類	科目名	建築・都市環境コース			防災・危機管理コース			単位数	合計 単位数	必要単位数					
		コース教育課程表にある科目	コース 必修科目	履修学年	コース教育課程表にある科目	コース 必修科目	履修学年			一級建築士			二級・木造建築士		
		○	必修		○	必修									
①建築設計製図	建築設計基礎	○	必修	1年	×		2年	2	9	7			3		
	建築設計Ⅰ	○		2年	×		2年	3							
	建築設計Ⅱ	○		2年	×		2年	2							
	建築設計Ⅲ	○		3年	×		3年	2							
②建築計画	建築計画学	○		2年	×		2年	2	11	7			2		
	住環境学	○	必修	1年	×		2年	2							
	住環境デザイン演習	○		3年	×		3年	2							
	くらしと建設の技術史	○		2年	×		2年	2							
	景観デザイン論	○		2年	×		2年	2							
③建築環境工学	環境工学	○		2年	×		2年	2	2	2					
④建築設備	建築設備	○		3年	×		3年	2	2	2					
⑤構造力学	構造力学Ⅰ	○	必修	2年	○		2年	2	14	4			3		
	構造力学Ⅱ	○		2年	○		2年	2							
	土質力学Ⅰ	○	必修	2年	○		2年	2							
	土質力学Ⅱ	○		2年	○		2年	2							
	振動学	○		3年	○		3年	2							
	構造・土質力学演習Ⅰ	○		2年	○		2年	2							
⑥建築一般構造	構造設計学	○		3年	×		3年	2	6	3					
鉄筋コンクリート構造	○		3年	×		3年	2								
地震工学	○		3年	○	必修	2年	2								
⑦建築材料	建設材料学	○	必修	2年	×		2年	2	4	2					
	コンクリート実験	○	必修	3年	×		3年	2							
⑧建築生産	建設リスクマネジメント	○		3年	○		3年	2	4	2			1		
	建築構法	○		1年	×		2年	2							
⑨建築法規	建築法規	○		3年	×		3年	1	1	1			1		
⑩その他(b)	地盤工学実験	○	必修	3年	×		3年	2	12	適宜			適宜		
	都市・地域計画学	○		3年	×		3年	2							
	都市システム再生工学	○		3年	×		3年	2							
	環境政策	○		4年	○		4年	1							
	測量学	○	必修	2年	○		2年	2							
	測量実習	○	必修	2年	○		2年	2							
創造工学倫理	○	必修	3年	○	必修	3年	1								
①～⑨の合計(a)									53	30			10		
(a)+(b)の合計									65	60	50	40	40	30	20
試験時に必要となる 実務経験年数									0年						
免許登録時に必要となる 実務経験年数									卒業後 2年	卒業後 3年	卒業後 4年	卒業後 0年	卒業後 1年	卒業後 2年	

\* 詳しくは公益財団法人建築技術教育普及センターのホームページ(<http://www.jaeic.or.jp/>)参照

**○掲示板、メール(オフィス 365 メール)及び教務システム(カダサポ)は、  
1日1回必ず見よう。**

学生の皆さんに対する連絡は、掲示板(幸町キャンパスは研究交流棟1階、林町キャンパスは講義棟1階)や教務システム(カダサポ)で行います。個別の連絡等はメール(オフィス365メール)で行います。

掲示等を見ていなかったために手続き等が間に合わず、不利益を被る場合があります。内容によっては、後で気が付いても修復することができないものもあるので、各自で注意しましょう。

**○創造工学部ホームページを確認しよう。**

定期試験情報、履修登録に関するお知らせ、時間割等の情報を随時ホームページに更新しています。

創造工学部ホームページを確認するようにしましょう。

創造工学部HP > 在学生の方 > 学務係から

[https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u\\_ead/students/19971/](https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/students/19971/)

**○わからないことは、聞いて確認しよう。**

履修方法や卒業要件を間違えて覚えたら、大変です。

修学案内を熟読して、卒業要件単位数をよく確認してください。

疑問に思ったことは学務係で確認しましょう。

**○悩み事・困ったことが起きたら相談しよう。**

一人暮らしを始めたり、周りの環境が変わったりして悩み事が多くなる時期。

そんな時、親とか友達に言えないこともある。

クラス担任(CA)の先生や、学務係、保健管理センター(幸町・創造工学部分室)に、いつでも相談してください。勉学のこと、休学・退学に関すること、生活上の問題でも構いません。できる限りの対応をしていきたいと思えます。

